

オール宇陀で  
取り組む

## 魅力的で活力ある 高原都市に向けた 実現プラン

第2次宇陀市総合計画 中期基本計画

令和4年3月  
宇陀市







# オール宇陀だ

FREEDOM  
UDA  
移住だ



## オール宇陀で取り組む 魅力的で活力ある高原都市に向けて

このたび、2022年度から4年間の市政運営の指針となる第2次宇陀市総合計画中期基本計画を策定いたしました。

中期基本計画では、2018年度からの前期基本計画で定めた基本理念や将来像「みんなが生きがいをもって暮らせる魅力ある健幸なまち 宇陀市 ~輝く歴史と豊かな文化の息づくまち~」を継承しつつ、ウイズコロナ時代に対応した大和高原の中心のまちとして持続可能なまちづくりに取り組むこととしています。

宇陀市を取り巻く環境は、人口減少や少子高齢化の進展、自然災害の激甚化をはじめ、脱炭素化によるグリーン社会の実現、デジタル技術の活用など急速に変わりつつあります。こうした変化やこれまでの取り組みの成果・課題、アンケートや座談会でいただいたご意見を考慮しつつ、「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会を実現するというSDGsの考えを取り入れ、宇陀市の強みを活かした高原都市の実現に向けた方向性を示す計画となっています。

中でも、人口減少対策として「しごと・ひと・まち」の地方創生の取り組みを成長戦略として位置付けるとともに、中期基本計画の4年間で牽引役となる取り組みをリーディングプロジェクトとし、取り組むこととしています。

中期基本計画の策定にあたり、貴重なご意見やご提案をくださった皆様、熱心にご審議くださった総合計画審議会委員の皆様へ深く感謝申し上げます。

この計画の実現に向け、「オール宇陀」の一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます、ごあいさついたします。

2022年3月

宇陀市長 **金剛一智**



はじめに 1

宇陀市の紹介 2

第1編 中期基本計画の策定にあたって

第1章 計画の構成と期間	6
第2章 計画の進行管理	7
第3章 SDGsの考え方の導入	9
第4章 宇陀市を取り巻く社会情勢の変化	12
第5章 まちづくりの課題	14

第2編 基本構想 2018～2029

第1章 前期基本計画から継承する基本理念と将来像	28
第2章 基本構想における目指すまちの姿	29
第3章 人口ビジョン	31

第3編 中期基本計画 2022～2025

第1章 まちづくりの成長戦略	38
第2章 施策体系	42
第3章 施策と持続可能な開発目標 (SDGs) との関係	46
目指すまちの姿1 健幸なまち	48
目指すまちの姿2 暮らしやすいまち	59
目指すまちの姿3 活力あるまち	68
目指すまちの姿4 生涯輝くまち	80
目指すまちの姿5 自然豊かなまち	89
目指すまちの姿6 地域力を発揮するまち	96

資料編 106

はじめに

宇陀市では、2018年度から12年間の市政運営の指針となる「第2次宇陀市総合計画」に基づき、まちづくりを進めています。このうち、2021年度までの4年間は、前期基本計画に基づき、様々な取り組みを行ってきたところで、2022年度から2025年度までの4年間は「中期基本計画」の計画期間となります。

計画の策定にあたっては、人口減少問題や地域経済の活性化、雇用の確保など、既に顕在化している課題をはじめ、暮らしの中で感じている課題についてアンケートや座談会を開催し、その反映に努めてきました。

また、これまでの施策を振り返るとともに、変化し続ける社会情勢に対応するため、宇陀市のまちづくりを牽引する先導的、戦略的、横断的な取り組みをリーディングプロジェクトとして位置付けています。

その他にも、宇陀市の将来像や目指すまちの姿の実現に向けて取り組んでいく施策においては、新型コロナウイルス感染症の影響による新しい生活様式やSDGsの考え方を取り入れています。

本計画に基づき、宇陀市の未来に向けた施策を進めていきます。



鳥見山から雲海に包まれた宇陀を臨む

# 宇陀市の紹介

## 位置・地勢

宇陀市は2006年1月1日、宇陀郡の大宇陀町・菟田野町・榛原町・室生村の4町村の合併により誕生しました。奈良県の北東部に位置し、北は奈良市、山添村、西は桜井市、南は吉野町、東吉野村、東は曾爾村、三重県名張市に接しています。本市の総面積は247.50km<sup>2</sup>、県全体の6.7%を占めています。

市域は大和高原の南端に位置し、四方を山に囲まれた高原都市です。宇陀市役所付近は標高308m、曾爾村境界付近は標高700mを超え、市域内での高低差が大きくなっています。内陸性気候で、冬は季節風の影響を受けるため、寒さが厳しい一方、夏は冷涼となっています。年間降水量は約1,500mmです。

交通の面は、近鉄大阪線によって、京都・大阪方面や名古屋・伊勢方面と結ばれており、また、大阪方面から本市への自動車によるアクセスは、名阪国道針ICと大阪・松原JCT（西名阪自動車道）が約1時間で結ばれる距離にあります。



## 産業

産業は、農業や林業を中心とした構造となっています。農業では、夏の冷涼な気候、昼夜の寒暖差を活かした米や茶（大和茶）のほか、ハウレンソウ、金ごぼう、黒大豆等の野菜が生産されています。他にもグリアやきれいな水を活かして作られる吉野本葛も特産品となっています。

また、毛皮革製品も有名で、革のなめしから、加工・縫製・販売までを一貫して行える体制を持っています。特に鹿革の製造取扱量は全国シェアの90%を占めています。

## 歴史

宇陀の地は、「古事記」「日本書紀」等に、神武伝承の舞台、薬狛として狩りを行う場として記載があるほか、「万葉集」では柿本人麻呂の歌が詠まれています。

平安時代以降、荘園として興福寺の支配下でありました。南北朝時代から戦国時代にかけては、伊勢国司北畠氏の勢力を受けるようになりましたが、その後、江戸時代には宇陀松山藩として、織田氏の統治の後、幕府の直轄地となりました。この地域は、大和と伊賀、伊勢を結ぶ交通の要衝であり、室町時代に始まり江戸時代に盛んになった庶民のお伊勢参りのルートにあたり、宿場町として繁栄しました。

明治元年に奈良県となりますが、堺県との合併、大阪府への併合の後、明治20年に再び奈良県が設置され、この地域は宇陀郡に属することになりました。明治22年の町村制の施行により、宇陀郡は1町11村から構成されることになりました。

旧大宇陀町は昭和17年、旧菟田野町は昭和31年、旧榛原町は昭和29年・30年・44年、旧室生村は昭和30年にそれぞれ合併して誕生しました。

## 第1編

# 中期基本計画の策定にあたって



# 第1章 計画の構成と期間

総合計画は、基本構想と基本計画で構成します。

**基本構想**

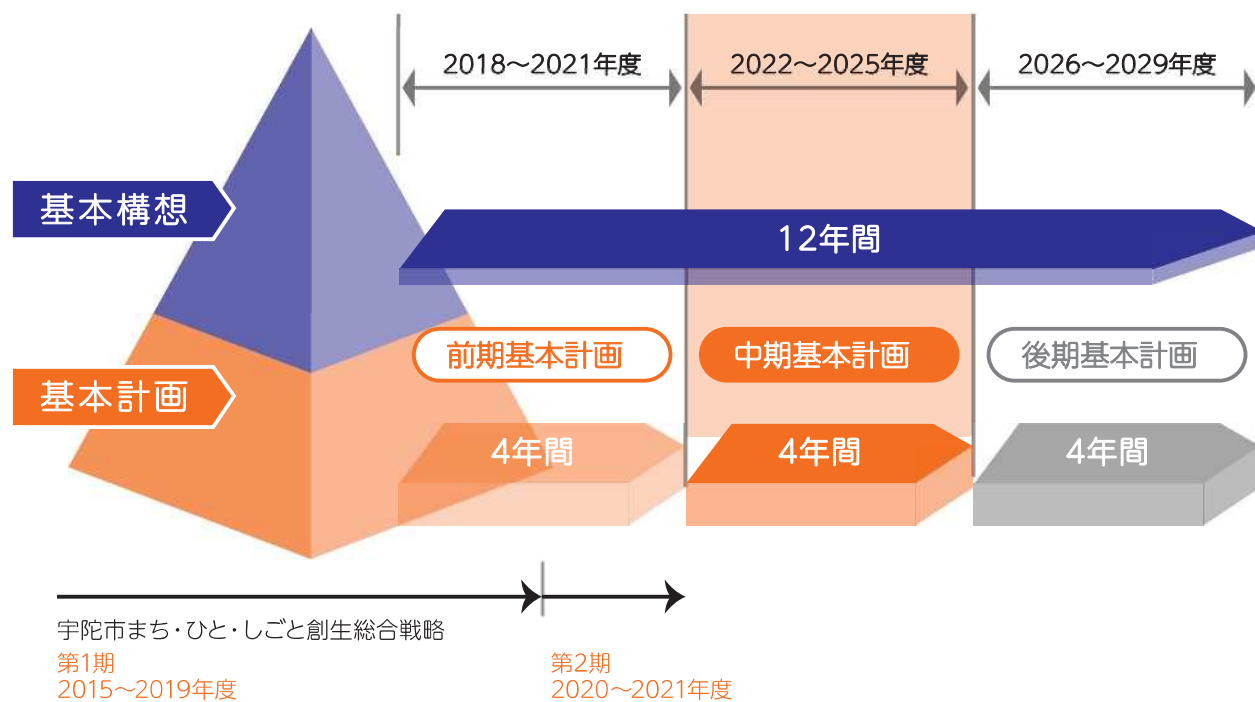
基本構想は、目指すまちの将来像やその実現に向けた目標、施策の概要を示すものです。

【計画期間】 2018年度～2029年度の12年間

**基本計画**

基本計画は、基本構想に基づき、将来像を実現するための具体的な施策を体系的に示すものです。

【計画期間】 前期/2018年度～2021年度の4年間  
 中期/2022年度～2025年度の4年間  
 後期/2026年度～2029年度の4年間



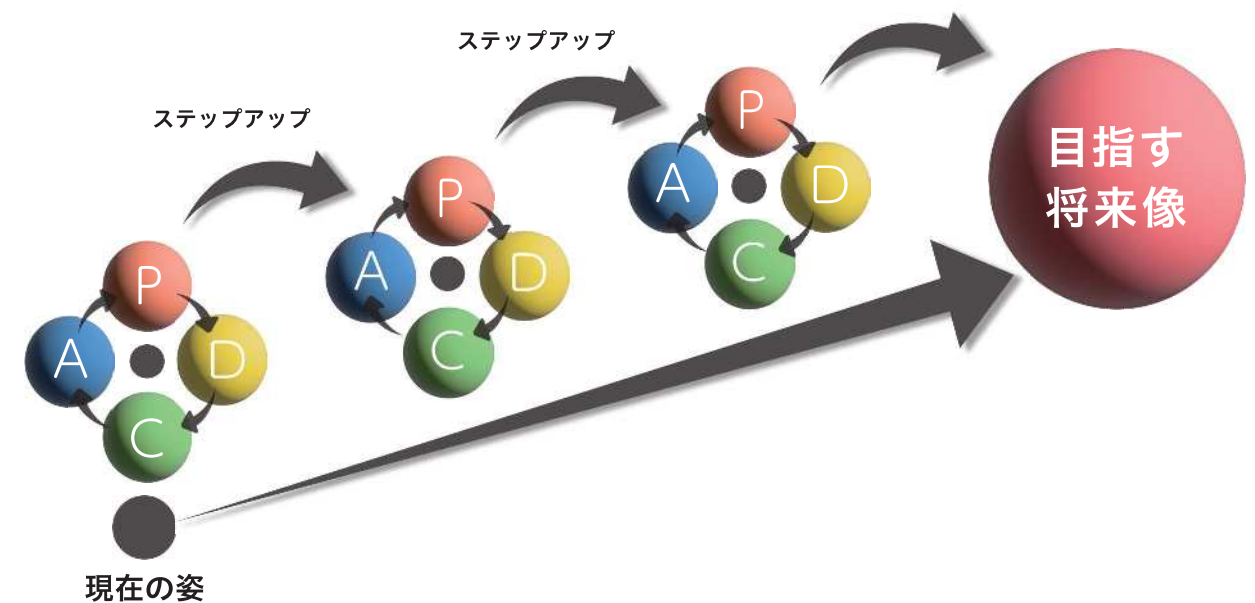
\*総合戦略の施策が総合計画に含まれることから、2020年度に総合戦略を総合計画に一本化しています。

# 第2章 計画の進行管理

## (1) PDCAサイクルの実践

総合計画で取り組む目指すまちの将来像を実現するため、中期基本計画 (Plan) に基づいて、事業を実施し (Do)、事業の成果や達成の整理、目標に向けた評価・検証を行い (Check)、必要に応じて事業の改善や見直しにつなげ (Action)、その結果に応じて改めて計画に反映させます (Plan)。

PDCAサイクルを毎年度繰り返し実施することで進捗管理を行い、目標達成に向けたより効率的・効果的な事業構築につなげます。



## (2) 評価の方法

計画の構成に合わせて、基本構想と基本計画のそれぞれについて評価を行います。基本構想は、「目指すまちの姿」がどの程度実現できているのかについて、新たに基本計画を策定する4年ごとに評価します。基本計画では、「施策」の進捗状況について毎年評価します。

基本構想及び基本計画の評価方法

	評価項目	評価指標	評価方法
基本構想	「目指すまちの姿」の実現度	<ul style="list-style-type: none"> <li>「目指すまちの姿」に対するアウトカム指標（成果指標）</li> <li>市民等に対するアンケート結果における満足度や重要度等</li> <li>「施策」の進捗状況</li> </ul>	<p>左記3つの評価指標を用いて総合的に判断し、I～Vの5段階で評価する。</p> <p>I：目指すまちが十分に実現できている。                  II：目指すまちが概ね実現できている。                  III：目指すまちがある程度実現できている。                  IV：目指すまちがあまり実現できていない。                  V：目指すまちが全く実現できていない。</p>
基本計画	「施策」の進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>「施策」に基づいて実施している事業について、計画通り進捗している割合を点数化</li> </ul>	<p>各事業の目標値に対する実績値の割合を算出し、点数化する。（宇陀市独自の取り組みで評価できる事業の目標値を掲げるものとし、法定受託事務等で行っている事業は除く。）</p> <p>【実績値/目標値により点数化】                  a：100%以上は4点                  b：80%以上100%未満は3点                  c：60%以上80%未満は2点                  d：40%以上60%未満は1点                  e：40%未満は0点</p> <p>次に各施策の事業の平均値を、施策の総合評価とする。</p> <p>A (3.5以上)：施策が十分に実現できている。                  B (2.5点以上3.5点未満)：施策が概ね実現できている。                  C (1.5点以上2.5点未満)：施策がある程度実現できている。                  D (0.5点以上1.5点未満)：施策があまり実現できていない。                  E (0.5未満)：施策が全く実現できていない。</p>

## 第3章 SDGsの考え方の導入

SDGs (Sustainable Development Goals) とは2015年の国連サミットで採択された2030年までの国際目標のことです。「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会を実現するために、17分野の目標と、その下に目標と紐づいた169ターゲット、232の指標が決められました。

SDGsの理念を踏まえ、宇陀市は、中期基本計画にSDGsの17の目標を関連付けました。市民の皆さんや企業、各機関と連携しながら施策や事業を実施し、目標達成のための取り組みを進めることで、未来にわたって持続可能なまちづくりを推進していきます。

SDGsの17分野の目標（ゴール）

### SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS





### 17のゴールから見た主な取り組み



## 第4章 宇陀市を取り巻く社会情勢の変化

2018年に前期基本計画を策定して以降、宇陀市を取り巻く現状はコロナ禍による新しい社会像や価値観により変化しています。また、その変化のスピードは速く、急速に変わりつつあります。

### (1) 人口減少・少子高齢化の進展

国勢調査による日本の総人口は、2010年をピークに減少しており、総人口に占める高齢者の割合は、2020年では28.6%となっています。

宇陀市の人口は国より早い1995年にピークを迎え、それ以降、減少が続いています。高齢化率も上昇し続け、2020年では42.1%と、2.4人に1人は65歳以上になっています。また、14歳以下の人口は減少し続け、2020年には2,481人と、最も人口の多い1995年に比べて4,339人(63.6%)減少しています。

人口の減少や少子高齢化の進展により、消費の縮小や労働の減少、まちの活力低下など様々な影響が生じていることから、持続可能なまちづくりを進めていくことが重要です。

### (2) 新型コロナウイルス感染症がもたらした社会の変化

新型コロナウイルス感染症は、世界的な大流行となり、世界規模で社会的・経済的に大きな影響をもたらしました。宇陀市においても、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、感染が拡大している地域への不要不急の往来の自粛や一部業種の営業自粛、休校(園)、自宅待機など、市民生活や地域経済に影響を与えました。

また、感染拡大に伴い、対面から非対面・非接触へのシフトやテレワークが広がり、都市部での暮らしから地方で働き、暮らすスタイルに関心が高まるなど、新しい生活様式や企業活動が大きく変化しています。

引き続き、感染症対策を徹底し、ウィズコロナ時代に応じた新しい生活様式の実践を推進するとともに、影響を受けた市民生活や地域経済の回復・活性化を進めていくことが重要です。

### (3) 自然災害の多発化・激甚化

近年、100年に一度と言われるような甚大な被害を及ぼす自然災害が各地で発生しています。宇陀市においても2019年の台風19号による豪雨災害が発生し、市民の生活だけでなく、道路等のインフラにも甚大な被害をもたらしました。

今後も地球温暖化の影響で、自然災害の多発化・激甚化に加え、局所的な豪雨や南海トラフ地震など、予測が難しい災害の増加が予想されます。そのため、県等との連携を強化し、災害時には全市民に対して迅速に情報が伝わるよう、多様な情報伝達手段の確保や感染症対策等の機能を有した避難所の確保が必要です。

災害発生時には、行政が対応できない事態が起こる恐れがあります。いつ起こるかわからない災害に備えて、市民・地域・行政がそれぞれの役割分担と協働のもと、減災・防災対策に取り組むことが重要です。

### (4) グリーン社会の実現に向けた脱炭素化

世界を取り巻く環境問題は、経済活動の拡大やエネルギーの大量消費等による地球温暖化、プラスチックごみによる海洋汚染、自然環境の変化による生物多様性の喪失など、地球規模で対応しなくてはならない問題となっています。

国においては、2050年脱炭素社会の実現に向けた「地域脱炭素ロードマップ」が決定され、地方における脱炭素化の取り組みを推進しています。

宇陀市においても、豊かな自然環境を次世代に引き継ぐため、環境にやさしいライフスタイルへの転換を進めるとともに、省エネルギーの推進など、環境への負荷が小さい循環型社会の形成を進めることが重要です。

### (5) デジタル社会の加速化

近年、IoTやAI、ロボット等に代表される技術革新が進んでおり、デジタル技術を活用して地方創生につなげることが期待されています。しかし、新型コロナウイルス感染症によって、様々な分野でデジタル化の遅れが浮き彫りとなりました。

そのため、デジタル庁を核として全ての人にデジタル化の恩恵が行き渡る社会を構築するための施策が進められているところです。生産、販売、消費といった経済活動だけでなく、健康、医療、農林業など幅広い分野での活用やテレワークの拡大など働き方にも変化を及ぼすと考えられます。

今後、人口減少や少子高齢化の進展に伴い、労働力人口の減少が予想される中、新たな技術を活用して労働力を補充していくとともに、地域経済の活性化につなげていくことが重要です。

# 第5章 まちづくりの課題

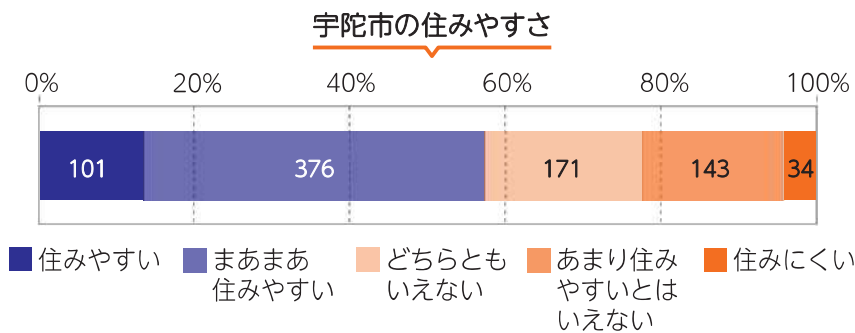
## (1) アンケートの分析

市民の方々の宇陀市についての印象やこれまでのまちづくりに対する評価、これからのまちづくりに対する意向を把握するため、アンケート調査を実施しました。

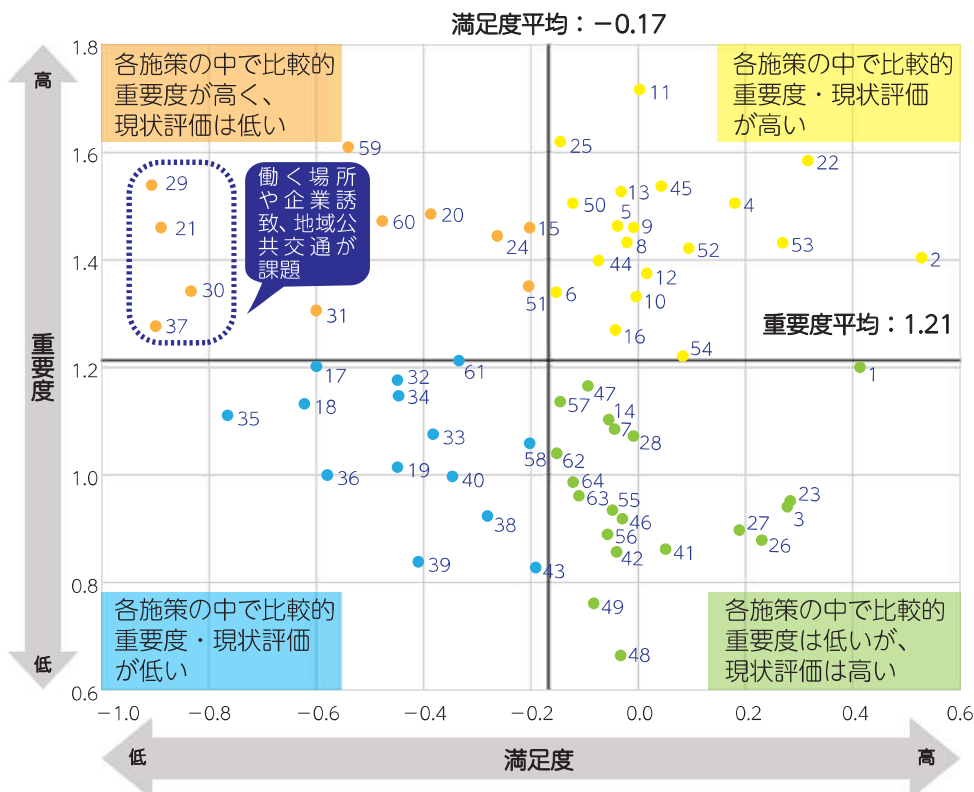
その結果、全体の約6割が「住みやすい」「まあまあ住みやすい」と回答しています。一方で、「商工業の振興」や「農林畜産業の振興」、「土地の有効活用」、「働く場所」の満足度が低い結果が出ています。

また、これから必要な取り組みとして、「雇用の場の確保」や「医療体制の充実」、「企業誘致の推進」、「空き家の有効活用」と回答された方が多くなっています。

この結果から、これまで取り組んできた健康づくりや福祉施策については評価されている一方、空き家や遊休地など土地を有効に活用した働く場の確保、移住・定住に向けた取り組みが求められています。

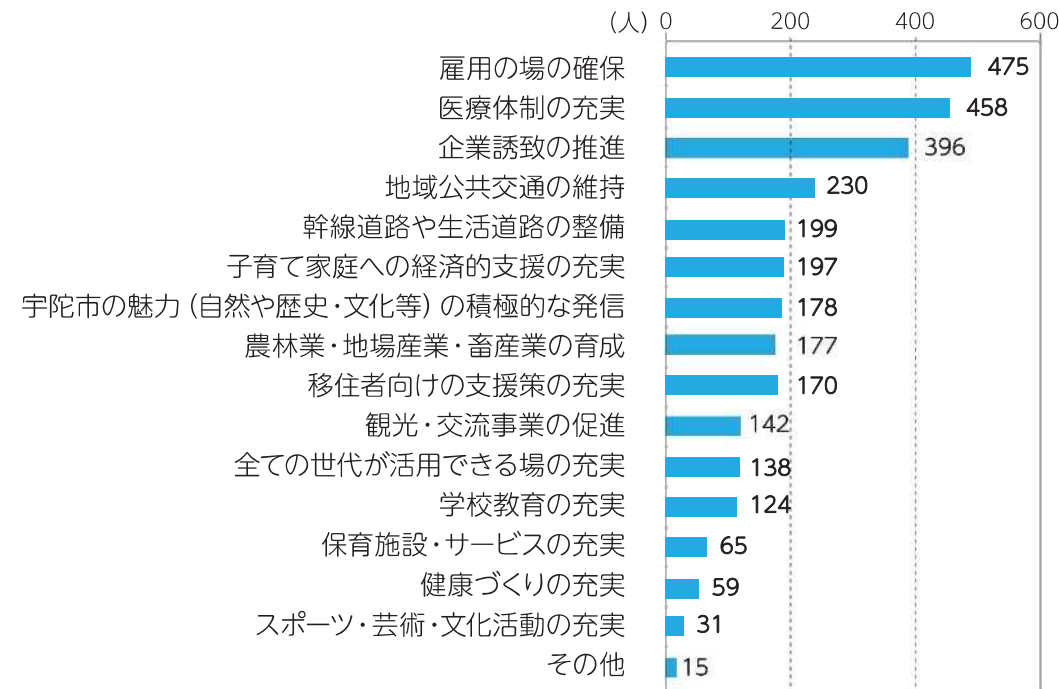


前期基本計画の施策の満足度・重要度



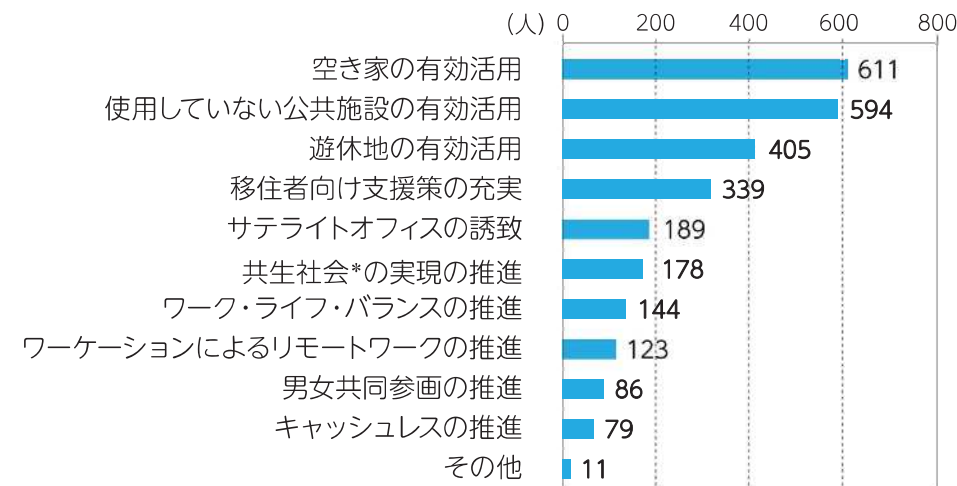
施策	
1	健康づくりのためのイベント等の開催や検(健)診の受診奨励
2	予防接種の啓発や接種奨励
3	いきいき百歳体操など、介護予防対策
4	介護・福祉サービス
5	障がいのある人へ生活支援
6	困難を抱えた家庭への相談や生活支援
7	福祉に携わる団体等とのネットワークづくり
8	保育サービスなど、仕事と子育ての両立支援
9	子育て支援の充実
10	母子保健事業の充実
11	市立病院や診療所等の地域医療の充実
12	地域医療と福祉の連携(宇陀けあネット)の充実
13	子どもや高齢者等に対する福祉医療の充実
14	景観や環境に配慮したまちづくり
15	交通事故の未然防止のための整備や啓発
16	地域防犯への取り組みや消費者問題に対する相談窓口の設置
17	計画的な土地利用に配慮したまちづくり
18	空き家の活用など、定住支援
19	U・I・Jターン者への支援
20	安全で快適な道路環境
21	市内を移動しやすい地域公共交通
22	水の安定供給のための水道施設の維持
23	「うだチャン」など、情報通信技術を活用した情報発信
24	耐震診断や耐震改修の補助など、災害の未然防止対策
25	災害時における円滑な避難・防災活動
26	文化財・伝統芸能・祭り・行事等の保護・活用
27	史跡や重要伝統的建造物群保存地区の歴史的まちなみ等の整備
28	市内で生産された特産品や名産品の利用
29	宇陀市で働ける場所づくりの支援
30	新たな切り口や視点からのビジネスの創出
31	農道の整備や鳥獣害対策・耕作放棄地解消に向けた取り組み
32	農産物の生産から加工販売、木材・間伐材の利用促進
33	付加価値のある農産物の栽培や食品ブランド化
34	森林の保全と宇陀市産木材の活用
35	商店街の活性化支援
36	商品開発など、事業所への支援
37	企業誘致による新たな産業の展開
38	案内看板の設置や登山道の整備
39	観光資源を活かした周遊・滞在型観光、スポーツツーリズムの推進
40	観光誘客に向けたホームページやSNSを活かした情報発信
41	人権について学ぶ機会の提供
42	男女共同参画の推進
43	市内事業者へのワーク・ライフ・バランスの啓発
44	プログラミング教育など、学校教育の充実
45	安心して学ぶ環境の整備
46	榛原総合センターなど、生涯学習施設の整備と講座等の開催
47	学校、家庭、地域が一体となった教育力の醸成
48	スポーツ施設等の計画的な整備と各種スポーツ大会の開催
49	芸術・文化活動による地域の活性化
50	ごみゼロ美化運動や不法投棄防止の取り組み
51	里山など、自然環境の保全
52	ごみの減量化にむけたリサイクルの推進
53	し尿処理など、生活衛生環境の向上
54	市営斎場等の整備・運営
55	公園の計画的な維持
56	公園緑地空間の整備
57	積極的な情報共有
58	自治会やまちづくり協議会等が抱える地域課題に対する行政の参画
59	健全な財政運営
60	効率的な業務運営体制
61	ICTを活用した取り組み
62	周辺自治体との連携・交流の推進
63	自治会やまちづくり協議会との協働や支援を通じた地域力の向上・強化
64	市民活動の支援

人口減少・地域活性化対策として必要な取り組みについて



(複数回答)

ライフスタイルの多様化に対応した取り組みとして重要と思われるもの



(複数回答)

\*共生社会：障がいがある、ないにかかわらず、性別や年齢に関係なくすべての人がお互いの人権や尊厳を大切にし、支え合い、誰もが生き生きとした人生を送ることができる社会のことです。

(2) 市民との意見交換からみえた課題

市役所若手職員と子育て中の方にそれぞれ集ってもらい、ワークショップと座談会を行いました。ワークショップでは20年後の宇陀市に向けて「残したいこと」「困ること」「チャレンジして欲しいこと」を個々で書き出し、テーブルごとに話しながら想像を膨らませていきました。市長との座談会は、ワークショップでの内容のまとめや普段の考えを話す場となりました。

20年後の  
宇陀市に向けて





市役所若手職員  
に聞きました

宇陀市で  
困ること

- お店が少ない (飲食・買い物不便)
- 働く場所が少ない
- 子どもが少なく、高齢化が進んでいる
- 車がないと生活できない
- 橋などインフラが老朽化している

宇陀市の  
残したいこと

- ゆったりした時間
- 豊かな自然/緑/環境
- 名所/文化財/歴史建築物 (室生寺、松山地区など)
- ちょうど良い田舎
- 治安の良さ

宇陀市に  
チャレンジして欲しいこと

- 子育て環境の充実・子育て世代の定住促進
- 高齢者に優しい暮らしの実現
- 働く場所をつくる/増やす
- 働き方を支える (テレワーク支援・通勤緩和)
- スポーツを活かしたまちづくり (プロスポーツの誘致・体育施設を活かした合宿のまち)
- 大学や専門学校の誘致



子育て中の市民  
に聞きました

宇陀市で  
困ること

- 教育費が高い・子育てにお金がかかる
- 病児保育対応や小児科が不足
- 高度医療を受けられる病院が遠い
- 子どもの移動手段や遊ぶ空間が不足
- お店が少ない (飲食・買い物不便)

宇陀市の  
残したいこと

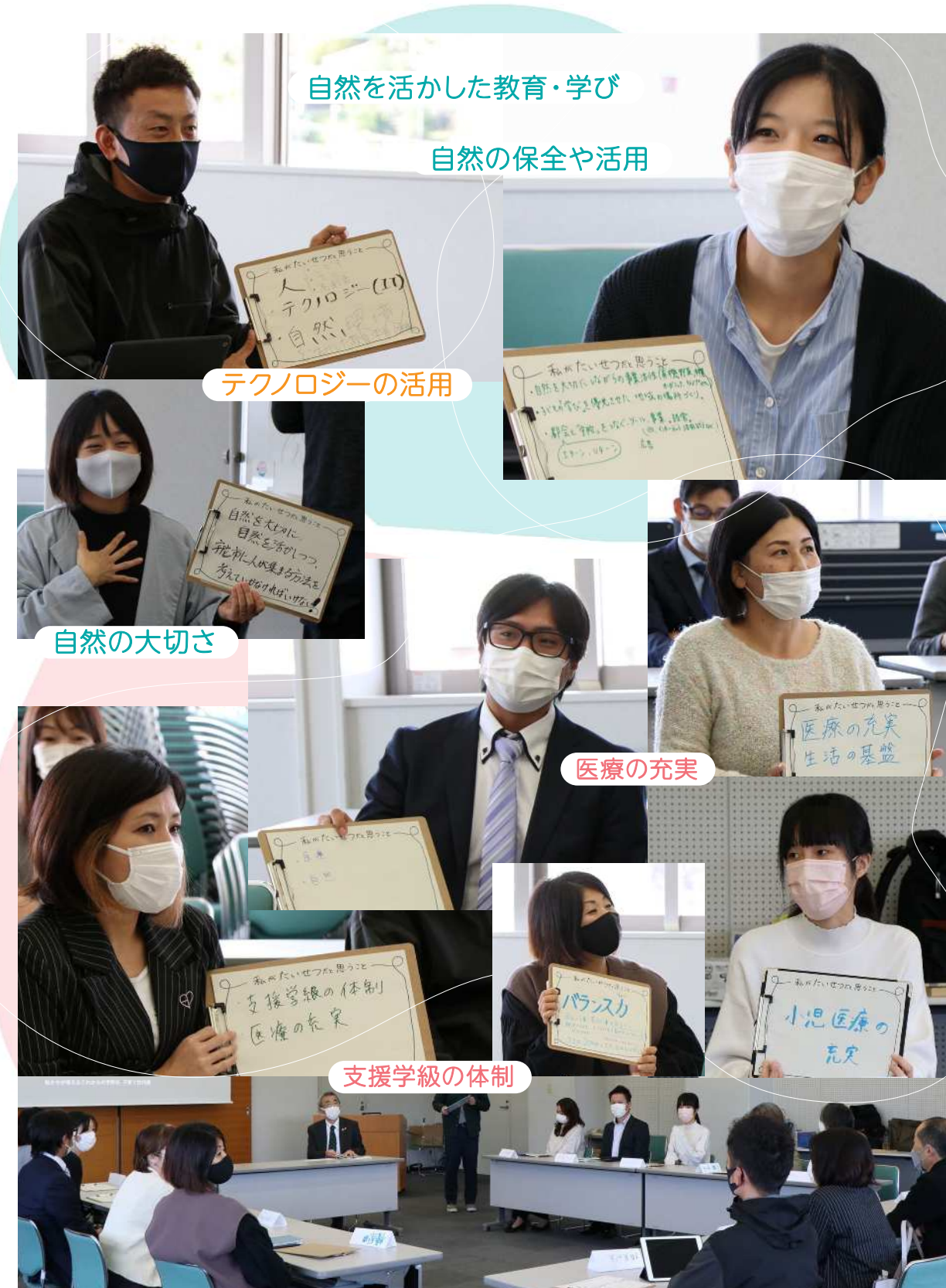
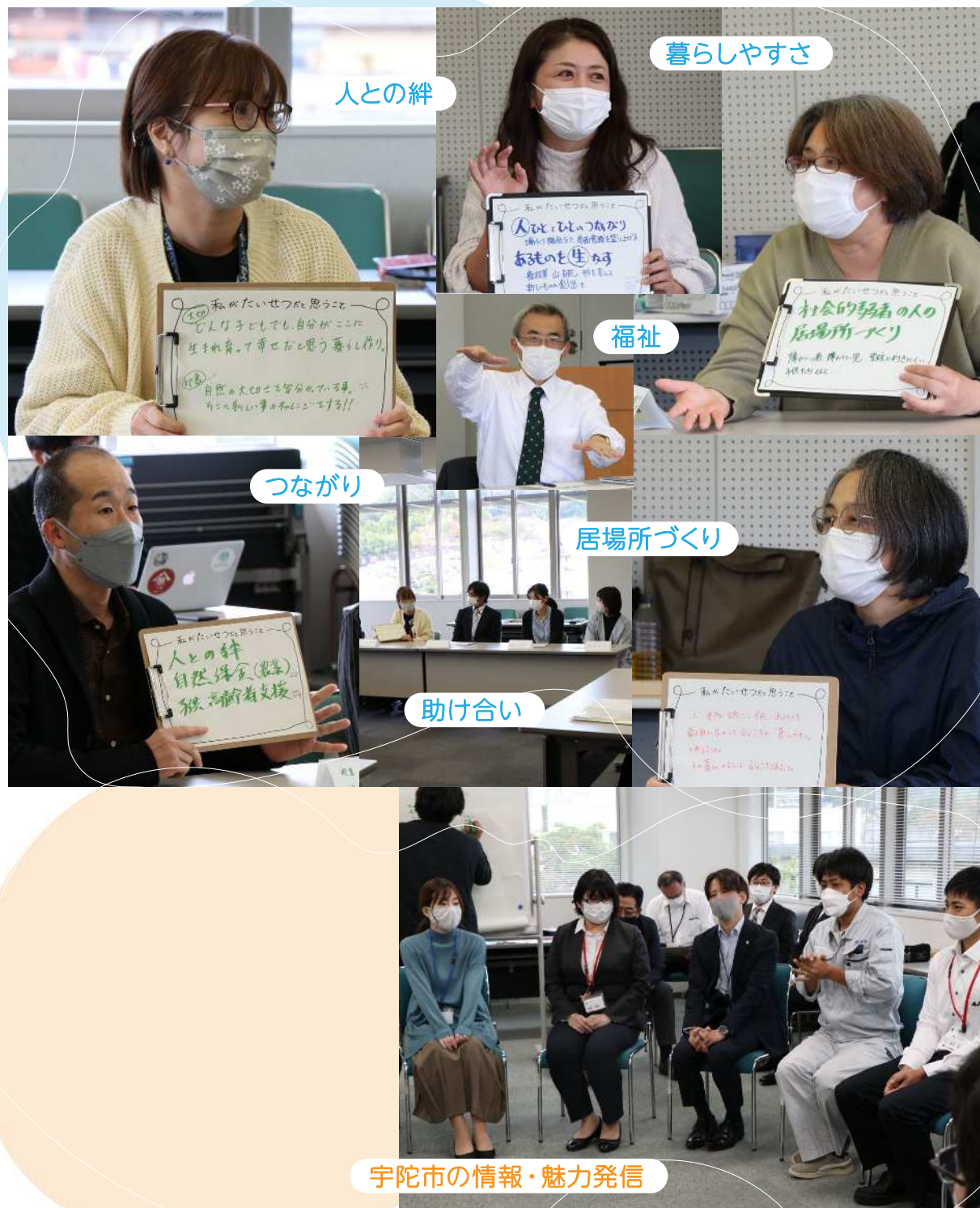
- 豊かな自然や風景
- 農業・林業の生業
- 人との繋がり・お節みな人間関係 (伝統行事や地域の祭事)

宇陀市に  
チャレンジして欲しいこと

- 働きながら産み育てやすい環境づくり・雇用の確保
- 教育の充実 (オンラインの導入・森や田畑を活かした遊びや学び)
- 子どもの医療ケアの充実
- 高齢者に優しい暮らし・介護しやすいまちづくり
- 障がい者の支援
- 榛原駅周辺の活性化 (賑わいづくり)



私大切に思うこと



## 座談会

### 事業をしている・はじめる方の視点から



(宇陀市商工会青年部)

市内でパート等で働けるところが少ない。また、事業を広げようと求人しても、応募がない

コロナ禍の中、地方で生活しようと古民家の相談や取引は増えているが、紹介できる物件は不足している

宇陀市は里山が多く、所有者が細分化されている。ただし、境界がわからないものが多いため、木を切ったりは可能だが山を活用して何かをしていくとなると難しい

倉庫の建設など会社の規模を大きくするにも、土地はあるものの規制に引っかかり事業拡大できない

若い人が働ける場が必要

宇陀市には素晴らしいものが多く、大阪まで電車で45分、また名阪国道にも近いなど立地条件は良いので魅力を上げることが必要

大和高原野菜と言われる甘みのある葉物野菜や大和当帰等の薬草、そして盛んな有機農業の魅力の発信が大切



(奈良県中小企業家同友会宇陀ブロック)

商品を購入してもらうための情報を届けるのは難しく、サービスを受ける人が買って良かったと感じてもらえることが大切

起業に向け、宇陀市に移住し定住するにあたって、地域おこし協力隊制度は非常に後押しするものだった。何かに挑戦しやすい環境づくりが大切



(宇陀市仕事づくり推進隊、近畿大学)

近畿大学は奈良県との包括協定における事業の一環として、宇陀産の食材を活かしたハンバーガーやプリンメニューを提案したんだよ。



### 福祉に取り組む方の視点から



(社会福祉法人 心境荘苑)

「誰一人取り残さない」よう一人ひとりに合った居場所づくりが大切

幼い時から障がいのある人は、子どもの時から福祉サービスの制度を知っているが、成人してから障がいを負った方は制度をあまり知らない場合がある。こういった方々も地域の人たちの助けや協力を受けて生活しておられ、地域とのつながりは大切

### 健康づくり・スポーツに取り組む方の視点から

ウォーキングなど同じような事業を様々な団体が行っているが、連携して事業を行い、健康づくりを進めることが必要



(宇陀市スポーツ推進委員)

高齢者が増えていることから、普段運動をしていない人をターゲットに健康の維持に向けた生涯スポーツを通じた居場所づくりが大切

市内のロードコースは信号が少なく走りやすい。また、アップダウンがありトレーニングに最適



(榛生昇陽高校自転車競技部)

## まちかどトーク

市政に対して意見を聴かせてもらい、市政への市民参加と開かれた市政の実現に向けて、各種団体等に市長が出向き、様々な意見を伺っています。そこで出された主な意見を紹介します。

榛原駅前の魅力を上げ、立ち寄ってもらえるように

鳥獣害や空き家の対策、災害時の避難所までの移動について地域に応じた対策を

公有地の活用やまちづくりについて市民への情報発信が必要

学校給食について、食の安全や地産地消に更に力を入れてほしい

既存の建物を利用した取り組みを

寒暖の差があることから農作物を育てるのに適しているが、このままだと農業は衰退する。農業でやっていける支援が必要

高齢者が生きがいを持てる施策を

医療の充実や雇用の場の確保など、若い人が住める環境整備が必要

空き家や耕作放棄地への対応を

宇陀松山の魅力発信や街の中に滞在できる場を作ることが必要

各地域の誇れるものを「宇陀市の〇〇〇」と捉えられるよう意識を変えて、宇陀市を訪れる人を増やす取り組みを



開催状況 (2022年2月現在)	
2020年度	9件
2021年度	7件

## DATAで見る宇陀市

### 健康寿命

県内市 男性 **12**位 (82.53 歳) 女性 **10**位 (85.20 歳)

(奈良県 2017-2019 年 市町村別健康寿命 (65 歳平均自立期間) を基に算出)

### 国指定・登録文化財数

県内市 **5**位 (58 件)

(2021 年 4 月 1 日現在)

### 犯罪認知件数の少なさ

県内市 **1**位 (82 件)

(2020 年度近畿都市統計要覧)

### 事業所数

県内市 **10**位 (1,474 件)

(2019 年経済センサス基礎調査)

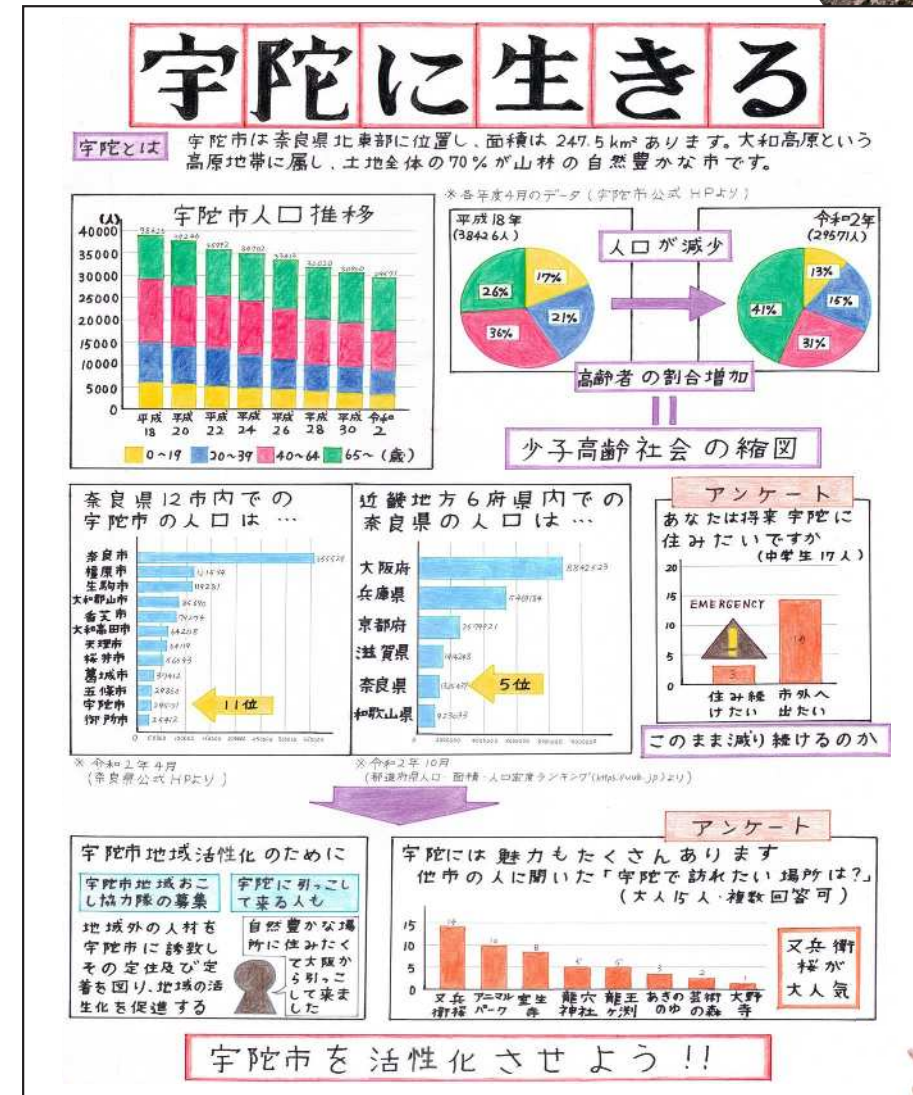
### 財政力指数

県内市 **12**位 (0.29)

(総務省：2020 年度地方公共団体の主要財政指標一覧)



面本早汰さん(大宇陀中)が、宇陀市の人口減少の現状や活性化に向けた取り組みについて、統計をもとに分析した「宇陀に生きる」を紹介します。なお、この作品は、8,495点の応募があった第69回統計グラフ全国コンクールにおいて、入賞作品33点のうちのひとつに選ばれています。



宇陀市の魅力を、いろいろな人に知ってもらいたい。ここで生まれ育ったので、年々、人口が減っていることは悲しいです。僕も、これからも宇陀市に住み続けたいと思っています。もし、進学や就職で宇陀市を離れることがあったとしても、戻ってきたいです。宇陀市には松山地区のまちなみや又兵衛桜、室生寺など魅力のあるところがたくさんあるので、いろいろな人にこの魅力を知ってもらいたい。そうすることで、人が集まり、店が増え、市外へ出ていく人が減ると思います。



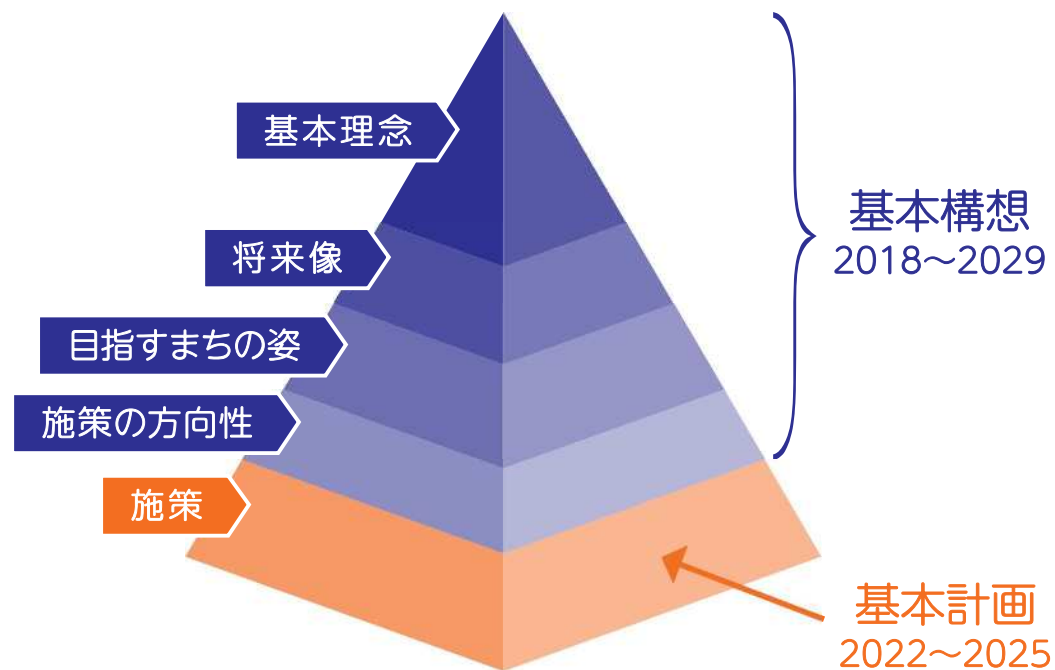


## 第2編

# 基本構想 2018~2029

## 第1章 前期基本計画から継承する基本理念と将来像

基本構想で定めた「基本理念」や目指す「将来像」、「将来像」の実現に向けた6つの「目指すまちの姿」、「施策の方向性」を、中期基本計画でも引き続き継承し、これからのまちづくりに取り組んでいきます。



### 基本理念

#### 《宇陀市民憲章》

宇陀市は、記紀万葉の風が高原の緑をわたる、輝く歴史と豊かな文化の息づくまちです。かけがえのない生命であるわたくし達は、宇陀市民としての誇りと責任を胸に、一人ひとりが未来への限りない発展を願い、この憲章を定めます。

- 一、すこやかな心とからだを保ち、だれもが生きがいを見いだせるまちを育てます。
- 一、共に支え合い、互いの尊厳を大切にす、あたたかいまちを創ります。
- 一、人と自然が共生しひびき合う、やすらぎに満ちたまちを守ります。
- 一、歴史や先人の英知に学び、文化と産業の伸展する、活力あるまちを旨します。

### 将来像

みんなが生きがいをもって暮らせる魅力ある健幸なまち 宇陀市  
～輝く歴史と豊かな文化の息づくまち～

## 第2章 基本構想における目指すまちの姿

宇陀市の将来像を実現するための「目指すまちの姿」について、6つの柱を定めています。

### 目指すまちの姿 1 健幸なまち

「健幸都市“ウェルネスシティ宇陀市”」の実現を目指し、地域住民がいそいそと健康に生活できる環境や、市民一人ひとりがお互いに助け合い、支え合うまちづくりの実現を進める必要があります。

そのため、保健・医療・福祉が連携し、健康づくりを行うとともに医療環境の充実や母子保健施策、障がい者施策、高齢者施策等の充実を図ります。また、「自助」「互助」「共助」「公助」の理念を浸透させ、地域の特性を活かしながら、「健幸」を実現するためのまちづくりを進めていきます。

### 目指すまちの姿 2 暮らしやすいまち

宇陀市の魅力をより向上させるため、様々な都市基盤について、持続可能な整備・維持・活用を検討・実施することで、誰もが住み良く、安全・安心なまちづくりを進める必要があります。

また、公共交通、道路交通網、上下水道、情報通信基盤等の公共インフラの整備・維持・活用による住み良いまちづくりや移住・定住の促進を進めるとともに、災害に備えた安全・安心な暮らしの実現を進めていきます。

### 目指すまちの姿 3 活力あるまち

豊かな自然や歴史、文化遺産といった地域資源が数多くある中で、中心市街地の活性化や雇用の創出、人材の確保が求められています。

そのため、地域資源の保全と活用や、農林畜産業・商工業の再生・活性化に努めることで、活力と個性ある地域産業の創出、持続可能な地域経済の発展を図ります。また、多様化する観光ニーズに対応するため、地域資源のPR活動をはじめとした観光戦略を推進し、関係人口の増加を図ります。

目指す  
まちの姿  
4

## 生涯輝くまち

誰もがお互いの人権を尊重することは重要です。いじめ問題等がなく、性別や障がいの有無にかかわらず、自分らしく生涯を通じて輝き、よろこびや生きがいをもって暮らせることは、宇陀市が目指す将来像の実現に向けた基本となります。

そのため、誰もが学び、働き、活動できる地域づくりを進めるとともに、宇陀市に住む誰もが地域で学習活動やスポーツ・レクリエーション活動等に取り組める環境の整備を図ります。また、地域の特性を活かした教育と文化振興を進めます。

目指す  
まちの姿  
5

## 自然豊かなまち

地球温暖化やエネルギーの大量消費など、自然を取り巻く環境問題は宇陀市も例外ではありません。宇陀市の魅力である、豊かな自然や美しい田園風景と調和したまちづくりを維持し、さらに強化していく必要があります。

こうした環境問題への対処や宇陀市の魅力の向上を図るため、カーボンニュートラルによるグリーン社会の実現に向け、自然と共生した、持続可能で快適なまちづくりを進めます。

目指す  
まちの姿  
6

## 地域力を発揮するまち

地方分権の進展や行政需要が複雑・多様化する中、市民のニーズを的確に把握することが重要となっています。しかし、財政の健全化が緊急課題とされている中、行政だけで多様なニーズや高度な課題に対応することは困難であり、地域が一体となって対応することが求められています。

そのため、市民、ボランティア団体等と行政が連携することで、自分たちのまちについて考え、取り組む体制を強化し、地域力を最大限に発揮できるまちづくりを進めます。

## 第3章 人口ビジョン

宇陀市の総人口は、出生者が死亡者を下回る「自然動態の減少」、市内への転入者が市外への転出者を下回る「社会動態の減少」により、1995年をピークに減少しています。

年齢別人口では、年少人口（0歳～14歳）と生産年齢人口（15歳～64歳）が減少、老年人口（65歳以上）は増加しています。国立社会保障・人口問題研究所が2018年に公表した宇陀市の将来推計人口は、全国的な減少よりも早いペースで進んでおり、2030年には22,249人となり、2020年に比べ5,872人減少し、特に生産年齢人口は3,952人、年少人口は780人減少すると予測されています。今後、現状のまま何もしない場合には、市民の生活にとって重大な影響を与えられと考えられます。

この人口ビジョンは、宇陀市における人口の現状を分析し、中期基本計画で目指す将来像「みんなが生きがいをもって暮らせる魅力ある健幸なまち 宇陀市 ～輝く歴史と豊かな文化の息づくまち～」の実現に向けたまちづくりを進めることを目的としています。

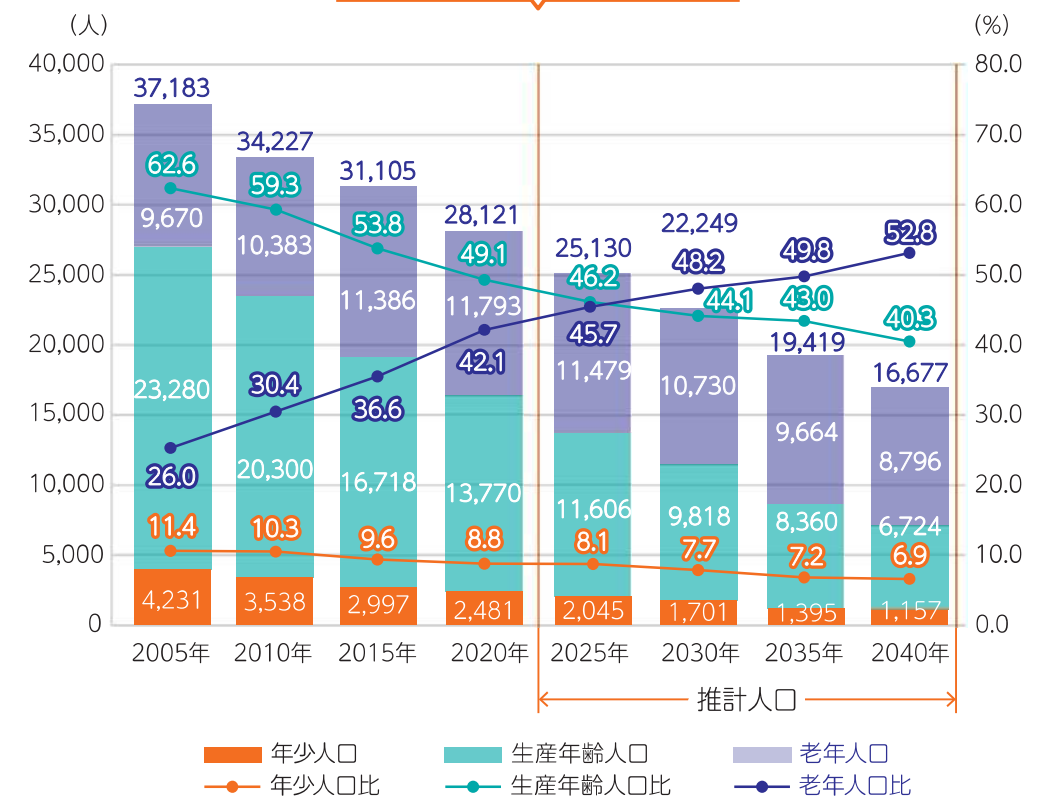
### (1) 人口の現状と分析

#### 人口の推移と将来の見通し

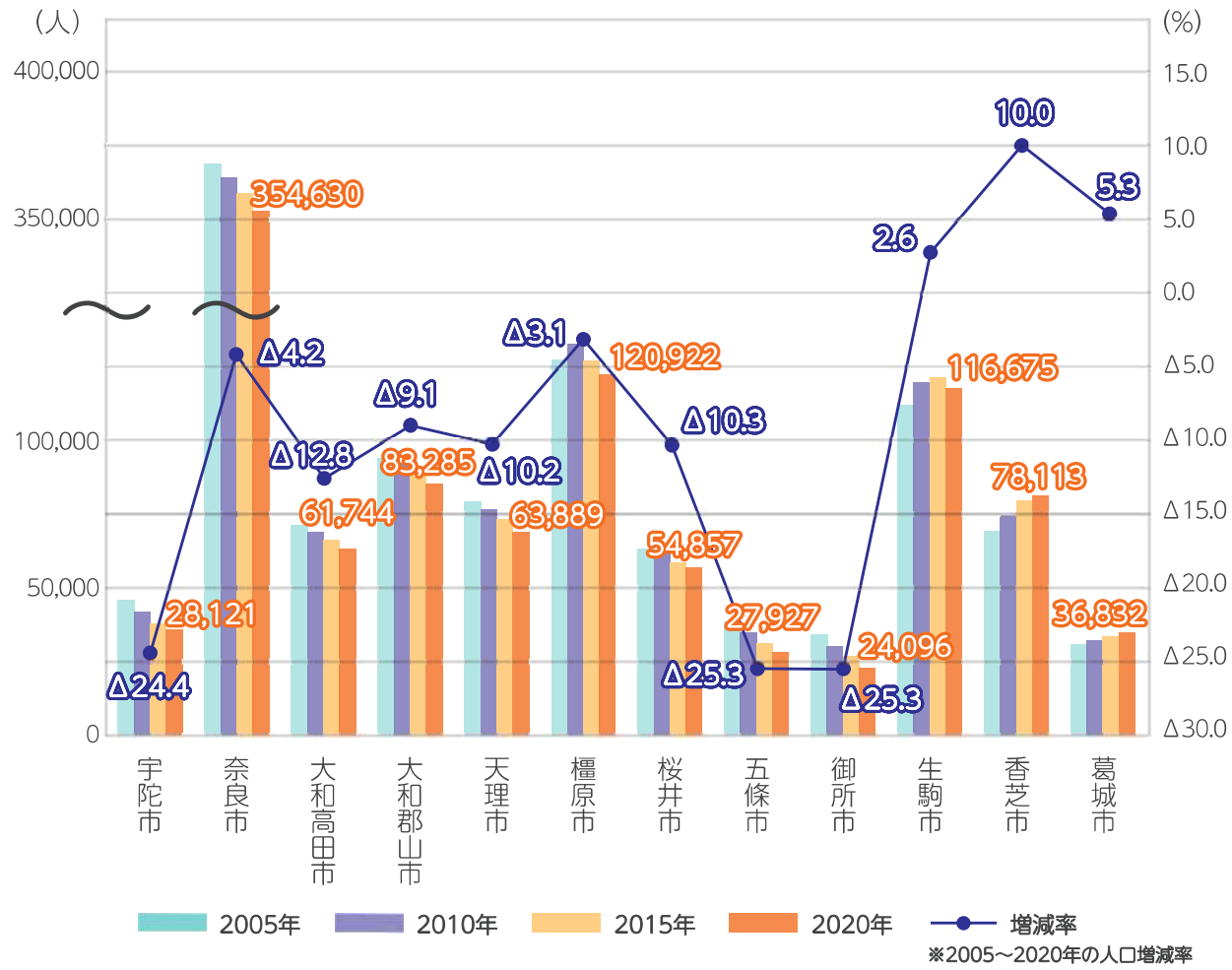
宇陀市の住民基本台帳人口は、合併した2006年1月の38,626人から2022年1月には28,576人になるなど年々減少が続いています。

国立社会保障・人口問題研究所によると、国勢調査の人口では2040年には16,677人になると推計され、年齢構成を見ると年少人口の割合が少なく、老年人口の割合が増えることが予測されています。

社人研による宇陀市の人口推移予測



県内各市の人口増減状況



出生・死亡(自然増減)と転入・転出(社会増減)

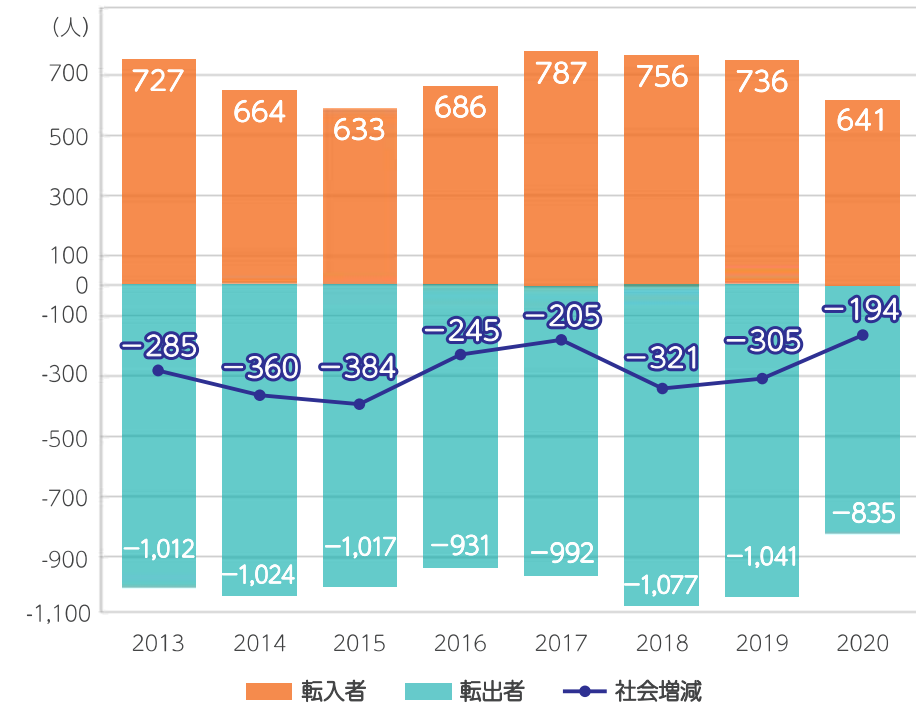
宇陀市の出生・死亡者数は、出生者が死亡者を下回る「自然減」の状態が続いています。転入・転出者数は、転入者が転出者を下回る「社会減」の状態が続いています。

総人口の推移については、人口減少が続いています。

出生・死亡数・自然増減の推移



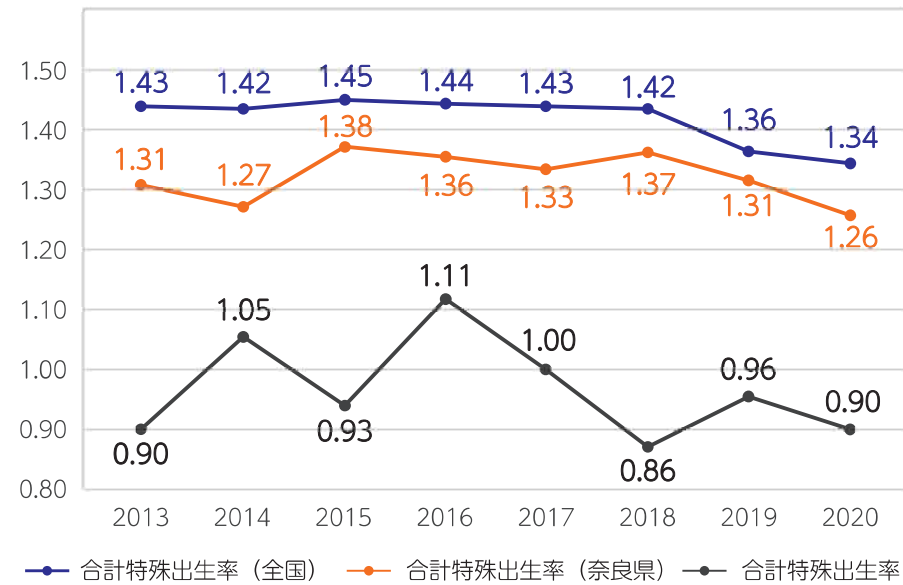
転入者・転出者・社会増減の推移



## 自然減の要因

死亡数はほぼ横ばいであるのに対して、出生者は減少しています。また、合計特殊出生率は、2018年以降1.0を下回る低い水準となっています。これは、奈良県や国の数値を大きく下回っています。このため、自然動態による増減は、自然減が続いています。

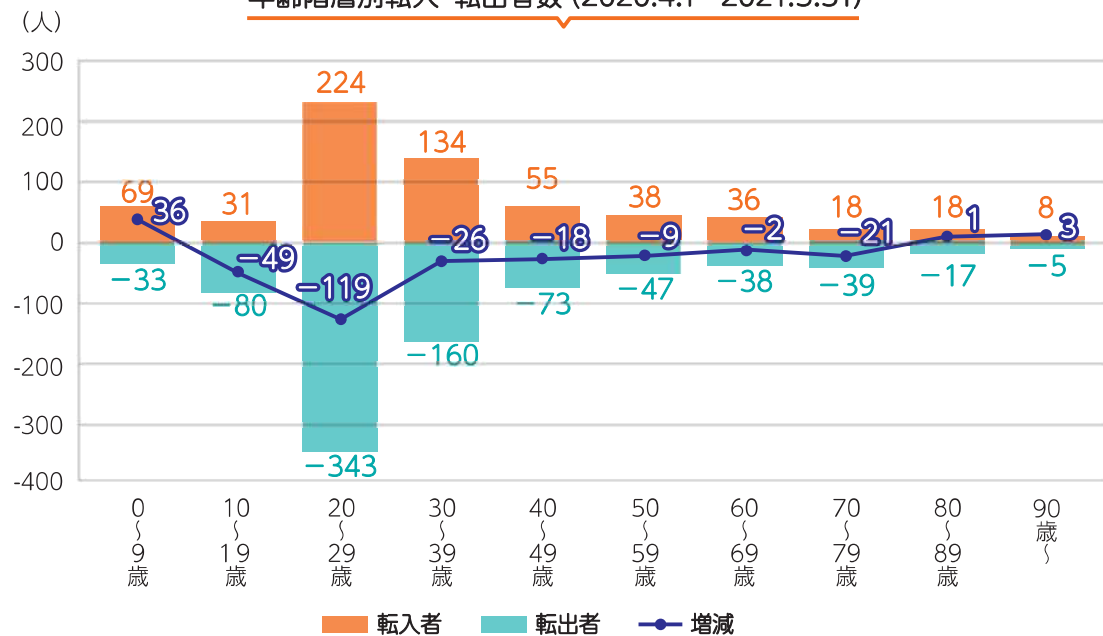
合計特殊出生率の推移



## 社会減の要因

2020年度の年齢別人口移動では、若い年代に多くの転入・転出が見られます。これは、就職等に伴う移動が考えられ、10～19歳、20～29歳、30～39歳にかけて特に転出超過となっています。9歳以下等での転入超過は見られるものの、全体では社会減が続いています。

年齢階層別転入・転出者数 (2020.4.1～2021.3.31)



## (2) 将来人口

人口減少の進展は、地域の需要低下や労働力人口の減少による経済活動の縮小を引き起こし、雇用が不安定になることで結婚や子育て・出産にも影響が及びます。

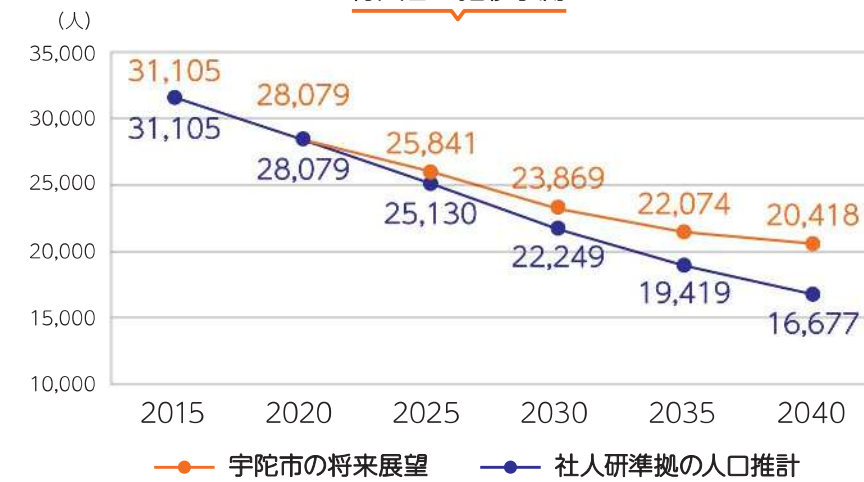
こうした負のスパイラルを防ぐために、農林畜産業の振興や事業所活動・企業誘致による地域の活性化、まちの魅力向上の取り組みを通して継続的な好循環を生み出すことで、目指すまちの将来像の実現を目指して、まちづくりを進めていきます。

まちづくりを実施していく中で、各分野の施策をPDCAサイクルにより見直していくことにより、出生数の増加や転入・定住者の増加、高齢者の健康寿命の延伸を図り、2040年の人口20,000人を保てるよう、事業を実施していきます。

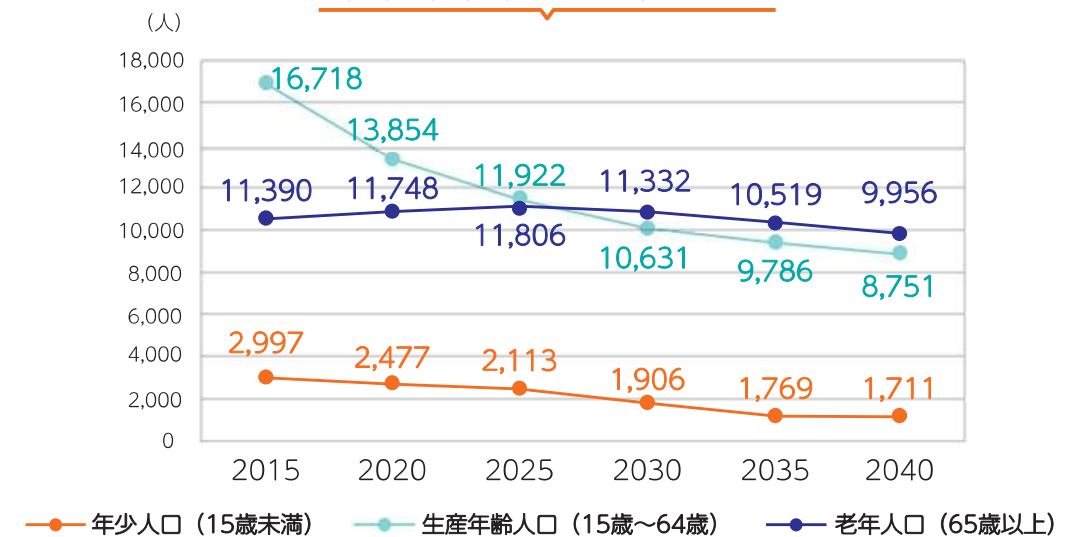
将来人口 (2040年)

20,000人

総人口の推移予測



宇陀市の将来展望における階層別人口



第3編

中期基本計画 2022~2025

# 第1章 まちづくりの成長戦略

宇陀市では、これまでに将来像を実現するために6つの「目指すまちの姿」を掲げてまちづくりに取り組んできました。人口減少に対応するための地方創生への取り組みをはじめ、SDGsの推進、そして新型コロナウイルス等の新たな脅威から市民生活を守るための取り組みなど、更に推進していく必要があります。

今後も引き続き、市民生活を守り、暮らしやすい宇陀市を維持しながらも変化し続ける社会情勢に対応するため、また、目指すまちの姿の実現をより一層、加速させるために、将来を見据えた人口減少対策など「しごと・ひと・まち」の地方創生の取り組みを成長戦略として打ち出し、その牽引役となる先導的、戦略的、横断的な取り組みをリーディングプロジェクトとして位置付けて、取り組んでいきます。

リーディングプロジェクトは、地方創生に関する施策を、横断的に取り組むとともに、今後4年間、重点的に推進することで、将来像「みんなが生きがいをもって暮らせる魅力ある健康なまち 宇陀市 ～輝く歴史と豊かな文化の息づくまち～」の実現を図るものです。

また、デジタル技術の活用やカーボンニュートラルによるグリーン社会の実現に向けた動きが注目されています。宇陀市でも、これらの新たな視点を盛り込むことで、これまでの施策をアップデートし、より良い宇陀市の実現に向けて取り組んでいきます。

## 高原都市宇陀を成長させるリーディングプロジェクト（中期基本計画）



# ひと



# まち





基本構想

将来像	目指すまちの姿	施策の方向性
みんなが生きがいをもって暮らし暮らせる魅力ある健幸なまち 宇陀市 〜輝く歴史と豊かな文化の息づくまち〜	健幸なまち	1-1 「健幸都市“ウェルネスシティ宇陀市”」の実現
		1-2 みんなの幸せを支える福祉環境づくり
		1-3 結婚・出産・子育て世代への魅力ある支援の充実
		1-4 地域医療体制の充実
	暮らしやすいまち	2-1 みんなが住み良いまちづくりの実現
		2-2 移住・定住の促進強化
		2-3 公共インフラの持続的な整備・維持・活用
		2-4 災害に備えた安全・安心な暮らしの実現
	活力あるまち	3-1 地域資源の保全及び産業と連携した活用
		3-2 地域の産業の発展を担う次世代の人材の確保や育成
		3-3 基幹産業である農林業の再生・活性化
		3-4 商工業の再生・活性化
		3-5 観光戦略の推進

基本計画

成長戦略	新たな視点	施策
<p>高原都市宇陀ではたら〜</p> <p>〜産業・観光の振興〜</p>	<p>デジタル化の推進</p>	<p>カーボンニュートラルによるグリーン社会の実現</p>
<p>高原都市宇陀でくらす</p> <p>〜移住定住・子育て支援の充実〜</p>		<p>①新型コロナウイルスなど感染症予防や対策の充実を図ります</p> <p>②健康づくり活動による健幸長寿のまちを実現します</p> <p>③高齢者の介護予防を推進します</p>
<p>高原都市宇陀でつながる</p> <p>〜健幸・安心安全・活力ある地域づくり〜</p>		<p>①だれもが住み慣れた地域で安心して生きがいを持って暮らせるよう支援します</p> <p>②面倒見のいい地域福祉を推進します</p> <p>③医療費の助成による安心できる暮らしを実現します</p>
		<p>①保護者のニーズに応じた子育てしやすい環境づくりを推進します</p> <p>②子どもが健やかに育つよう支援します</p> <p>③産前産後の支援・乳幼児への支援の充実を図ります</p>
		<p>①医療体制の充実を図ります</p> <p>②地域医療と福祉の連携を推進します</p>
		<p>①景観や環境を大切にすまちづくりを推進します</p> <p>②交通安全対策や防犯、消費者保護を推進します</p>
		<p>①土地利用を推進します</p> <p>②移住・定住者への総合的な支援の充実を図ります</p>
		<p>①安全で快適な道路環境を整備・維持します</p> <p>②ニーズに応じた地域公共交通を推進します</p> <p>③効率的で安心・安全な上下水道の運営を推進します</p>
		<p>①自然災害や感染症に強い安心して住み続けられるまちづくりを推進します</p> <p>②防災意識の向上と防災・消防体制の強化を図ります</p>
		<p>①歴史・文化資源の整備や保護・活用を推進します</p> <p>②宇陀産の誇れるものを「大和高原宇陀ブランド」として推進します</p>
		<p>①起業家など多様な人材を育成します</p>
		<p>①地域の特性を活かした農業生産基盤の整備と農地の有効活用を推進します</p> <p>②人材の確保と育成など魅力ある農林畜産業経営の強化を図ります</p> <p>③農林畜産物の生産・流通を推進します</p> <p>④山林を適切に管理します</p>
		<p>①駅前の活性化を推進します</p> <p>②地元で活動する事業者を支援します</p> <p>③企業誘致を進めるとともに新たな産業の展開を支援します</p>
		<p>①魅力ある地域資源を維持し、観光地として整備します</p> <p>②満足度を高める取り組みを推進し、観光客や関係人口を増やします</p> <p>③観光PRや情報発信の強化を図ります</p>

# 基本構想

将来像	目指す まちの姿	施策の方向性
みんなが生きがいをもって暮らせる魅力ある健康なまち 宇陀市 〜輝く歴史と豊かな文化の息づくまち〜	生涯輝くまち	4-1 人権を大切にする共生のまちづくりの実現
		4-2 子どもたちの教育環境の充実
		4-3 多様な学びの場の整備・充実
		4-4 スポーツ・芸術・文化の振興
	自然豊かなまち	5-1 豊かな自然環境の保全・活用
		5-2 生活環境の整備・充実
		5-3 公園・緑地の整備・活用
	地域力を発揮するまち	6-1 市民と行政の協働のまちづくり
		6-2 健全な行政運営の推進
		6-3 広域行政の推進
		6-4 地域力の再生・強化

# 基本計画

成長戦略	新たな視点	施策
<p>高原都市 宇陀ではたらく</p> <p>〜産業・観光の振興〜</p>	<p>デジタル化の推進</p>	<p>①一人ひとりの人権が尊重されたまちづくりを推進します</p> <p>②あらゆる分野での男女共同参画を推進します</p> <p>③仕事と生活の調和がとれたワーク・ライフ・バランスを推進します</p>
<p>高原都市 宇陀でくらす</p> <p>〜移住定住・子育て支援の充実〜</p>		<p>①児童生徒の「よりよく生きる力」を育てます</p> <p>②児童生徒の教育環境を整えます</p>
<p>高原都市 宇陀でつながる</p> <p>〜健康・安心安全・活力ある地域づくり〜</p>		<p>①生涯学習環境の充実を図ります</p> <p>②地域社会全体で子どもの育ちを支えます</p>
		<p>①スポーツ活動の充実を図ります</p> <p>②芸術・文化の振興を図ります</p>
		<p>①豊かで美しい自然環境を保全・活用します</p>
		<p>①ごみ処理施設の整備と循環型社会を推進します</p> <p>②生活衛生環境の向上を図ります</p>
		<p>①快適に利用できる公園・緑地空間を提供します</p>
		<p>①情報発信の充実を図ります</p> <p>②市民協働のまちづくりを推進します</p>
		<p>①わかりやすく丁寧な行政サービスを提供します</p> <p>②新たな時代に対応できる行政運営を確立します</p> <p>③持続可能な財政運営を確立します</p>
		<p>①広域行政を推進します</p>
		<p>①市民のまちづくり活動を支援します</p>

# 第3章 施策と持続可能な開発目標 (SDGs) との関係

基本構想		貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	水・衛生	エネルギー	経済成長と雇用	インフラ、産業化、イノベーション	不平等	持続可能な都市	持続可能な消費と生産	気候変動	海洋資源	陸上資源	平和	実施手段	
		1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を實現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と雇用創出の促進を図ろう	10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つるも責任 つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさも守ろう	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナリシップで目標を達成しよう	
目指すまちの姿	施策の方向性																		
健康なまち	1-1 「健幸都市 “ウェルネスシティ宇陀市”」の実現		●	●															●
	1-2 みんなの幸せを支える福祉環境づくり	●	●	●	●				●		●	●						●	●
	1-3 結婚・出産・子育て世代への魅力ある支援の充実	●	●	●	●				●									●	●
	1-4 地域医療体制の充実			●							●	●							●
暮らしやすいまち	2-1 みんなが住み良いまちづくりの実現			●	●					●		●						●	●
	2-2 移住・定住の促進強化	●		●	●				●	●		●					●		●
	2-3 公共インフラの持続的な整備・維持・活用			●			●			●		●		●	●				●
	2-4 災害に備えた安全・安心な暮らしの実現			●						●		●		●					●
活力あるまち	3-1 地域資源の保全及び産業と連携した活用								●			●					●		●
	3-2 地域の産業の発展を担う次世代の人材の確保や育成								●	●	●						●		●
	3-3 基幹産業である農林業の再生・活性化		●						●	●			●				●		●
	3-4 商工業の再生・活性化	●							●	●			●				●		●
	3-5 観光戦略の推進			●					●			●							●
生涯輝くまち	4-1 人権を大切に共生のまちづくりの実現	●			●	●					●							●	●
	4-2 子どもたちの教育環境の充実	●	●	●	●							●						●	●
	4-3 多様な学びの場の整備・充実			●	●							●						●	●
	4-4 スポーツ・芸術・文化の振興			●	●							●							●
自然豊かなまち	5-1 豊かな自然環境の保全・活用						●	●				●	●	●	●	●			●
	5-2 生活環境の整備・充実		●	●	●		●					●			●	●			●
	5-3 公園・緑地の整備・活用				●				●			●							●
地域力を発揮するまち	6-1 市民と行政の協働のまちづくり				●					●		●						●	●
	6-2 健全な行政運営の推進								●	●		●	●	●				●	●
	6-3 広域行政の推進											●							●
	6-4 地域力の再生・強化				●							●							●

はじめに  
宇陀市の紹介

中期基本計画の  
策定にあたって

基本構想

基本計画

健康なまち

暮らしやすいまち

活力あるまち

生涯輝くまち

自然豊かなまち

地域力を発揮するまち

資料編

# 健幸なまち

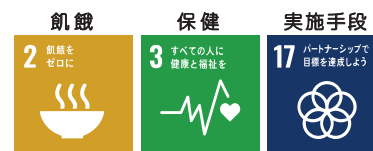
基本構想  
施策の  
方向性

- 1-1 「健幸都市“ウェルネスシティ宇陀市”」の実現
- 1-2 みんなの幸せを支える福祉環境づくり
- 1-3 結婚・出産・子育て世代への魅力ある支援の充実
- 1-4 地域医療体制の充実

評価指標	現状値		目標値 (2029年)	指標の考え方
	前期基本計画 策定時	中期基本計画 策定時		
健康寿命※1	男性	82.45歳 (2015年)	82.53歳 (2018年)	84歳 市民一人ひとりが健康を維持することで、健康寿命が向上すると考えます。
	女性	84.80歳 (2015年)	85.20歳 (2018年)	86歳
1人あたりの 国民健康保険 の医療費	363,735/人 (2017年度)	373,854/人 (2020年度)	全国平均 又は奈良県 平均を下回る	市民一人ひとりが健康を維持することで、長期の入院や治療が減少し、年間医療費を抑制できると考えます。
15歳未満 人口比率	9.14% (2017年度)	8.57% (2020年度)	10.0%	保健・医療・福祉等の連携・充実や地域の協働によるまちづくりによって、子どもを安心して産み、育てられる環境を整えることで、15歳未満の人口比率が向上すると考えます。

※1. 健康寿命: 日常的に介護を必要とせず、健康で自立した生活ができる期間のことで、奈良県では65歳以降の平均余命から要介護2以上の平均要介護期間を差し引いて計算しており、算出された期間に65歳を加えて表しています。

SDGs



基本構想  
施策の  
方向性

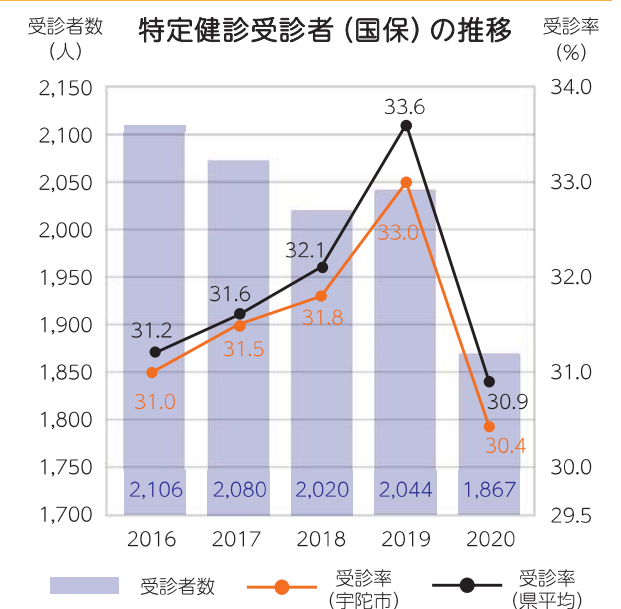
## 1-1 「健幸都市“ウェルネスシティ宇陀市”」の実現

### 現状

- ▶ 新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、感染症に関する情報を提供するとともに、ワクチン接種を実施
- ▶ 宇陀市の高齢化率は42.1% (2020年国勢調査)
- ▶ 心身ともに健康で、生きがいを感じながら豊かな生活を送ることができるよう、健康づくりや健康寿命を延ばす取り組みを実施
- ▶ 悪性新生物※2や生活習慣病の予防、早期発見・早期治療のため、がん検診や特定健診※3、特定保健指導※4の実施及び受診勧奨
- ▶ うつ病等の精神疾患が関係していることが多い、こころの健康づくりを継続的・計画的に行うことが重要
- ▶ 介護・介助が必要となる要因は、加齢による筋肉の衰えや生活の不活発※5が大半を占めており、介護が必要となる状態を予防するため、定期的な運動習慣や身近な地域で「住民主体の集いの場」の地域展開を支援

### 課題

- ▶ 新型コロナウイルス感染症等の予防に対する意識を高め、感染予防対策を自然に実践できるよう周知・啓発の促進
- ▶ 一人ひとりが、自分自身の健康状態を把握し、日頃から健康づくりに取り組むことが重要となることから、ライフステージに応じた切れ目のない健康づくりの支援
- ▶ 特定健診やがん検診の受診率、特定保健指導の実施率の向上
- ▶ コロナ禍で外出や他者との接触が制限された状況下でも、ICT※6等を活用した健康相談や体を動かす機会の創出
- ▶ 介護が必要となる要因の一つである閉じこもり・虚弱な状態にある高齢者の把握や、生きがいを持つて生活ができる支援



※2. 悪性新生物: 悪性腫瘍のことで、細胞が何らかの原因で変異して増殖を続け、周囲の正常な組織を破壊する腫瘍です。がんや肉腫等がこれに入ります。  
 ※3. 特定健診: 日本人の死亡原因の約6割を占める生活習慣病の予防のために、40歳から74歳までの方を対象に行う、メタボリックシンドロームに着目した健診です。  
 ※4. 特定保健指導: 特定健診の結果から、生活習慣病の発症リスクが高く、生活習慣の改善による生活習慣病の予防効果が多く期待できる方に対して、保健師や栄養士など専門スタッフが生活習慣を見直すサポートをします。  
 ※5. 生活の不活発: 体力や気力の衰えた高齢者が外出の機会が減ったり、家にいる時間が長くなる状態をいいます。  
 ※6. ICT: [Information and Communication Technology (情報通信技術)] の略で、通信技術を活用したコミュニケーションを指します。デジタル化された情報の通信技術であり、インターネットなどを経由して人と人をつなぐ役割を果たしています。

施策

① 新型コロナウイルスなど感染症予防や対策の充実を図ります

- ▶市民に重大な被害を及ぼす新型コロナウイルス感染症の流行を防ぐため、体制の強化
- ▶新型コロナウイルスなど、感染症の発症や重症化を予防するため、正しい知識の情報提供を図るとともに、予防に有効であるワクチンの予防接種の啓発や接種勧奨
- ▶インフルエンザや肺炎の罹患・重症化を予防するため、65歳以上の高齢者等を対象とした予防接種に対する助成

② 健康づくり活動による健幸長寿のまちを実現します

- ▶生活習慣病の予防や重症化予防等の健康づくり活動、講演会等の啓発活動
- ▶健康に対する意識を高め、ライフステージにあわせて病気による早世（65歳未満の死亡）や疾病の予防
- ▶病気の早期発見、早期治療ができるように、国民健康保険加入者に対して人間ドック等の費用の一部助成
- ▶コロナ禍に対応した、リモートによる生活習慣病の保健指導や健康相談
- ▶地域やボランティア組織など多様な活動主体による食生活を中心とした健康づくり活動を支援するとともに連携の強化
- ▶ストレスや心の悩みを抱えている当事者や家族に対する相談体制の充実を図るとともに、互いに支え合う地域づくり

③ 高齢者の介護予防を推進します

- ▶閉じこもりや虚弱な状態の支援を必要とする高齢者を早期に把握することで、介護予防事業等への参加の促進
- ▶運動機能低下の抑制や生活の中に運動を取り入れ、要介護状態になることを防止するため、KDBシステム（国保データベースシステム）\*7を活用し、状態の改善や維持、悪化の遅延を図り、生きがいを持って自立した日常生活を送ることができるよう支援
- ▶高齢者の心身の多様な課題に対応したきめ細かな支援の強化
- ▶高齢者の介護予防活動を促進し、地域で自立した生活を送る元気な高齢者の増加を目指し、いきいき百歳体操やいきいきサロン等の通いの場を通じた支え合いの地域づくり



各地域で行っている「いきいき百歳体操」



こんな事業をしています

（事業は2021年度）

- 新型コロナウイルスワクチン接種
- 高齢者等予防接種
- ウェルネス運動
- 介護予防普及啓発（レッドコード、健幸ストレッチ、3軽体操）
- 特定健診・特定保健指導・がん検診
- いきいき百歳体操補助

こんな計画が関連しています

- ウェルネスシティ宇陀市構想
- 宇陀市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画
- 宇陀市地域福祉計画及び地域福祉活動計画
- ウェルネスシティ宇陀市健康づくり計画
- 宇陀市自殺対策計画
- 宇陀市過疎地域持続的発展計画

\*7. KDBシステム（国保データベースシステム）：国保・介護保険の安定的運営を目指した保健事業を推進するため、国保連合会が保険者（市町村等）に提供しているデータ分析システムです。

SDGs



基本構想  
施策の方向性

1-2 みんなの幸せを支える福祉環境づくり

現状

- ▶医療的ケア\*8が必要な重度の障がいのある人への日常生活を支援する上で、受け入れ先の確保が難しく、家族への介護の負担が増加
- ▶手話が言語であるとの認識に基づき、市民の手話に対する理解を深め、ろう者が地域や職場で安心して生活できる環境や、障がいの特性に応じた多様なコミュニケーション手段に対する理解及びそれらを利用するための環境整備
- ▶少子化や高齢化の進行、地域のつながりの希薄化による社会的孤立等の影響により、介護や障がい、ひきこもり、生活困窮等の課題が複合化し、単一の制度のみでは対応が困難であるため、断らない相談支援体制として関係機関と連携を図り、専門性を活かした支援



課題

- ▶高齢者や障がいのある人が住み慣れた地域で安心して暮らすために、誰もが相互に理解を深め尊重し、支え合う意識の醸成
- ▶元気な高齢者が、長年培った知識や経験、技術を活かすことができる機会や場所の創出
- ▶医療的ケアが必要な重度の障がいのある人が、住み慣れた地域で安心して暮らすために、医療的ケアの充実と居場所の確保
- ▶民生委員・児童委員等の地域福祉の担い手との連携強化や活動しやすい環境づくり
- ▶断らない相談支援体制において、制度につなげるだけでなく社会参加や地域とのつながりに向けた支援
- ▶認知症や知的障がい、精神障がい等により判断能力が不十分なことにより、財産の管理や日常生活等に支障がある人を社会全体で支え合うため、成年後見制度\*9の推進

\*8. 医療的ケア：日常的に人工呼吸器や胃ろう等を使用し、たんの吸引や経管栄養等のケアを必要とすることです。

\*9. 成年後見制度：判断能力が十分でない成年者が、財産管理や身上監護（契約締結・施設や介護の選択）についての契約、遺産分割などの法的行為を行うのが困難な場合等に、それらの人の権利を守るための制度です。

施策

① だれもが住み慣れた地域で安心して生きがいを持って暮らせるよう支援します

- ▶医療介護あんしんセンターが中核的な機関となり地域包括ケアシステム<sup>※10</sup>を推進し、高齢者や障がいのある人をはじめ、だれもが住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができる地域づくり
- ▶認知症対策、介護予防、在宅医療と介護の連携を推進し、介護が必要となった高齢者等のニーズに応じた介護サービスや見守り等の支援を行うとともに、その家族を含めた相談支援体制の充実に向け、医療機関や介護サービス事業者、社会福祉協議会等の連携強化
- ▶高齢者が住み慣れた地域で生きがいを持って活躍できるよう、宇陀市シルバー人材センターや老人クラブ等の活動の支援
- ▶障がいのある人が自立した生活ができるよう、相談支援センター等の相談窓口の充実や日常生活・就労など社会参加の機会を促すための障害福祉サービスの充実など、支援体制の強化
- ▶重度の障がいのある人の医療的ケアのニーズを把握し、福祉、保健、医療と連携した安心して過ごせる居場所づくり
- ▶障がいの有無にかかわらず、人格や個性を尊重し合えるよう手話に対する理解の促進と普及、また障がいの特性に応じたコミュニケーション手段の普及・利用促進
- ▶障がいに関する啓発や関連団体の活動支援等により、障がいや障がいのある人に対する理解を深め、地域活動等への参加の支援



③ 医療費の助成による安心できる暮らしを実現します

- ▶子どもや心身に障がいのある人等に対して医療費の助成を行うことで、健康の保持と福祉の増進
- ▶不妊や不育に対する治療費、身体の発育が未熟なまま生まれ、入院を必要とする乳児の治療に必要な医療費等について助成を行い、経済的な負担の軽減



こんな事業をしています

(事業は2021年度)

- 高齢者等見守り支援
- 認知症総合支援
- 障がい者(児)支援
- 断らない福祉相談
- 生活困窮者自立支援
- 高齢者等サポート隊
- 福祉医療費助成
- 不妊治療費助成
- 不育症治療費助成

こんな計画が関連しています

- ウェルネスシティ宇陀市構想
- 宇陀市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画
- 宇陀市障がい者計画
- 宇陀市子ども・子育て支援事業計画
- さんとぴあ榛原経営戦略
- 宇陀市過疎地域持続的発展計画
- 宇陀市地域福祉計画及び地域福祉活動計画

② 面倒見のいい地域福祉を推進します

- ▶ひきこもりや生活困窮など複合的な生活課題を抱えた人を支援するために、気軽に相談できる「断らない福祉相談支援体制」の充実
- ▶地域福祉の中心的役割を担う社会福祉協議会やボランティア団体等の関係団体との連携の強化
- ▶民生委員・児童委員など地域の人たちによる見守りや助け合い活動
- ▶生活困窮者の自立を促すために、自立相談支援員や就労支援員による就労準備や家計改善等を行いながら就労に繋がる支援
- ▶成年後見制度等の普及や利用促進
- ▶虐待予防のための相談体制の充実や発生時の迅速な対応、虐待を受けた子どもや障がいのある人、高齢者等が自立するまでの切れ目のない支援



※10. 地域包括ケアシステム：要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう医療・介護が一体的に提供される体制のことです。

SDGs

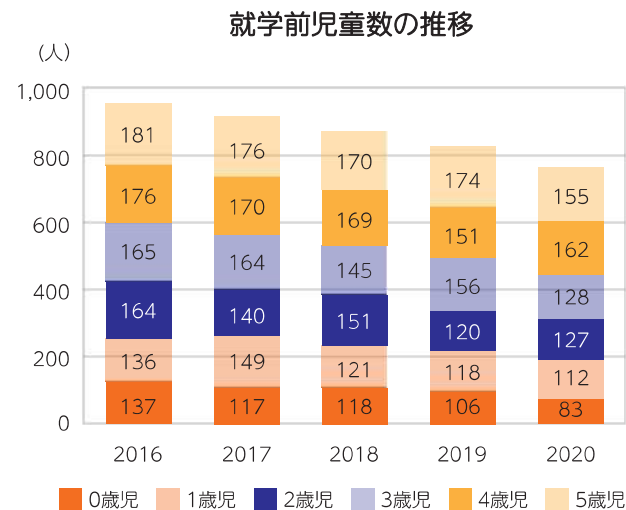


基本構想  
施策の方向性

1-3 結婚・出産・子育て世代への魅力ある支援の充実

現状

- ▶ 榛原地域の幼保施設は築40年以上経過しているものもあり、老朽化に伴い、施設管理や運用が困難
- ▶ 大宇陀こども園等において、今後は計画的な大規模改修が必要
- ▶ 核家族化や地域のつながりの希薄化により、子育ての知恵や経験を家族や地域で共有する機会が減少
- ▶ 発達に気がかりのある子どもや要保護児童<sup>※11</sup>、ひとり親家庭など支援が必要な子どもや家庭を専門的、総合的に支援できる体制整備
- ▶ 新型コロナウイルス感染症の影響で人との接触機会が減少しており、さらに長期化することで社会的孤立が懸念
- ▶ 結婚から妊娠期、乳幼児期においてそれぞれの過程で切れ目のない支援を行い、子育て世代が安心して育児ができる環境整備



課題

- ▶ 榛原地域における公立幼稚園と公立保育園を包括する、幼保連携型認定こども園<sup>※12</sup>の早期整備
- ▶ 仕事と子育ての両立など保護者の多様なニーズに対応した環境づくり
- ▶ いつでも気軽に子育ての相談ができる場の充実
- ▶ 地域ぐるみの活動や世代間交流を促し、地域全体で子どもを育てる活動の活性化
- ▶ 発達に気がかりのある子どもへの支援、要保護児童への対応、ひとり親家庭への自立支援の強化
- ▶ 年齢や成長の度合いに見合わない重い責任や負担を負うヤングケアラー<sup>※13</sup>は、本人の育ちや教育に影響
- ▶ 子ども一人ひとりが可能性を伸ばし、豊かな想像力を育てる保育・幼児教育の環境整備と質の向上
- ▶ 安心して妊娠や出産ができる環境を整えるとともに、母親が子育てに不安や孤立感を持たないように、妊娠期から切れ目のない相談支援や情報提供等
- ▶ 新型コロナウイルスの影響で孤立するリスクが高まっている子育てに悩む保護者への相談体制の充実

※11. 要保護児童：保護者がいない児童、または保護者に監護させることが不適当と認められる児童のことであり、  
 ※12. 幼保連携型認定こども園：保育園と幼稚園の認可を持つ施設が、単一の施設として機能を果たす認定こども園のことです。  
 ※13. ヤングケアラー：本来大人が担うと考えられている家事や家族の世話等を日常的に行っている子どものことです。

施策

① 保護者のニーズに応じた子育てしやすい環境づくりを推進します

- ▶ 子どもたちが安心して過ごせるよう、榛原地域での幼保連携型認定こども園や保護者のニーズに応じた子育て支援施設の整備
- ▶ 仕事と子育ての両立を実現するために、一時預かり保育や病後児保育<sup>※14</sup>・ファミリー・サポート・センター<sup>※15</sup>の利用促進など、多様な働き方にあわせて柔軟に利用できる子育て支援事業の充実
- ▶ 出産・育児・子育てに関する相談、交流・情報交換等の支援を行う子育て支援センターの機能の充実
- ▶ こども食堂の運営支援など地域で安心して過ごすことの出来る「居場所」づくり
- ▶ 出産時や小学校及び中学校入学を迎える世帯など子育て家庭への経済的な支援



2020年に整備した菟田野こども園

② 子どもが健やかに育つよう支援します

- ▶ 子ども家庭総合支援拠点<sup>※16</sup>において、すべての子どもとその家庭が抱える様々な問題（虐待・家庭内暴力等）に対して、子育て世代包括支援センター<sup>※17</sup>等との連携を図りながら、専門の職員による相談・支援の強化
- ▶ 福祉、介護、医療、教育等といった様々な分野が連携し、ヤングケアラーの早期発見を図り、重層的な支援
- ▶ こども園や幼稚園等で「三つ子の魂百まで」プロジェクトを推進し、成長に応じた質の高い教育・保育の提供
- ▶ 子育て中の保護者と子どもと一緒に過ごせる時間を持てるように、子育て支援センターや図書館等での読書活動や講座等の開催
- ▶ 本に親しむ習慣を育み、幼児の健やかな成長の支援



遊具で元気に遊ぶ園児

※14. 病後児保育：子ども（生後6ヵ月から小学3年生）が発熱や下痢、感染症等の病気の回復期にあり、保護者が仕事等で家庭保育できない場合の保育です。  
 ※15. ファミリー・サポート・センター：育児の援助を受けたい人と育児の援助をしたい人が登録し、会員となり、会員同士が有料で援助し合う組織のことです。  
 ※16. 子ども家庭総合支援拠点：子どもとその家庭、妊産婦等を対象として、地域の実情の把握、相談対応、調査、継続的支援等を行うもので、こども未来課内に設置しています。  
 ※17. 子育て世代包括支援センター：保健師等の専門スタッフが妊娠・出産・育児に関する様々な相談に対応し、必要に応じて保健・福祉・医療の関係機関との連絡調整を行うなど、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を行うもので、中央保健センター内に設置しています。

③ 産前産後の支援・乳幼児への支援の充実を図ります

- ▶ 妊婦の健康管理、異常を早期に発見することで、妊婦が安全・安心に妊娠を経過し、出産できるよう支援体制の充実
- ▶ 安心して妊娠・出産・育児ができるよう面談や訪問等による相談・助言・指導を行うなど、妊産婦と乳児の産前・産後の支援の充実
- ▶ 子育て世代包括支援センターにおいて、悩みを抱える妊産婦に対して、保健師等の専門の職員が関係機関と連携を図りながら相談支援し、虐待の予防・早期発見に努めるなど、妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援
- ▶ コロナ禍で、対面での相談が不安な妊産婦に対して、非対面（リモート）で行い、安心して相談できる最適な環境の提供
- ▶ 乳幼児の健康診査を行い、必要に応じた発育・発達の支援



こんな事業をしています

(事業は2021年度)

- |              |          |                 |
|--------------|----------|-----------------|
| ○一時保育        | ○子ども読書活動 | ○三つ子の魂百までプロジェクト |
| ○大宇陀こども園長寿寿化 | ○妊婦健康診査  | ○ファーストバースデー祝い品  |
| ○病後児保育       | ○乳幼児健康診査 | ○子ども家庭総合支援拠点    |
| ○榛原地域就学前施設整備 |          |                 |

こんな計画が関連しています

- |                   |                      |
|-------------------|----------------------|
| ○宇陀市子ども読書活動推進計画   | ○ウェルネスシティ宇陀市健康づくり計画  |
| ○宇陀市子ども・子育て支援事業計画 | ○宇陀市過疎地域持続的発展計画      |
| ○ウェルネスシティ宇陀市構想    | ○宇陀市地域福祉計画及び地域福祉活動計画 |

SDGs



基本構想

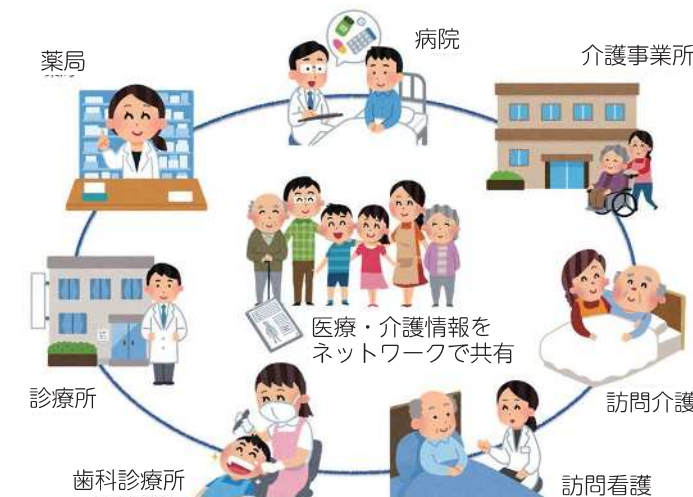
施策の方向性

1-4 地域医療体制の充実

現状

- ▶ 中期基本計画策定に向けた市民アンケートで、これからの宇陀市にとって必要な取り組みについて「医療体制の充実」を挙げる人が多かったほか、2020年に行った高齢者を対象としたニーズ調査においても、将来の心配ごと・困りごとについて、「病气や介護のこと」を一番に挙げる人の割合は58.4%と多い
- ▶ 市立病院において、医師の確保及び地域医療部を開設し、訪問診療を実施
- ▶ 相次ぐ開業医の閉院により、大宇陀地域では開業医が1院のみとなり、地域の医療体制を確保
- ▶ 市立病院、地区医師会をはじめとする「医療」と「介護」の専門職の多職種連携により、切れ目のない医療と介護の提供体制を推進
- ▶ 医療や介護に関わる多職種が情報連携できるネットワーク「宇陀けあネット」により、地域包括ケアシステムを推進
- ▶ 中期基本計画策定に向けた、子育て世代の人たちとの座談会で、子どもの急病に対応できる医療体制の充実を望む声があった

宇陀けあネット



課題

- ▶ 市立病院を中心に、医療機関や介護事業所等との連携の強化
- ▶ 開業医の高齢化・後継者不足による閉院により、開業医がない地域での医療の確保
- ▶ 医療や介護を必要とする高齢者等に対する人材確保
- ▶ 子どもの急病に対応できる医療体制の充実



施策

① 医療体制の充実を図ります

- ▶市立病院が「面倒見のいい病院」としての役割を果たすため、地域包括ケアシステムの中核病院として、在宅医療や介護、民間医療機関等との連携を充実させ、奈良県東部地域の中核病院として機能の強化
- ▶市立病院が、県東部の「へき地医療拠点病院<sup>※18</sup>」として、国民健康保険直営診療所等への代診医派遣、訪問診療・訪問リハビリテーション等の取り組みの充実
- ▶奈良県立医科大学から市立病院への医師の派遣を受け、地域医療体制の強化
- ▶医療機関のない地域への移動診療車による巡回診療の実施
- ▶巡回診療をきっかけとした地域の集いの場など、高齢者が安心して生活ができる仕組みづくり
- ▶市立病院で勤務する常勤医師など、医療従事者の確保を図り、安心して暮らせる環境づくり
- ▶国民健康保険直営診療所において、地域の医療の確保を図るとともに、高度な医療が必要な場合、早期治療が行えるよう市立病院との連携の強化
- ▶休日や夜間における小児や妊婦等の救急医療について、県内で広域的に対応ができる体制の維持



移動診療車（イメージ）

② 地域医療と福祉の連携を推進します

- ▶介護等を受けている治療の必要な人が、安心して病院へ入院し、回復後に切れ目なく在宅療養ができるよう、病院とケアマネジャー、地域包括支援センター等との連携強化と環境づくり
- ▶全国的にも先進的な取り組みである宇陀けあネットでの情報共有について、加入機関間の連携強化と環境づくりを図るとともに、近隣市町村の協力を得ながら一層の充実



こんな事業をしています

（事業は2021年度）

- 地域医療体制推進における寄附講座
- 産婦人科一次救急体制整備負担金
- 小児深夜診療負担金
- 医療介護連携ICT負担金（宇陀けあネット）

こんな計画が関連しています

- ウェルネスシティ宇陀市構想
- 宇陀市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画
- ウェルネスシティ宇陀市健康づくり計画
- 宇陀市自殺対策計画
- 宇陀市地域福祉計画及び地域福祉活動計画
- 宇陀市過疎地域持続的発展計画

※18. へき地医療拠点病院：へき地診療所等への代診医等の派遣、へき地医療従事者に対する研修、巡回診療等を行う病院のことで、宇陀市立病院は2021年度に奈良県から指定を受けています。

2

暮らしやすいまち

基本構想  
施策の  
方向性

- 2-1 みんなが住み良いまちづくりの実現
- 2-2 移住・定住の促進強化
- 2-3 公共インフラの持続的な整備・維持・活用
- 2-4 災害に備えた安全・安心な暮らしの実現



評価指標	現状値		目標値 (2029年)	指標の考え方
	前期基本計画 策定時	中期基本計画 策定時		
人口の社会動態 (転入者数 - 転出者数)	-205人 (2017年度)	-194人 (2020年度)	-150人	まちの住みやすさが向上することによって、市外への転出者数が減少し、市外からの移住が促進され、社会動態の減少数が小さくなると考えます。



SDGs



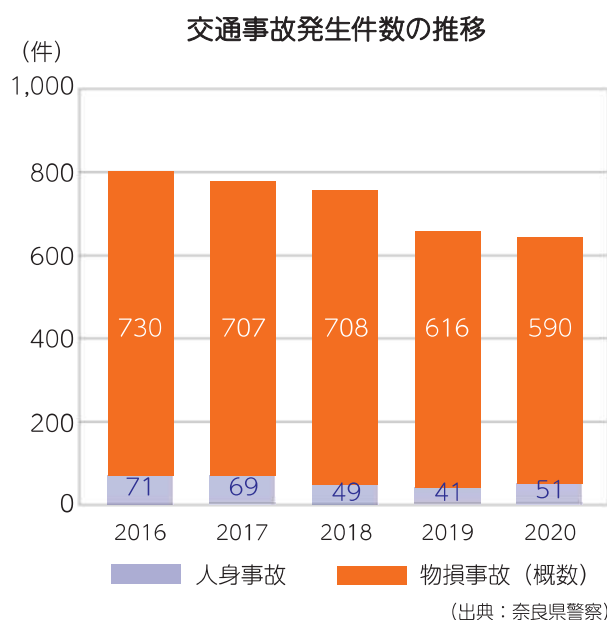
基本構想

施策の方向性

2-1 みんなが住み良いまちづくりの実現

現状

- ▶ 中期基本計画策定に向けた市民アンケート調査で、「宇陀市の印象・イメージ」について、約9割が「緑が多く自然が豊か」と回答
- ▶ 松山地区伝統的建造物群保存地区の歴史的まちなみの景観を維持、活用するため、町家等の建造物の修理・修景に対して支援
- ▶ 2019年に実施した空き家等実態調査において、726戸が空き家候補と判定され、所有者に対するアンケート調査では、回答者のうち「空き家を売却したい」、「貸し出しをしたい」と答える人がいた
- ▶ 防犯や交通事故防止のため、各種関係団体による啓発活動等を支援
- ▶ 幅広い年齢層にスマートフォンの利用が普及している中、様々な消費生活相談が増加
- ▶ 通学路の安全確保を図るため、奈良県東部地域で初めてキッズゾーン<sup>※19</sup>を設置



課題

- ▶ 自然や歴史・文化と調和した景観形成や環境と経済が両立した住みやすいまちづくり
- ▶ 防犯や交通事故防止のための取り組みの継続
- ▶ 子どもたちを危険から守るために通学路等の安全の確保
- ▶ あらゆる年代に向けた消費者保護の啓発

施策

① 景観や環境を大切にすまちづくりを推進します

- ▶ いつまでも住み続けたいと思える自然環境に配慮した持続可能なまちづくり
- ▶ 松山地区伝統的建造物群保存地区や室生寺門前町など各地域の特性に応じたまちなみ景観の維持
- ▶ 空き家等の所有者に対して適正な管理指導を行い、景観・環境への配慮や市民生活の安全対策、空き家情報バンクへの登録等の推進

② 交通安全対策や防犯、消費者保護を推進します

- ▶ 通学路等の安全を確保し、交通事故の未然防止のため、キッズゾーンの設定や交通安全施設の整備
- ▶ 交通ルールの遵守、正しい交通マナーの実践を習慣付けるため、関連団体が行う啓発活動等の支援
- ▶ 子ども達の登下校時の安全確保など、地域による見守り活動の推進
- ▶ 空き巣等の犯罪に対し、防犯意識を高める啓発活動
- ▶ 犯罪を抑止するための防犯設備等の整備
- ▶ 地域と警察等が連携した地域防犯体制の整備
- ▶ 高齢者等を狙った特殊詐欺やデジタル化による消費者トラブル等の被害を未然に防ぐため、関係機関との連携、相談窓口の強化、安全・安心メールでの情報提供等による消費者の保護



榛原榛見が丘に設置のキッズゾーン



こんな事業をしています (事業は2021年度)

- 空き家情報バンク
- 防犯灯整備
- 消費者生活相談窓口開設
- 松山地区伝統的建造物群保存地区補助
- 特殊詐欺等防止機器購入補助

こんな計画が関連しています

- 宇陀市空家等対策計画
- 宇陀市都市計画マスタープラン
- 宇陀市松山伝統的建造物群保存地区保存計画
- 奈良県と宇陀市とのまちづくりに関する基本計画
- 宇陀市過疎地域持続的発展計画
- 宇陀市通学路交通安全プログラム

※19. キッズゾーン：保育所等が行う散歩等の園外活動の安全を確保するため、車両の運転者に対して注意喚起することを目的として設定した道路の区域のことです。



基本構想  
施策の方向性

2-2 移住・定住の促進強化

現状

- ▶ 宇陀市では少子化の進展や転出者が転入者を上回る人口の社会減少が進行
- ▶ 新型コロナウイルス感染症に伴う新しい生活様式の浸透による地方移住への関心の高まり
- ▶ 中期基本計画策定に向けた座談会で、働ける場の確保や駅前の活性化、魅力の発信、医療体制の充実など、移住・定住に必要な取り組みを望む声があった
- ▶ 中期基本計画策定に向けた市民アンケートでも、これからの宇陀市にとって必要な取り組みについて、「雇用の場の確保」、「医療体制の充実」、「空き家の有効活用」を挙げる人が多かった
- ▶ 定住促進に向けて、移住・定住者に対する助成
- ▶ 移住に関する問い合わせが、コロナ前より増加しており、オンラインによる相談窓口を開設
- ▶ 古民家を改修し、宇陀市での生活を体験できる移住体験施設を整備
- ▶ 公営住宅等長寿命化計画に基づく市営住宅の修繕・管理の実施

課題

- ▶ 働く場の確保のため、産業ゾーン※20として位置付けられている市街化調整区域の土地活用
- ▶ 就職に伴う転出の減少や仕事と子育てを両立できる働く場の確保
- ▶ 宇陀市の自然環境や歴史・文化資源、また近鉄大阪線が通り、名阪国道からも近いといった立地など、魅力を伝える情報発信
- ▶ 移住・定住を促進するため、移住体験施設の周知及び利用促進
- ▶ 古民家に関する相談に対して紹介できる物件が少ないことから、空き家情報バンク制度の周知と登録物件の増加
- ▶ 市内での起業や多様な働き方に対応した支援や環境の整備
- ▶ 安心して妊娠や出産ができる環境など、子育て支援の充実



※20. 産業ゾーン：既存産業の集積地や企業誘致・新産業の創出のための受け皿となる区域で、宇陀市都市計画マスタープランで位置付けている区域です。

施策

① 土地利用を推進します

- ▶ 住宅地や商業地、工業地等の健全な発展と秩序ある整備の推進及び農地や森林地域などの自然環境の保全と活用
- ▶ 市街化調整区域における地区計画制度※21の活用による土地の有効利用や社会経済活動の推進
- ▶ 土地を有効利用するため、地籍調査※22の推進

② 移住・定住者への総合的な支援の充実を図ります

- ▶ 榛原駅前交流施設や空き家を活用した移住体験施設「宇陀の魅力体験施設」等で宇陀市の良さを知ってもらい、体験してもらうとともに市外へも宇陀市の魅力を広く発信
- ▶ 関係人口の増加を図るため、移住や二地域居住※23、定住に向けた活動を行う団体の支援
- ▶ 空き家の所有者に空き家情報バンク制度の周知及び利用を図り、空き家の有効利用の促進
- ▶ 人口減少の歯止めと定住化のため、移住・定住者に対する支援
- ▶ 子育て世代について、移住・定住への支援のほか、出産時や小学校・中学校入学を迎える時期での経済的な支援
- ▶ 結婚に伴い宇陀市でスタートする新生活に対する支援
- ▶ 独身男女の出会いイベントの支援
- ▶ 市営住宅の長寿命化に向け、施設の計画的な改善
- ▶ 空き家・空き店舗の活用など起業に向けた支援の充実
- ▶ 多様な働き方に対応したサテライトオフィス※24の整備・活用や一時預かり保育、病後児保育、ファミリー・サポート・センターの利用促進など、子育て支援事業の充実



宇陀の魅力体験施設の外観



こんな事業をしています (事業は2021年度)

- 地籍調査
- 空き家情報バンク
- 定住促進奨励金交付
- 市営住宅長寿命化修繕
- 宇陀の魅力体験施設整備

こんな計画が関連しています

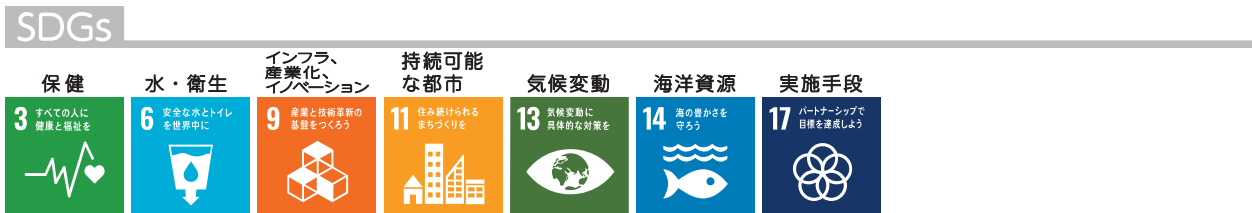
- 宇陀市都市計画マスタープラン
- 奈良県と宇陀市とのまちづくりに関する基本計画
- 宇陀市公営住宅等長寿命化計画
- 宇陀市立地適正化計画
- 宇陀市公共施設等総合管理計画
- 宇陀市過疎地域持続的発展計画

※21. 市街化調整区域における地区計画制度：市街化調整区域の性格を変えない範囲で、無秩序な土地利用や乱開発を防止し、土地利用が行われることが確実な区域について、計画的かつ適切な土地利用を図る制度のことです。

※22. 地籍調査：一筆ごとの土地の所有者、地番、地目を調査し、境界の位置と面積を測量する調査のことです。

※23. 二地域居住：都市部と地方に二つの拠点をもち、定期的に地方でのんびり過ごしたり、仕事をしたりする新しいライフスタイルの一つです。

※24. サテライトオフィス：企業や団体の本拠地から離れた場所に設置されるワーキングスペースのことです。



基本構想  
施策の方向性

2-3 公共インフラの持続的な整備・維持・活用

現状

- ▶ 橋梁やトンネル、道路の舗装面に経年による劣化が進行
- ▶ 国や県の道路計画において国道165号が中和津道路として位置付けられる
- ▶ 通勤や通学、通院、買い物等の移動手段となる市営有償バスやデマンド型乗合タクシーの運行、路線バス等の運行に対して支援
- ▶ 少子化や人口減少の進行、さらには新型コロナウイルス感染症の影響により、地域公共交通機関の利用者が減少
- ▶ 上水道は、(仮称) 奈良県広域水道企業団の設立を踏まえて、計画的に事業を実施
- ▶ 人口減少や節水機器の普及等により、上下水道料金収入の伸びが停滞



課題

- ▶ 劣化が進行している道路や橋梁・トンネルの計画的な維持補修
- ▶ 災害に強いまちづくりを推進するため、防災拠点や緊急輸送道路<sup>※25</sup>の整備
- ▶ 自動車を運転できない人のニーズを把握し、まちづくりと連携した持続可能な地域公共交通について検討
- ▶ 人口減少や施設の老朽化等に対応する安定した上水道の経営基盤の構築
- ▶ 老朽化している下水道施設の更新

施策

① 安全で快適な道路環境を整備・維持します

- ▶ 市内道路網の維持及び安全性確保のため、市道の整備や維持補修に取り組み、災害時の緊急輸送道路としての機能の確保のほか、国・県との連携強化
- ▶ 橋梁やトンネルの計画的な長寿命化を図るとともに、落石等の危険の未然防止
- ▶ カーブミラーや防護柵、街路灯等の交通安全施設を整備し、安心して利用できる道路環境づくり
- ▶ 中和津道路が重要物流道路<sup>※26</sup>として指定され、整備促進がなされるよう、近隣自治体と連携し国や県へ働きかけの実施
- ▶ 県道の狭隘な区間の解消に向け、県への要望の継続

※25. 緊急輸送道路：地震等の大規模災害発生直後から、救助活動人員や物資等の緊急輸送を円滑かつ確実に行うため、道路管理者等が事前に指定する路線のことです。  
 ※26. 重要物流道路：平常時・災害時を問わない安定的な輸送を確保するため、物流上重要な道路輸送網として国土交通大臣が指定した路線のことです。

② ニーズに応じた地域公共交通を推進します

- ▶ 事業者、地域と一体となった地域公共交通網の維持のため、市営有償バスやデマンド型乗合タクシーの運行、路線バス等を運行する事業者等への支援
- ▶ 地域公共交通の運行効果を検証し、地域の特徴に応じた利便性の向上
- ▶ 小学生を対象とした「バスの乗り方教室」など、モビリティ・マネジメント<sup>※27</sup>の取り組みの充実
- ▶ 住宅地等において、いつまでも住み続けられるまちづくりの実現に向け、グリーンスローモビリティ<sup>※28</sup>の導入に向けた実証実験



かぎろひをデザインした大宇陀南部地域ボランティア有償バス

③ 効率的で安心・安全な上下水道の運営を推進します

- ▶ 安全な水を安定して供給するため、給配水管の布設替えや配水池等の水情報を一元管理する遠隔監視装置の更新など、老朽化・耐震化対策
- ▶ 大宇陀本郷地区、菟田野大神・入谷地区において水道未普及地域の解消
- ▶ 安定した経営基盤のもとで持続的に水を供給するため、(仮称) 奈良県広域水道企業団の設立促進
- ▶ 下水道施設のストックマネジメント計画に基づき、管路更生工事等を施工し、施設の長寿命化の推進



こんな事業をしています (事業は2021年度)

- 市道舗装等維持補修
- 道路メンテナンス (橋梁点検、橋梁等長寿命化)
- 交通安全施設整備
- 奈良交通路線バス運行対策費負担金
- 榛原大野線運行
- 大宇陀南部線 (かぎろひバス) 運行
- デマンド型乗合タクシー運行
- 水道未普及地域解消
- 水道施設遠隔監視装置整備
- 下水道管路更生

こんな計画が関連しています

- 宇陀市都市計画マスタープラン
- 奈良県と宇陀市とのまちづくりに関する基本計画
- 宇陀市橋梁長寿命化修繕計画
- 宇陀市トンネル長寿命化修繕計画
- 宇陀市地域公共交通計画
- 宇陀市水道ビジョン
- 宇陀市水道事業経営戦略
- 宇陀市水道施設アセットマネジメント計画
- 水道事業等の統合に関する覚書
- 宇陀市流域関連公共下水道事業計画
- 宇陀市下水道ストックマネジメント計画
- 宇陀市下水道事業経営戦略
- 宇陀市過疎地域持続的発展計画
- 宇陀市地域防災計画
- 宇陀市国土強靱化地域計画

※27. モビリティ・マネジメント：過度に自動車に頼る生活から公共交通や自転車など様々な交通手段を「かしこく」使う生活へと自発的に転換することを促す、コミュニケーションを中心とした交通政策のことです。  
 ※28. グリーンスローモビリティ：時速20km未満で公道を走ることができる電動車を活用した小さな移動サービスで、その車両も含めた総称のことです。

はじめに  
宇陀市の紹介

中期基本計画  
策定にあたって

基本構想

基本計画

健康なまち

暮らしやすいまち

活力あるまち

生涯輝くまち

自然豊かなまち

地域力を発揮するまち

資料編

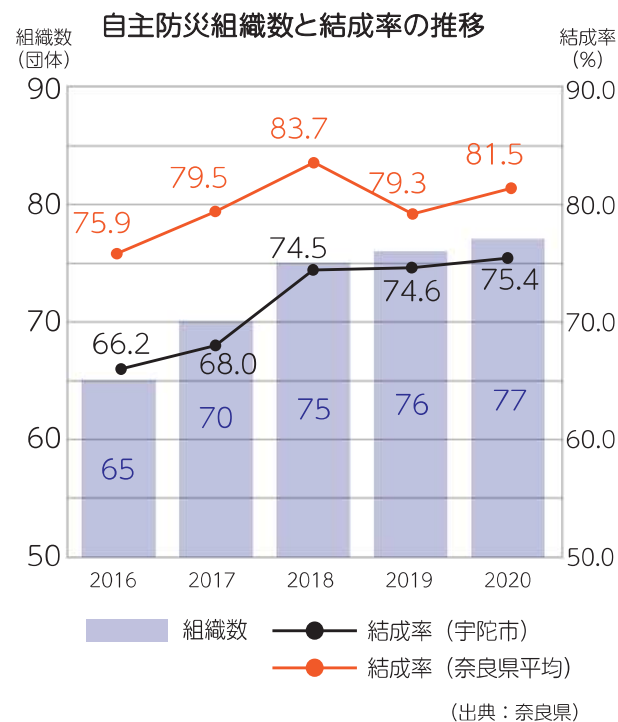


基本構想  
 施策の方向性

2-4 災害に備えた安全・安心な暮らしの実現

現状

- ▶ 宇陀市は、南海トラフ地震防災対策推進地域に指定
- ▶ 宇陀市内には、土砂災害のおそれのある土砂災害警戒区域（イエローゾーン）に 1,794 箇所、また土砂災害が発生した場合、建築物を損壊し、著しい危害が生じるおそれのある土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）に 1,666 箇所が指定
- ▶ 地球温暖化が原因とされる気象の急変や台風・集中豪雨等の自然災害の頻発化・激甚化に伴う被害リスクが増加
- ▶ 自主防災組織の結成や資機材の整備を実施
- ▶ 新型コロナウイルスの感染拡大が避難所の運営体制に影響
- ▶ 高齢者の増加に伴い災害時に支援を必要とする要配慮者<sup>※29</sup>は増加傾向
- ▶ 消防団体制の強化を図るため、消防車両を計画的に更新



課題

- ▶ 災害時における情報伝達の強化
- ▶ 住宅の耐震化の必要性について市民の意識の高揚、耐震化の促進
- ▶ 自治会や自主防災組織等の地域主体の防災訓練等を充実させ、自助・共助の意識の向上を図るとともに、公助を合わせた防災・減災体制の構築
- ▶ 感染症対策を講じた避難所の整備や資機材の拡充、備蓄品の更新
- ▶ 国や県と連携した土砂災害対策事業の推進
- ▶ 避難行動要支援者<sup>※30</sup>の早期避難や安否確認等の充実
- ▶ 災害時における関係機関との連携体制の強化

施策

① 自然災害や感染症に強い安心して住み続けられるまちづくりを推進します

- ▶ 風水害や地震・新型コロナウイルス感染症等の情報を発信するため、自主放送「うだチャン 11」や安全・安心メール、ホームページ等の迅速な伝達手段の充実
- ▶ 今後、発生が予想される南海トラフ地震に備え、避難所となる公共施設やインフラ施設<sup>※31</sup>の耐震化
- ▶ 土砂災害特別警戒区域での土砂災害や大規模地震の発生時においても安全な暮らしを確保するため、既存の住宅の改修等に対する支援の充実
- ▶ 国や県と協働し、急傾斜地への崩壊防止施設の設置や地すべり対策工事、土石流等の防止のための砂防堰堤の設置等の防災措置の推進

② 防災意識の向上と防災・消防体制の強化を図ります

- ▶ 地域の防災力向上のため、自主防災組織の結成や自主防災組織等の取り組みへの支援
- ▶ 地域内の連携強化と防災意識の向上を図るため、防災サポーター養成講座や官民共同による防災訓練等の充実
- ▶ 避難所の感染症対策を講じ、安全で誰もが健康を維持できるよう整備を進めるとともに、防災資機材の拡充とローリングストック法に基づいた備蓄品の更新
- ▶ ハザードマップ<sup>※32</sup>の周知を図るとともに、避難行動要支援者など支援を必要とする人を安全に避難誘導できるよう、福祉専門職等と連携を図り、個別避難計画の作成
- ▶ 南海トラフ地震など大規模災害に対応するため、関係機関等と連携した支援体制の構築
- ▶ 消防団員の確保に向けた啓発活動を行うとともに、火災や災害時の安全を確保するため、安全装備品の充実や消防車両の計画的な更新を行い、防災力の強化



避難所開設に備えた訓練



こんな事業をしています

(事業は 2021 年度)

- 既存木造住宅耐震診断・改修支援
- 急傾斜地崩壊対策
- 地すべり対策
- 自主防災組織支援
- 消防機庫整備
- 避難所設備強化

こんな計画が関連しています

- 宇陀市地域防災計画
- 宇陀市消防団組織再編計画
- 宇陀市都市計画マスタープラン
- 宇陀市耐震改修促進計画
- 宇陀市国民保護計画
- 宇陀市国土強靱化地域計画
- 宇陀市過疎地域持続的発展計画

※29. 要配慮者：高齢者や障がいのある人、乳幼児など災害時に特別な配慮が必要となる人のことです。  
 ※30. 避難行動要支援者：要配慮者のうち、災害時の避難行動や避難所等での生活が困難な人のことです。

※31. インフラ施設：道路や橋梁、上下水道等の公共的な機能を担う施設のことです。  
 ※32. ハザードマップ：発生の予測される自然災害について、その被害が及ぶ範囲、被害の程度、避難経路、避難場所等を表した地図のことです。

# 活力あるまち

基本構想  
施策の  
方向性

- 3-1 地域資源の保全及び産業と連携した活用
- 3-2 地域の産業の発展を担う次世代の人材の確保や育成
- 3-3 基幹産業である農林業の再生・活性化
- 3-4 商工業の再生・活性化
- 3-5 観光戦略の推進

評価指標	現状値		目標値 (2029年)	指標の考え方
	前期基本計画 策定時	中期基本計画 策定時		
地域資源を 活かした 商品開発数	37件 (2017年度)	40件 (2020年度)	60件	地域の特性を活かした産業振興等により、地域資源を活かした商品（食品、農林産物、観光商品等）の開発が進展する と考えます。
観光入込客数	1,401千人 (2017年度)	976千人 (2020年度)	2,000千人	市内における経済活動の活発化を目指して、地域資源を活用した観光戦略を推進 することで、観光入込客数が増加する と考えます。

SDGs

8 経済成長 と雇用 働きがいも 経済成長も	11 持続可能 な都市 住み続けられる まちづくりを	15 陸上資源 陸の豊かさも 守ろう	17 実施手段 パートナーシップで 目標を達成しよう
------------------------------------	--	-----------------------------	-------------------------------------

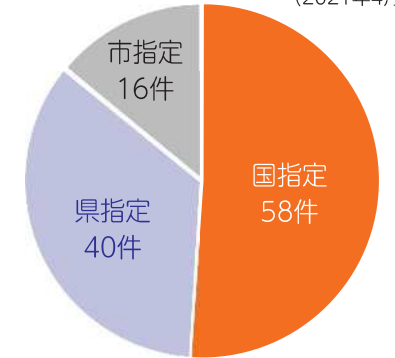
基本構想  
施策の  
方向性

## 3-1 地域資源<sup>※33</sup>の保全及び産業と連携した活用

### 現状

- ▶ 宇陀市には日本遺産<sup>※34</sup>に認定された室生寺をはじめ、国・県・市指定の文化財や歴史的なまちなみ、歴史と文化の中で継承されてきた魅力的な行事等が存在
- ▶ 松山地区伝統的建造物群保存地区の保存・活用、史跡宇陀松山城跡の史跡指定地の拡大及び公有化に向けた取り組みを実施
- ▶ 伝統文化等の担い手が減少しており、保存継承が困難
- ▶ 宇陀市産材の利用促進に向けた支援
- ▶ 宇陀市の魅力をブランドとして確立していくための情報を発信

国・県・市指定文化財登録数  
(2021年4月1日現在)



### 課題

- ▶ 2017年の台風による被害を受けた史跡宇陀松山城跡の復旧工事の実施
- ▶ 伝統文化等の継承に向けた担い手の育成
- ▶ 豊かな自然・歴史・文化といった、宇陀市の魅力の発信及び有効活用
- ▶ 宇陀の木など農林水産物をはじめとした地域資源のブランド化による付加価値の創出や情報発信



復元した宇陀松山城の3DCG

※33. 地域資源：国の施策では農林水産物や鉱工業品、産地の技術、観光資源といった地域の特徴ある産業資源のことです。総合計画においては宇陀市における特徴的な自然、歴史、文化、伝統、農林畜産物、観光地など有形、無形のもの。

※34. 日本遺産：文化庁により認定された、地域の歴史的な魅力や特色を通じて日本の文化・伝統を語るストーリーのことです。

施策

① 歴史・文化資源の整備や保護・活用を推進します

- ▶伊勢街道、街道沿いの旧旅籠「あぶらや」、室生寺門前等のまちなみを保存継承するとともに、近隣市村と連携した活用の推進
- ▶歴史・文化資源の活用に取り組むとともに、歴史的まちなみや史跡の保護、整備の推進
- ▶郷土の歴史や文化財、伝統文化に対する理解を深めるために埋蔵文化財や郷土資料等の展示、講演会・講座等の実施
- ▶伝統文化や祭り、民俗行事、郷土芸能等の保存や後継者育成を担っている団体の支援
- ▶遺跡の発掘調査を行うとともに、保護対策を講じ、後世に郷土の歴史の継承
- ▶国・県・市指定文化財の所有者が行う建造物等の保存修理や防災設備の設置・点検等への支援



伊勢本街道(旧旅籠「あぶらや」前)

② 宇陀産の誇れるものを「大和高原宇陀ブランド」として推進します

- ▶農林産物や特産品のほか自然環境・歴史文化資源等の地域資源を「大和高原宇陀ブランド」として、YouTube等により広く発信するとともに、YouTuberの育成
- ▶商工会や観光協会、金融機関等と連携し、地域商社<sup>※35</sup>を構築し、農林産物に付加価値のついたブランド品の育成
- ▶都市部での販売を促進するため、販路の拡大



こんな事業をしています

(事業は2021年度)

- 文化財保存修理等助成
- 史跡宇陀松山城跡保存整備
- 民俗文化財伝承補助
- 大和高原宇陀ブランドプロモーション

こんな計画が関連しています

- 史跡宇陀松山城跡保存整備基本計画
- 宇陀市歴史的風致維持向上計画(策定中)
- 史跡森野旧薬園保存活用計画
- 奈良県と宇陀市とのまちづくりに関する基本計画
- 宇陀市過疎地域持続的発展計画
- 宇陀市松山伝統的建造物群保存地区保存計画

※35. 地域商社：地域の多くの関係者を巻き込み、農産物等の地域の資源をブランド化し、生産、加工から販売まで一貫してプロデュースし、地域内外に販売する組織のことで。

SDGs



基本構想

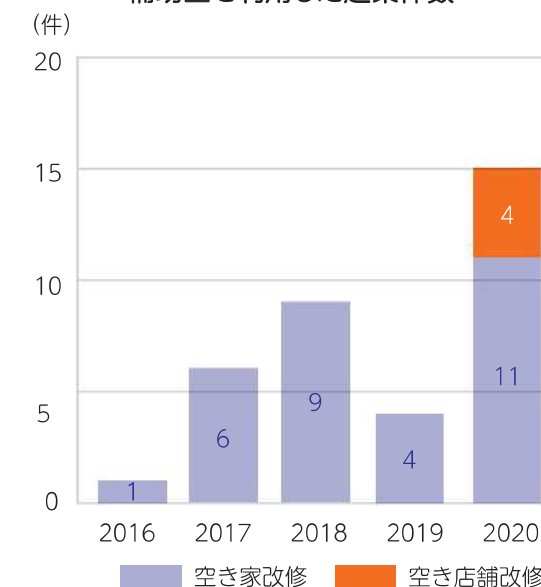
施策の方向性

3-2 地域の産業の発展を担う次世代の人材の確保や育成

現状

- ▶奈良県・宇陀市・ロート製薬株式会社で「大和高原の魅力ある仕事づくりに関する連携協定」を2016年に締結し、「食と農」をテーマに、地域おこし協力隊<sup>※36</sup>制度を活用し、官民連携による起業家を育成
- ▶高齢化が進む農林業の担い手が不足
- ▶地域おこし協力隊制度等を活用し、有害鳥獣対策や薬草など地域の資源を活かした起業に向けた活動を支援
- ▶新型コロナウイルス感染症の影響により、テレワーク<sup>※37</sup>など、働き方が変化
- ▶中期基本計画策定に向けた市民アンケートで、これからの宇陀市にとって必要な取り組みについて、「雇用の場の確保」を挙げる人が最も多かった
- ▶空き家や空き店舗を活用した起業・創業について、その改修等の費用を助成

空き家・空き店舗の改修に対する補助金を利用した起業件数



※空き店舗改修に対する補助金は2020年度から開始

課題

- ▶空き家・空き店舗の利活用の促進
- ▶離農により発生している遊休農地の有効活用の促進
- ▶働き方の変化や地方回帰への関心の高まりに応じた働く環境づくりの確保
- ▶市内での就職を促進するために、雇用の拡大
- ▶経営が不安定な就農直後の担い手に対する支援

※36. 地域おこし協力隊：都市地域から過疎地域等の条件不利地域に移住して、地域ブランドや地場産品の開発・販売・PR等の地域おこし支援や農林水産業への従事、住民支援等を行いながら、その地域への定住・定着を図る取り組みのことで。

※37. テレワーク：情報通信技術を活用した、場所や時間にとらわれない柔軟な働き方のことで。

施策

① 起業家など多様な人材を育成します

- ▶ 空き家・空き店舗の活用など起業に向けた支援の充実
- ▶ 地域おこし協力隊等を活用し、農林業の担い手の確保
- ▶ 地域おこし協力隊・仕事づくり推進隊として活動してきた隊員が定着し、起業できるよう支援
- ▶ 多様な働き方に対応したサテライトオフィスの整備・活用
- ▶ 土地を有効活用し、既存事業所の規模拡大につなげ、雇用を確保できる環境づくりの推進
- ▶ 新規就農者が安定して農業経営ができるよう支援
- ▶ 企業等と連携して、地域資源を活かした雇用の場の創出



空き家を改修し起業



サテライトオフィス内のオープンスペース(イメージ)



こんな事業をしています

(事業は 2021 年度)

- 仕事づくり推進隊設置
- 農業サポート人材育成
- 林業従事者人材育成

こんな計画が関連しています

- 大和高原の魅力ある仕事づくりに関する連携協定
- 宇陀市過疎地域持続的発展計画

SDGs



基本構想

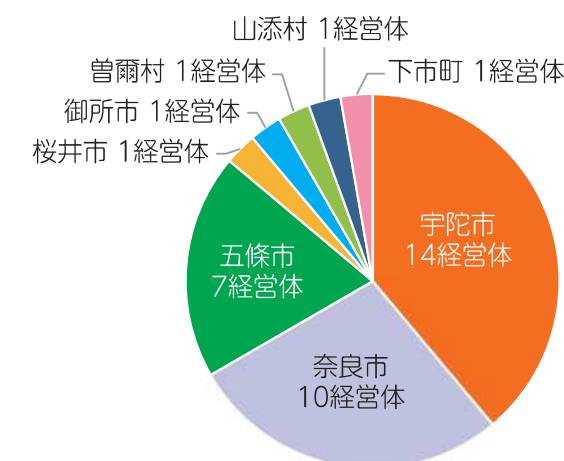
施策の方向性

3-3 基幹産業である農林業の再生・活性化

現状

- ▶ 伊那佐東部地区に県東部で初の「特区」となる特定農業振興ゾーン<sup>※38</sup>が奈良県により設定
- ▶ 中山間地域等直接支払事業<sup>※39</sup>や多面的機能支払交付金事業<sup>※40</sup>等の活動を継続して行っている組織(集落)に対して支援を行っており、高齢化が進行
- ▶ 若年層の農林業や農山村への意識の低下や後継者不足により、農林業経営が難航
- ▶ 大和高原地域の恵まれた気候等により、宇陀市では有機農業<sup>※41</sup>が盛ん
- ▶ 農業経営における農業用機械の更新費が負担
- ▶ 電気柵等の設置により、イノシシの被害は一定の効果が出ているが、シカ等の被害が増加
- ▶ 害獣駆除と企業活動を併せ持つジビエ<sup>※42</sup>利活用施設を建設
- ▶ 薬とゆかりのある宇陀市を薬草のまちとして推進するため、宇陀市薬草協議会を設立し、大和当帰等の栽培や薬草メニューの開発など薬草を活用したまちづくりを展開

県内の有機農業経営体数



(出典：国内事業者一覧(農林水産省HP 2022年2月))

課題

- ▶ 大宇陀南部地域の農業用水である宮奥ダムの老朽化対策
- ▶ 農林畜産業の効率的で安定した経営の促進
- ▶ 農林畜産物の安定した販売に向け、生産・流通体制の強化
- ▶ 付加価値の高い農作物づくりの推進
- ▶ 森林の保全を図り、林業施策の基盤の強化

※38. 特定農業振興ゾーン：農地を有効に活用し、農業の生産性の向上を図るために奈良県がエリアを設定するものです。

※39. 中山間地域等直接支払事業：平地から山間地にかけて、傾斜地が多く農業が不利な地域において、継続的な農業生産活動を行う農業者を支援する事業です。

※40. 多面的機能支払交付金事業：農地や水路等の基礎的な保全活動や質的向上を図る共同活動、水路や農道等の施設の長寿命化に対して支援する事業です。

※41. 有機農業：化学的に合成された肥料及び農薬を使用しないこと、並びに遺伝子組み換え技術を利用しないことを基本として、農業生産に由来する環境への負荷をできる限り低減した農業生産の方法を用いて行われる農業のことです。

※42. ジビエ：狩猟で捕獲した野生鳥獣の肉や料理のことです。



施策

① 地域の特性を活かした農業生産基盤の整備と農地の有効活用を推進します

- ▶ 農業の担い手への農地の集約と集積を進め、スマート農業<sup>※43</sup> やデジタル技術の活用による次世代農業を推進することで、高収益作物への転換の促進
- ▶ 伊那佐東部地区に設定されている特定農業振興ゾーンがモデル地区となる取り組みを行い、県や大和高原南部土地改良区等との連携を図り、他地域にも設定されるよう生産性の向上
- ▶ 農道の整備・維持を進めるとともに、農業用水路等の長寿命化や農地の保全等の活動に取り組む組織（集落）の支援
- ▶ 安定した農業用水を確保するため、宮奥ダムの管理運営を行うとともに老朽化対策の実施

② 人材の確保と育成など魅力ある農林畜産業経営の強化を図ります

- ▶ 東部農林振興事務所や大和野菜研究センターなど県との連携を図り、有機農業を推進するとともに、拠点の創出
- ▶ 地域農業を支える担い手が安定した農業経営を行えるよう支援
- ▶ 化学肥料・化学合成農薬の低減する取り組みと合わせて行う地球温暖化防止や生物多様性保全等に効果の高い営農活動（環境保全型農業直接支払交付金事業）の推進
- ▶ 防除技術を持つ人材を育成し、地域ぐるみでの効率的な鳥獣害対策の支援
- ▶ シカ・イノシシを地域の資源と位置付け、良質な食肉として生産するためにジビエ利活用施設の整備
- ▶ 奈良県フォレストアカデミー<sup>※44</sup> と連携し、林業の担い手確保や活性化の支援
- ▶ 畜産業では、奈良県と連携しながら、鳥インフルエンザ<sup>※45</sup> や豚熱<sup>※46</sup> 等の感染症対策の促進



処理したジビエを調理

③ 農林畜産物の生産・流通を推進します

- ▶ 農林産物品評会やうだ産フェスタを開催し、農林産物生産者等の営農意欲や生産品の品質の向上
- ▶ 宇陀市薬草協議会との連携強化や地域おこし協力隊制度の活用により、大和当帰やセネガ等の薬草栽培を推進するとともに、薬草のまちとして薬草の魅力の発信
- ▶ 米の生産調整のため、耕作しない水田で生産する黒大豆・小豆の産地化・ブランド化を図るとともに生産者の支援
- ▶ 宇陀市産木材を利用した新築や増改築に対して支援を行うとともに、宇陀の木のブランド化や間伐材の利用の推進
- ▶ 農産物直売所等において、農林畜産物や特産品等を販売するなど流通体制の強化



間伐材を利用して加工

④ 山林を適切に管理します

- ▶ 林業の中核的な存在である森林組合と連携した森林整備の推進
- ▶ 作業路の開設など森林施設の効率化や間伐を推進し、森林の多面的機能の維持
- ▶ 森林施設の集約化に必要な山林境界の明確化の推進
- ▶ 里山の針葉樹林を広葉樹に転換するなど、水源涵養機能<sup>※47</sup> 等の維持



こんな事業をしています (事業は 2021 年度)

- |                |               |
|----------------|---------------|
| ○特定農業振興ゾーン推進   | ○薬草を活用したまちづくり |
| ○多面的機能支払交付金    | ○うだ産フェスタ      |
| ○中山間地域等直接支払交付金 | ○美しい森林づくり基盤整備 |
| ○ジビエ利活用プロジェクト  | ○里山の広葉樹林再生    |
| ○有害鳥獣対策        | ○森林環境譲与税の活用   |

こんな計画が関連しています

- |                 |                        |
|-----------------|------------------------|
| ○宇陀市過疎地域持続的発展計画 | ○農業経営基盤の強化に関する基本的な構想   |
| ○宇陀市森林整備計画      | ○公共建築物における宇陀市産木材利用促進方針 |
| ○宇陀市特定間伐等促進計画   |                        |

※43. スマート農業：情報通信技術（ICT）やロボット、ドローン、自動運転技術等を活用して農作業を省力化、精密化し、生産性を向上させる農業のことです。

※44. 奈良県フォレストアカデミー：経済性と環境保全を両立する「恒続林」をはじめとした森林管理手法により持続可能な林業の担い手となる人材を養成する機関のことです。

※45. 鳥インフルエンザ：高病原性インフルエンザの略で、鳥に感染するインフルエンザのうち重篤な症状を起こすものです。

※46. 豚熱：CSF ウイルスにより起こる豚、イノシシの熱性伝染病で強い伝染力と高い致死率が特徴です。人に感染することはありません。

※47. 水源涵養機能：森林の土壌が降水を貯留し、河川へ流れ込む水の量を平準化して洪水を緩和するとともに、川の流量を安定させたり、雨水が森林土壌を通過することにより、水質が浄化される機能のことです。



基本構想

施策の方向性

### 3-4 商工業の再生・活性化

#### 現状

- ▶ 大和高原の玄関口である榛原駅周辺では、県施設跡地等の未利用地やビルの空き室が目立つ
- ▶ ウッピー商品券やプレミアムハッピー商品券を発行し、個人の消費喚起を促し、地域経済を活性化
- ▶ 経営者の高齢化が進み、後継者不足による廃業が発生
- ▶ 宇陀市菟田野毛皮革産業振興協議会を中心とした商品開発や販路拡大に取り組む地場産業である毛皮革産業の育成・振興を支援
- ▶ 市内には、都市部など市外を中心に取引を行ったり、知る人ぞ知るといったその分野では有名な企業が存在
- ▶ 中期基本計画策定に向けた市民アンケートで、これからの宇陀市にとって必要な取り組みについて、「雇用の場の確保」を挙げる人が最も多かったほか、事業者との座談会で土地の活用による働く場の確保を望む声があった

#### 課題

- ▶ 榛原駅周辺の未利用地やビルの空き室等の有効利用
- ▶ 働く場の確保のため、産業ゾーンとして位置付けられている市街化調整区域の土地の活用
- ▶ 既存事業所が有する技術を生かし、時代に即した新たな分野への進出の促進
- ▶ 既存事業所の事業承継や事業活動に対する支援
- ▶ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大など予測不能な事態に備え、事前対策を促進し、事業継続力の強化の支援
- ▶ 今後の宇陀市の地域経済を支えていくために、農林畜産業や地場産業の振興とともに、既存事業者への支援や新たな企業の誘致
- ▶ 創業や企業誘致による事業所の増加の推進

#### 施策

##### ① 駅前の活性化を推進します

- ▶ 大和高原の玄関口となる榛原駅前の空き地を活用して交流施設を整備するとともにマルシェ等を開催し、にぎわいと交流の拠点づくり
- ▶ 奈良県東部農林振興事務所や市有地等の有効利用
- ▶ 大都市に近い立地や豊かな自然を活かして、駅前や駅前商店街のにぎわいづくり



榛原駅前に整備の交流施設（イメージ）

##### ② 地元で活動する事業者を支援します

- ▶ 市街化調整区域に地区計画を定め、環境と調和した企業の事業拡大、活性化
- ▶ 地場産業である毛皮革産業の振興を図るため、奈良県等と協力し、商品開発や販路拡大、及び工場団地機能の充実
- ▶ 宇陀商工会と連携して、ウッピー商品券やプレミアム商品券を発行することで地域経済の活性化
- ▶ 経営相談や事業継承等の商工会の活動の支援
- ▶ 奈良県信用保証協会や金融機関と連携した事業経営に対する支援
- ▶ 新型コロナウイルス等の感染症が発生した場合でも事業を継続できるよう、事業継続に向けた取り組み

##### ③ 企業誘致を進めるとともに新たな産業の展開を支援します

- ▶ 企業を誘致しやすい基盤整備を図るとともに、自然が豊かで大都市に近い便利な田舎を活かした企業誘致
- ▶ 榛原駅周辺ビルの空き室を活用したサテライトオフィスの整備・活用や空き店舗等での起業に対する支援
- ▶ 自然環境や歴史文化資源に恵まれた宇陀市でのワーケーション<sup>※48</sup>の推進
- ▶ 奈良県や宇陀商工会と連携して、市内で創業する事業者の支援



##### こんな事業をしています （事業は2021年度）

- 榛原駅前交流施設整備
- ウッピー商品券発行
- 宇陀商工会支援
- 中小企業資金融資
- 企業立地推進
- 創業支援助成

##### こんな計画が関連しています

- 宇陀市都市計画マスタープラン
- 奈良県と宇陀市とのまちづくりに関する基本計画
- 宇陀市過疎地域持続的発展計画
- 宇陀市空家等対策計画

※48. ワーケーション：仕事（ワーク）と休暇（バケーション）を組み合わせた造語で、観光地等で休暇を取りながら、一部の時間を仕事に充てるワークスタイルのことです。

はじめに  
宇陀市の紹介

中期基本計画の策定にあたって

基本構想

基本計画

健康なまち

暮らしやすいまち

活力あるまち

生涯輝くまち

自然豊かなまち

地域力を発揮するまち

資料編



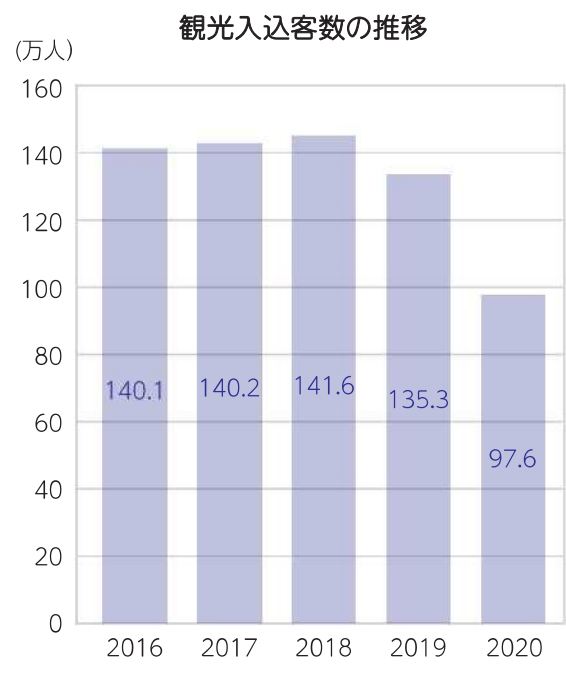
基本構想  
**施策の方向性**  
 3-5 観光戦略の推進

**現状**

- ▶ 宇陀市は伊勢街道や日本遺産に認定された女人高野室生寺、松山地区伝統的建造物群保存地区・史跡宇陀松山城跡等の歴史・文化資源や豊かな自然、温泉といった様々な観光資源を保有
- ▶ 外国人観光客の受け入れ環境を整えるため、パンフレットの多言語化やフリーWi-Fiスポット<sup>\*49</sup>の設置等を整備
- ▶ 「死ぬまでに行きたい!世界の絶景」新日本編に掲載された龍王ヶ淵は「池の水面が鏡張りのように木々を映し出す」として人気拡大
- ▶ 新型コロナウイルス感染症の影響により、外出の自粛やイベントの開催が困難になるなどの影響により、観光客が減少
- ▶ 市内宿泊者の約 8 割を受け入れている保養センター美榛苑は、供用から 40 年以上が経過し、老朽化が進行
- ▶ 奈良県では、2021 年に南部・東部振興基本計画を策定し、訪れたい地域づくりを柱の一つに位置付け、取り組む

**課題**

- ▶ 道の駅など老朽化している観光施設について、施設の魅力の向上
- ▶ 外国人観光客の受け入れ環境を整え、誘客に向けた情報の発信
- ▶ 地域活性化や賑わいを創出するために地域資源との連動
- ▶ 「関係人口」を増やすため、新たなファンの獲得
- ▶ ターゲットに合わせた観光資源のPR
- ▶ 広域での周遊・滞在型観光に向けた、周辺自治体との連携強化
- ▶ 今後の宿泊施設のあり方の検討



**施策**

① 魅力ある地域資源を維持し、観光地として整備します

- ▶ 伊勢街道や東海自然歩道等のハイキング道、登山道、レンタサイクル道だけでなく、案内情報が不足している誘導看板を整備し、周遊環境の充実
- ▶ 新たな宿泊施設の誘致や保養センター美榛苑の利活用を検討しながら、宿泊環境の充実に取り組むなど、滞在型観光の推進
- ▶ 観光需要に対応した駐車場やフリー Wi-Fi スポット等の整備を進めるとともに、老朽化している観光施設の魅力向上
- ▶ 近年注目が集まっている「龍王ヶ淵」など新たな観光資源を掘り起こして、地域資源を活かした観光の推進
- ▶ 観光施設の多言語表記や観光看板の多言語化、観光トイレの洋式化など、外国人観光客の受け入れ環境の充実



鏡張りのような水面の龍王ヶ淵

② 満足度を高める取り組みを推進し、観光客や関係人口を増やします

- ▶ 古事記・日本書紀・万葉集や伊勢街道等の歴史・文化資源を活用した事業の展開
- ▶ 日本遺産である女人高野室生寺でのイベントを関係市町と連携し、室生寺への誘客や門前の商店を含めた地域活性化
- ▶ うだ・アニマルパークや松山地区伝統的建造物群保存地区等への誘客について奈良県と一体となった推進
- ▶ 観光協会等との連携の強化を図りながら、地域に根付いた観光イベントの支援や観光施設等での「おもてなし」の向上
- ▶ 民泊による滞在型観光の支援
- ▶ 還暦野球等のスポーツ大会や合宿等の誘致・開催を行うことで、関係人口を増加させるとともに、市内に滞在することで、地域経済の活性化

③ 観光PRや情報発信の強化を図ります

- ▶ ホームページやSNS等を活用したターゲットに合った戦略的な情報発信を行うとともに、旅行会社への営業や宣伝活動の実施
- ▶ 他市町村と連携して、大和高原地域の魅力を都市部を中心にPRするとともに、イベントを開催するなど広域での周遊・滞在型観光の推進



こんな事業をしています (事業は 2021 年度)

- 龍王ヶ淵環境整備
- 菟田野駐車場整備
- 記紀万葉推進
- 宇陀四季彩推進
- 室生口大野駅「おもてなしステーション」設置
- 大和高原(東吉野)観光振興協議会負担金
- 団体旅行誘致推進
- 東奈良・名張圏域における広域連携

こんな計画が関連しています

- 宇陀市観光基本計画
- 奈良県と宇陀市とのまちづくりに関する基本計画
- 宇陀市過疎地域持続的発展計画

\*49. フリー Wi-Fi スポット：パソコンやスマートフォン等を無線でインターネットに接続できる環境を開放しているエリアサービスのことで、誰でも無料で利用できます。

はじめに  
 宇陀市の紹介  
 中期基本計画の策定にあたって  
 基本構想  
 基本計画  
 健康なまち 暮らしやすいまち 活力あるまち 生涯輝くまち 自然豊かなまち 地域力を発揮するまち  
 資料編

# 生涯輝くまち

基本構想  
施策の  
方向性

- 4-1 人権を大切に作る共生のまちづくりの実現
- 4-2 子どもたちの教育環境の充実
- 4-3 多様な学びの場の整備・充実
- 4-4 スポーツ・芸術・文化の振興

評価指標	現状値		目標値 (2029年)	指標の考え方	
	前期基本計画 策定時	中期基本計画 策定時			
自分には、 よいところがある と思う児童 生徒の割合	小学校	71.4% (2017年度)	72.0% 注2 (2020年度)	85.0%	教育の質がさらに向上することにより、 自尊感情の高い子どもが増加すると考えます。
	中学校	69.7% (2017年度)	67.0% 注2 (2020年度)		
今住んでいる地 域の行事に参 加している児童 生徒の割合	小学校	63.9% (2017年度)	注3	75.0%	子どもたちの教育環境の整備や地域 における教育力を向上させることで、 郷土に愛情を持った子どもが育ち、地 域の行事に参加する児童生徒が増加す ると考えます。
	中学校	35.7% (2017年度)	注3	55.0%	
市内主要施設の注1 年間利用者数		187,927人 (2017年度)	102,356人 (2020年度)	188,000人	スポーツ活動の充実・支援や芸術文 化環境の充実を推進することで、市 内施設の利用者数の維持・向上につ ながると考えます。

注1 市内主要施設は、文化会館・温水プール・公民館4館・ふれあい交流ドーム・図書館  
 注2 新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった全国学力学習状況調査に替えて実施した市独自アンケートの数値  
 注3 新型コロナウイルス感染症の影響により全国学力学習状況調査は中止

SDGs



基本構想  
施策の  
方向性

## 4-1 人権を大切に作る共生のまちづくりの実現

### 現状

- ▶ 人権のまちづくりを目指して、市内23の地区組織や各種団体等により構成する宇陀市人権教育推進協議会を中心に、人権教育・啓発を行う
- ▶ 人権と福祉のまちづくりの拠点施設として2021年4月に、宇陀市人権交流センターを開所
- ▶ 同和地区に関する問い合わせや、インターネットによる人権侵害が依然として存在し、また、LGBTQ<sup>※50</sup>など性的マイノリティの人に対する偏見といった問題も発生
- ▶ 人権に関する相談に対応するため、人権擁護委員や民生委員・児童委員等との連携により人権相談を実施しているほか、女性専門相談員によるDV<sup>※51</sup>相談を実施
- ▶ 性別に関わりなく誰もが輝くことのできる社会の実現を目指して、地域団体と連携しながら、啓発活動及び学習活動を実施
- ▶ 女性の社会進出が進んでいる一方で、性別による固定的な観念や思い込みなどの人権問題が依然として存在

#### 審議会等における女性の登用比率

2021年度 **25.5%**  
2020年度 **26.1%**

〔2021年度 県内市町村14位、県平均24.5%〕  
〔2020年度 県内市町村10位、県平均24.4%〕

(出典：地方公共団体における男女共同参画社会の形成又は女性に関する施策の推進状況(内閣府))

### 課題

- ▶ 人権問題の解決に向けた人権教育・啓発のさらなる推進のため、関係機関・団体等との連携強化
- ▶ 多様化・複雑化する人権相談に対応するため、関係機関との連携強化、相談員の資質向上
- ▶ DV等の暴力の防止に向けた取り組みの充実
- ▶ 男女が対等に生きる意識と社会環境づくり
- ▶ 多様な働き方ができる職場環境づくり

※50. LGBTQ:女性の同性愛者(Lesbian)、男性の同性愛者(Gay)、両性愛者(Bisexual)、こころの性とからだの性の不一致(Transgender)、性的指向や性自認がはっきりしていない、定まっていない、どちらかに決めたくない等(Questioning)の性的少数者の総称のことです。  
 ※51. DV: ドメスティック・バイオレンス(Domestic Violence)の略で、配偶者や恋人などの関係にある、又はあった者から振るわれる暴力のことです。

施策

① 一人ひとりの人権が尊重されたまちづくりを推進します

- ▶あらゆる分野において多様性を個性として受け入れ、誰もが尊重されるインクルーシブ社会<sup>※52</sup>の実現
- ▶家庭や学校、地域、職場等あらゆる場で、人権意識を高めることができるよう人権教育・啓発を推進し、部落差別をはじめとするあらゆる差別や人権侵害事象の防止
- ▶LGBTQなど性的マイノリティについて、性の多様性に対する正しい知識と理解が広がる意識啓発と意識改革
- ▶人権問題における様々な相談に対して、国や県、民間団体等との連携・協働を図りながら、支援体制の充実
- ▶人権交流センターを人権と福祉の拠点施設として位置付け、講座等による交流や人権・生活・就労等の相談事業の充実



人権と福祉の拠点施設  
「宇陀市人権交流センター」

② あらゆる分野での男女共同参画を推進します

- ▶固定的な性別役割分担意識に捉われることなく、男女がともに尊重し合える意識づくりのため、職場、学校、地域、家庭など幅広い場面における広報・啓発活動
- ▶社会のあらゆる分野に様々な価値観と発想を取り入れるため、施策や方針、意思決定過程への性別にとらわれない人材の参画の促進
- ▶男女間のあらゆる暴力の根絶に向け、被害者が安心して相談でき、かつ必要な支援を適切に受けられるような体制の充実

③ 仕事と生活の調和がとれたワーク・ライフ・バランス<sup>※53</sup>を推進します

- ▶男女がともに責任を持って家事や地域活動を担い、様々な分野に参画できるよう、啓発を行うとともに環境の整備
- ▶労働環境において、仕事と私生活との調和や相互作用が心身の健康や生産性の向上等に有効であることの啓発



こんな事業をしています

(事業は 2021 年度)

- 人権集会・研修会開催
- 人権相談
- DV相談

こんな計画が関連しています

- 宇陀市人権施策基本計画
- 宇陀市地域福祉計画及び地域福祉活動計画
- 宇陀市特定事業主行動計画
- 宇陀市における女性職員の活躍の推進に関する特定事業主行動計画
- 宇陀市教育大綱
- 宇陀市男女共同参画計画
- 宇陀市生涯学習振興指針
- 宇陀市学校教育の指導方針
- 宇陀市いじめ防止基本方針
- 宇陀市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画
- 宇陀市過疎地域持続的発展計画

SDGs



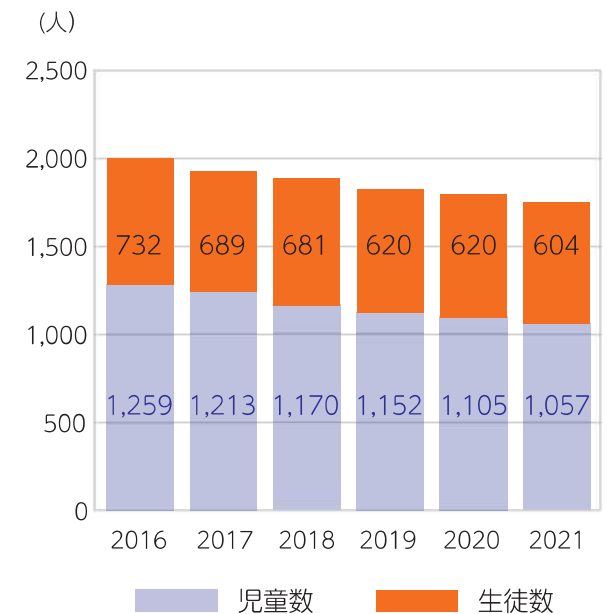
基本構想  
施策の方向性

4-2 子どもたちの教育環境の充実

現状

- ▶「全国体力・運動能力・運動習慣等調査」は、小中学生ともに全国平均をやや上回り、「全国学力・学習状況調査」は、小中学生ともに全国平均をやや下回る傾向
- ▶誰一人取り残さない、持続可能でよりよい地域社会の実現の推進と健やかな心身・安全な生活を保持増進できる子どもの育成を推進
- ▶学校給食で提供されている献立を競う全国学校給食甲子園において、学校給食センターは準優勝を獲得するなど、食育の啓発や地産地消を推進
- ▶外国語指導助手の配置や ICT 環境の整備により、国際化やデジタル化社会に対応できる人づくりを推進
- ▶課題を抱えた子どもを支援する専門職の配置等により、安心して通うことができる教育支援体制を推進
- ▶就労等により保護者が昼間、家庭にいない児童に小学校の空き教室を利用した学童保育を実施
- ▶児童生徒が減少する中、望ましい教育環境をつくるために学校の適正化について検討
- ▶学校施設の効率的な改修等を進めるため、学校施設長寿命化計画を策定
- ▶市内唯一の公立高校として宇陀高校が新設

市内児童・生徒数の推移



課題

- ▶基礎的・基本的な知識・技能のみならず、課題を解決するために必要な情報を精査し、根拠を明確にして説明する等の思考力・判断力・表現力の育成
- ▶外国語教育やデジタル化に対応した教育をはじめ、新しい時代に必要とされる資質・能力の育成
- ▶課題を抱えた子どもたちやその保護者を支援する支援員や相談員、専門職の配置の充実
- ▶学校の学習環境の充実を図るため、保護者や市民の意見を踏まえた小・中学校の適正化
- ▶学校施設に求められる機能・性能を確保しつつ、ライフサイクルコストの縮減など、中長期的な視点から財政負担の軽減・平準化

※52. インクルーシブ社会：障がい、性別、年齢、国籍や宗教、文化等の多様性を認め合い、共に暮らしていく社会のことです。

※53. ワーク・ライフ・バランス：働くすべての人が、「仕事」と育児や介護、趣味や学習、休養、地域活動といった「仕事以外の生活」との調和をとり、その両方を充実させる働き方・生き方のことです。

施策

① 児童生徒の「よりよく生きる力」を育てます

- ▶ 学ぶ意欲を引き出し、家庭学習の定着を図るとともに、「どの子どもにもわかる授業」の実現に向けた教職員の資質・能力の向上
- ▶ 確かな学力を身に付けるため、国や市の学力調査の活用
- ▶ 他者の思いや意見、考え方を尊重することのできる豊かな人権感覚を持った子どもの育成
- ▶ 学校給食における地産地消の促進と、食育の推進
- ▶ 「使える」外国語教育の充実を図り、国際的視野を広めるとともに、プログラミング教育<sup>※54</sup>による情報活用能力や科学的思考力の向上
- ▶ 学校と家庭が連携したいじめや不登校の未然防止、早期発見、早期解決を支援するとともに、スクールカウンセラー等の教育相談等を通じた子どもの発達や不登校児童生徒の自立の支援
- ▶ GIGAスクール構想<sup>※55</sup>により整備した一人一台の学習用PC等のICT機器の効果的な活用と情報モラル教育の充実
- ▶ 利用人数に対応した学童保育を行うとともに、保育を実施する支援員の質の向上
- ▶ 宇陀高校との連携による、小・中学校における情報教育等の教育内容の充実

② 児童生徒の教育環境を整えます

- ▶ 保護者や地域住民、学校、教育委員会の連携・協働による小・中学校の適正化
- ▶ 小・中学校校舎や屋内運動場の大規模改修、LED化、長寿命化、バリアフリー化等の施設整備
- ▶ 安全で安心な学校給食を提供するために老朽化している学校給食センターの新設
- ▶ 安全で安定したスクールバスの運行及び車両の年次的更新



全国学校給食甲子園での献立



こんな事業をしています

(事業は2021年度)

- 教職員の指導力・質の向上
- 外国語指導助手配置
- 学力・学習状況調査
- オンライン英会話
- 教育相談
- 通級指導教室設置
- 適応指導教室設置
- 新宇陀市立学校給食センター建設
- 屋内運動場LED化
- 学校適正化

こんな計画が関連しています

- 宇陀市教育大綱
- 宇陀市学校教育の指導方針
- 宇陀市いじめ防止基本方針
- 宇陀市学校施設長寿命化計画
- 宇陀市過疎地域持続的発展計画

※54. プログラミング教育:物事を順序立てて論理的に考えていく力(プログラミング的思考)や情報を活用する力を身に付けるための教育のことです。  
 ※55. GIGAスクール構想:義務教育を受ける児童生徒のために、一人一台の学習用パソコンと高速ネットワーク環境等を整備する構想で、宇陀市では2020年度に整備を終えています。

SDGs



基本構想

施策の方向性

4-3 多様な学びの場の整備・充実

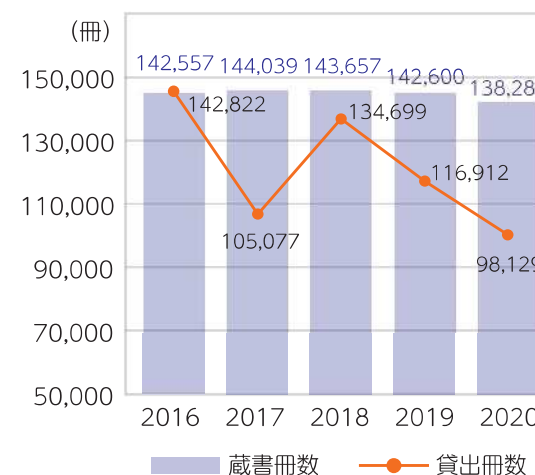
現状

- ▶ 生涯学習の拠点となる中央公民館と地域の分館で、各種講座を開催し、生涯を通じた多様な学びの場を提供
- ▶ 図書館は、蔵書の充実を図るとともに、電子図書館の開設や図書消毒機の導入など、コロナ禍での読書環境を整備
- ▶ 大和富士ホールは、住宅地の中にあるということもあり、市民の教育文化の向上と生涯教育の増進を図る施設として、幅広い年齢層が利用
- ▶ SNSの普及により、人間関係の希薄化やインターネットを悪用した問題行動の発生など、青少年を取り巻く環境が大きく変化
- ▶ 家庭や地域、学校の連携により、地域ぐるみで子どもたちの育ちを支える取り組みを実施

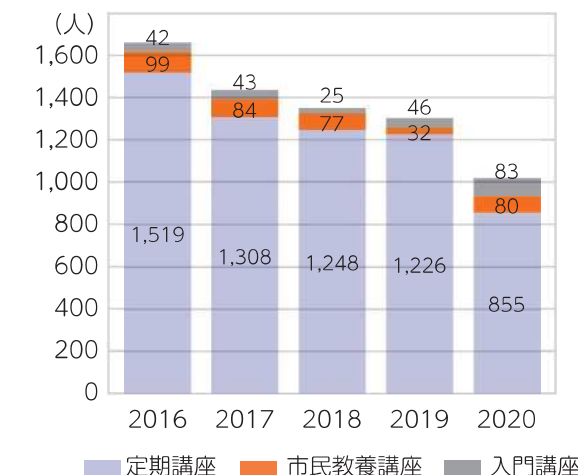
課題

- ▶ 中央公民館等の各社会教育施設の老朽化対策
- ▶ 様々な生涯学習活動や地域ぐるみ・世代間の交流を通じて、人とのつながりや人を思いやる心を育む機会の提供
- ▶ 青少年が SNS を含むインターネットについての正しい知識を身に付けるよう普及啓発など、青少年健全育成環境の充実
- ▶ 地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支える学校と地域の連携強化

図書館蔵書冊数と貸出冊数の推移



中央公民館における講座の受講者数の推移



はじめに  
宇陀市の紹介

中期基本計画  
策定にあたって

基本構想

基本計画

健康なまち

暮らしやすいまち

活力あるまち

生涯輝くまち

自然豊かなまち

地域力を発揮するまち

資料編

施策

① 生涯学習環境の充実を図ります

- ▶ 教養の向上や健康の増進、文化の振興等のため、市民のニーズに合った各種講座や教室の積極的な開催
- ▶ 老朽化が著しい中央公民館及び菟田野、室生の各分館は、生涯学習の拠点機能を維持するため、地域内の他施設への移転の検討
- ▶ 図書館では、利用促進を図るとともに、子ども読書活動推進、電子図書<sup>※56</sup>やデジター図書<sup>※57</sup>の拡大等により、子どもから高齢者まで幅広い世代の学びや交流の場の創出
- ▶ 各社会教育施設について、中長期的な視点に立った維持・保全対策等や効率的な管理運営

② 地域社会全体で子どもの育ちを支えます

- ▶ 地域・家庭・事業所・行政等の連携を強化し、子育ての楽しさや大変さを分かち合えるよう、多様な人の協力と助け合いによる自主的な活動の支援
- ▶ 子どもの自立や協調性を高めるため、関係団体の育成やイベント開催、ボランティア活動等の実施の支援
- ▶ 各健全育成団体の協力を得ながら、未来を担う子どもたちの育成支援
- ▶ 地域社会力を活かし、地域ぐるみで学校をサポートするボランティア活動を支援し、「地域と共にある学校づくり」を進めるため、子どもたちの学習補助や体験学習等の実施



子どもフェスタの様子



こんな事業をしています

(事業は2021年度)

- 公民館講座開設
- 子ども読書活動推進
- 宇陀市子どもフェスタ開催
- 学校・地域パートナーシップ

こんな計画が関連しています

- 宇陀市子ども読書活動推進計画
- 宇陀市教育大綱
- 宇陀市生涯学習振興指針
- 宇陀市過疎地域持続的発展計画
- 宇陀市子ども・子育て支援事業計画
- 宇陀市スポーツ施設等個別施設計画

SDGs



基本構想

施策の方向性

4-4 スポーツ・芸術・文化の振興

現状

- ▶ 宇陀市のスポーツ施設等では、市民団体等が様々な活動を実施
- ▶ 健康づくりへの取り組みが注目され、団体スポーツ・個人スポーツとも気運が高まる
- ▶ 2031年に奈良県で国民スポーツ大会<sup>※58</sup>・全国障害者スポーツ大会<sup>※59</sup>が開催予定
- ▶ 文化会館等で芸術・文化に触れることができる環境が整っている



大宇陀ふれあい交流ドームでの体験教室

課題

- ▶ 健康増進等を目的とした生涯スポーツと記録達成を目的とした競技スポーツのどちらでも活動できる環境づくり
- ▶ 市民のスポーツ振興並びに、スポーツを通じた関係人口の拡大による地域活性化の拠点となる施設の整備
- ▶ 地域等で誰もがスポーツを楽しむことのできる機会の拡大や共生社会の実現、健康寿命の延伸
- ▶ 安全で快適に利用できる施設の長寿命化や適正な維持管理
- ▶ 市民主体の文化活動への支援や芸術・文化に触れることができる情報発信や機会の充実

※58. 国民スポーツ大会：毎年、都道府県持ち回りで開催される国内最大のスポーツの祭典です。国民体育大会（本大会）と国民体育大会冬季大会に分かれており、都道府県対抗で実施されます。また、「国民体育大会」の名称は、2024年の佐賀県での大会から「国民スポーツ大会」に変更されることとなっています。

※59. 全国障害者スポーツ大会：毎年、国民体育大会を開催した都道府県で開催される、全国的な障害者スポーツの祭典です。大会は、3日間の会期で行われ、障がいのある選手が競技等を通じ、スポーツの楽しさを体験するとともに、多くの人々が障がいに対する理解を深め、障がいのある人の社会参加を推進することを目的として開催されています。

※56. 電子図書：紙媒体で出版されていた本を電子データ化し、タブレット端末等の電子機器の画面で読めるようにした図書のことです。  
 ※57. デジター図書：文章を音声で聞きながら、パソコン等の画面に絵や写真等の画像が表示されるデジタル図書です。

施策

① スポーツ活動の充実を図ります

- ▶スポーツ施設の整備に向けた取り組みを進め、スポーツ振興及びスポーツによるまちの活性化
- ▶中長期的な視点に立った体育館や運動場等のスポーツ施設の維持・保全対策等による効率的な管理運営
- ▶スポーツ施設を気軽に利用できる環境づくりに努めるとともに、各地域の施設を活用し、健康寿命の延伸に向けた健康づくり
- ▶障がいのある人等のスポーツ参加を推進し、スポーツを通じた共生社会の実現
- ▶総合型地域スポーツクラブ<sup>※60</sup> 設立支援による生涯スポーツ社会の実現
- ▶2031年に奈良県で開催予定の国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会に向けた会場誘致



宇陀市総合体育館と総合運動場

② 芸術・文化の振興を図ります

- ▶芸術・文化活動の拠点施設である文化会館の環境整備と長寿命化対策
- ▶情報発信や講座等を充実し、芸術・文化に親しみ、感性を育てる市民の芸術・文化活動の支援
- ▶創作活動の成果発表の場や、芸術・文化鑑賞による創造的な「思考力、判断力、表現力等」の育成
- ▶芸術文化活動体験交流施設（ふるさと元気村）や室生高齢者等ふれあい館（音楽の森ふれあい館）等での芸術・文化活動を推進し、地域の活性化を図るとともに、より効果的な運営の実現



美術展覧会



こんな事業をしています

（事業は2021年度）

- スポーツ施設長寿命化
- スポーツイベント開催
- 文化会館自主事業
- 美術展覧会開催
- 文化会館長寿命化

こんな計画が関連しています

- 奈良県と宇陀市とのまちづくりに関する基本計画
- 宇陀市生涯学習振興指針
- 宇陀市障がい者計画
- 宇陀市教育大綱
- 宇陀市スポーツ施設等個別施設計画
- 宇陀市過疎地域持続的発展計画

※60. 総合型地域スポーツクラブ：身近な地域でスポーツに親しむことのできるスポーツクラブで、子どもから高齢者まで様々なスポーツを愛好する人がそれぞれの志向・レベルに合わせて参加できる、地域住民により自主的・主体的に運営されるスポーツクラブです。

5

自然豊かなまち

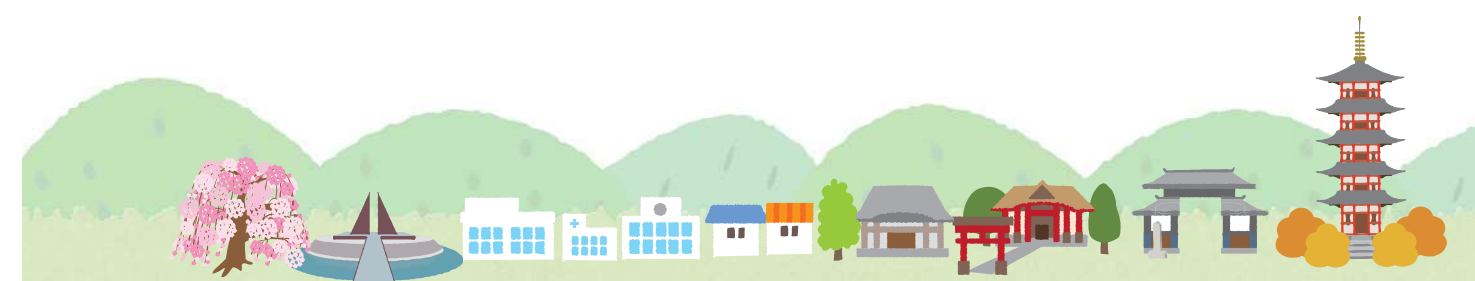
基本構想  
施策の  
方向性

- 5-1 豊かな自然環境の保全・活用
- 5-2 生活環境の整備・充実
- 5-3 公園・緑地の整備・活用



評価指標	現状値		目標値 (2029年)	指標の考え方
	前期基本計画 策定時	中期基本計画 策定時		
宇陀川のBOD <sup>※61</sup> (高倉橋観測所)	0.7 mg / ℓ (2015年)	1.5 mg / ℓ (2020年)	0.6 mg / ℓ	自然環境を保全する取り組みによって、宇陀川の美しい環境の維持及び美化につながると考えます。
市民1人あたりの ごみ排出量	0.27t / 年 (2017年度)	0.27t / 年 (2020年度)	0.25t / 年	循環型社会の実現に向けた取り組みや自然環境を保全・活用する取り組みの推進が、市民の方々が排出するごみの削減につながると考えます。

※61. BOD (Biochemical Oxygen Demand)：生物化学的酸素要求量といって、最も一般的な水質指標の一つです。水中の有機物等の量を、その酸化分解のために微生物が必要とする酸素の量で表したものであり、一般に、BODの値が大きいほど、その水質は悪いと言えます。





SDGs



基本構想

施策の方向性

5-1 豊かな自然環境の保全・活用

現状

- ▶ 国は、2050年にカーボンニュートラル<sup>※62</sup>の実現とともに、2030年度の温室効果ガス排出量を2013年度比で46%削減する目標に向けた取り組みを加速
- ▶ 不法投棄の防止対策を実施
- ▶ 植物では国指定天然物のカザグルマの自生地や向淵スズラン群落があり、保護活動や生育環境を保全
- ▶ 室生ダムより下流の宇陀川や室生川等の河川に棲息している特別天然記念物オオサンショウウオの保護調査
- ▶ 室生赤目青山国定公園の区域に含まれる宇陀市は豊かな自然に囲まれ、美しい山々ときれいな空気、水が生み出す風景が大きな強み



道路沿いの清掃活動

課題

- ▶ 国のカーボンニュートラルの実現に向けた取り組みと合わせ、宇陀市においても脱炭素<sup>※63</sup>社会を視野に入れた取り組みの推進
- ▶ 清掃活動への参加意識を高めるとともに、環境美化運動についての啓発
- ▶ カザグルマやスズランの生育環境の保全
- ▶ オオサンショウウオ棲息や保護活動の啓発
- ▶ 宇陀市の自然環境を守り、引き継いでいくための、森林や里山の保全

施策

① 豊かで美しい自然環境を保全・活用します

- ▶ グリーン社会の実現に向け、自然環境の保全と開発の調和
- ▶ 地域での清掃美化運動の取り組みの強化
- ▶ 環境パトロールの実施による不法投棄の早期発見と早期撤去に努めるとともに、不法投棄防止看板の設置等による防止対策
- ▶ 河川や地下水等の水質検査を実施し、水質の保全
- ▶ 豊かな自然を感じてもらえるよう、スズランやカザグルマの個体群を観察、保護・再生するなど、国指定天然記念物の生育環境の整備
- ▶ 奈良県と三重県教育委員会が共同で策定した特別天然記念物オオサンショウウオ保護管理指針に基づいたオオサンショウウオの保護対策



オオサンショウウオ



スズラン



カザグルマ



こんな事業をしています (事業は2021年度)

- 国指定天然記念物向淵スズラン群落再生
- 国指定天然記念物カザグルマ自生地再生
- 国指定特別天然記念物オオサンショウウオ保護
- 環境美化活動
- 里山の広葉樹林再生

こんな計画が関連しています

- 向淵スズラン群落保存管理計画
- カザグルマ自生地保存管理計画
- 宇陀市森林整備計画
- 公共建築物における宇陀市産木材利用推進方針
- 宇陀市過疎地域持続的発展計画

※62. カーボンニュートラル：二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの排出量から、植林・森林管理等による吸収量を差し引いて、合計を実質的にゼロにすることです。

※63. 脱炭素：地球温暖化の大きな要因となっている二酸化炭素等の温室効果ガスの排出を抑えることです。

SDGs



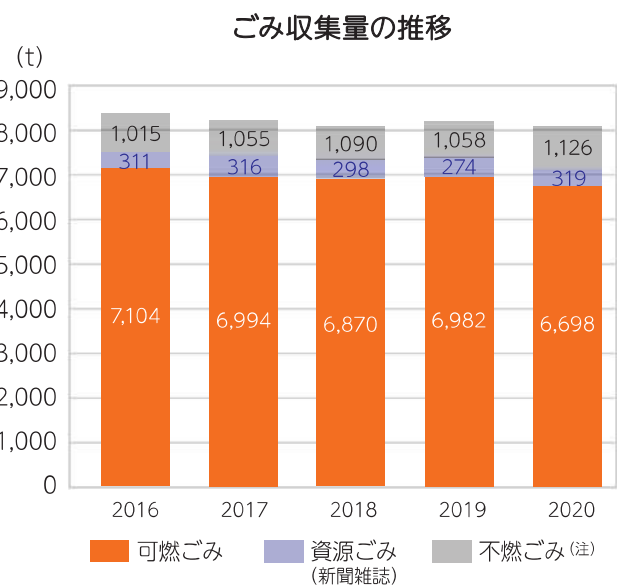
基本構想

施策の方向性

5-2 生活環境の整備・充実

現状

- ▶ 宇陀クリーンセンターの稼働年限に応じた設備の更新・補修
- ▶ プラスチック資源循環戦略<sup>※64</sup>に基づく脱プラスチックの取り組みなどによる、廃棄物排出抑制
- ▶ ごみの減量化や資源化を通じた循環型社会<sup>※65</sup>の構築
- ▶ 市営榛原斎場や不帰堂火葬場の設備を計画的に修繕
- ▶ 水質保全や公衆衛生の向上のため、下水道施設の点検調査による破損等の未然防止や合併処理浄化槽<sup>※66</sup>の設置に対して支援
- ▶ 近隣市村で構成する宇陀衛生一部事務組合により、し尿処理を実施



課題

- ▶ 2027年度までに安定的なごみ処理施設の設置
- ▶ 市民のリサイクル意識の向上を図り、持続可能な社会の実現に向けた取り組みの推進
- ▶ 老朽化している下水道施設やし尿処理施設等の維持管理

施策

① ごみ処理施設の整備と循環型社会を推進します

- ▶ 新たなごみ処理施設の整備と、それまでの期間、既設の施設での安定したごみ処理
- ▶ ごみの減量に対する意識の高揚に向けた啓発活動や資源ごみの回収、集団回収への支援を通じたリサイクルの推進
- ▶ 家庭の生ごみの減量・資源化を促進するため、処理機購入に対する支援



② 生活衛生環境の向上を図ります

- ▶ 水質保全や公衆衛生の向上のため、下水道事業計画区域外での合併処理浄化槽設置に対する支援
- ▶ 生活衛生環境の向上のため、老朽化したし尿処理施設の更新や維持管理の徹底
- ▶ 市営榛原斎場と不帰堂火葬場を計画的に修繕し、機能の維持を図るとともに、適切な運営
- ▶ 市営赤人霊苑の適切な管理運営に努め、墓地使用者が安心して利用できる環境の提供
- ▶ 狂犬病予防注射や登録など、動物の飼育マナーの啓発
- ▶ 下水道施設のストックマネジメント計画に基づき、管路更生工事等を施工し、施設の長寿命化の推進



こんな事業をしています

(事業は2021年度)

- 宇陀クリーンセンター設備更新
- 合併処理浄化槽設置補助
- 集団資源回収助成
- 狂犬病予防注射
- 生ごみ処理機等購入助成

こんな計画が関連しています

- 宇陀市都市計画マスタープラン
- 宇陀市過疎地域持続的発展計画

※64. **プラスチック資源循環戦略**: 資源、廃棄物制約、海洋プラスチックごみ問題、地球温暖化など幅広い課題に対応するため、3R+Renewable (再生可能資源への代替) を基本原則としたプラスチックの資源循環を総合的に推進するため、2018年5月に国が策定した戦略のことです。

※65. **循環型社会**: 製品等が廃棄物等となることを抑制し、次に排出された廃棄物等についてはできるだけ資源として利用し、最後にどうしても利用できないものは適切に処分することで天然資源の消費が抑制され、環境への負荷ができる限り低減された社会のことです。

※66. **合併処理浄化槽**: 台所や浴室から出る生活雑排水と、し尿を併せて処理することができる浄化槽のことです。

SDGs

教育 4 質の高い教育をみんなに  
 経済成長と雇用 8 働きがいも経済成長も  
 持続可能な都市 11 住み続けられるまちづくりを  
 実施手段 17 パートナリシップで目標を達成しよう

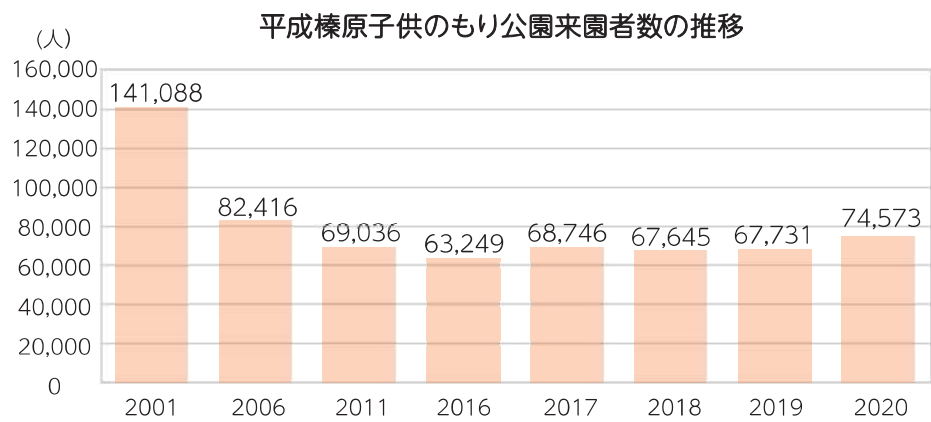
基本構想

施策の方向性

5-3 公園・緑地の整備・活用

現状

- ▶ 平成榛原子供のもり公園は市外からの来園者が多く人気があるものの、2001年の開園時に比べると、来園者数は大きく減少
- ▶ 室生山上公園芸術の森の2020年度の来園者数は開園後最多となるなど、増加の傾向
- ▶ 公園や緑地施設は交流やにぎわいの拠点となる場所であるが、老朽化が進行している施設が存在
- ▶ 中期基本計画策定に向けたワークショップや座談会で、宇陀市の残したいこととして、「豊かな自然」を挙げる人が多く、また自然を活かした人が集まる方法や事業を望む声があった



課題

- ▶ 市民の憩いの場としてだけでなく、健康づくりやまちづくりを実現するための空間整備
- ▶ 公園や緑地空間を良好な状態に保ちながら来園者の増加を図るなど、より効果的な活用・運営の検討
- ▶ 利用者が安全・快適に利用できるよう、公園施設の計画的な更新

施策

① 快適に利用できる公園・緑地空間を提供します

- ▶ 市有地等を利用した多世代が交流できる空間の整備
- ▶ 平成榛原子供のもり公園の運営において、Park-PFI<sup>※67</sup>等の民間活力の導入を模索し、より魅力的な公園・緑地空間の提供
- ▶ 室生山上公園芸術の森は、文化芸術活動による地域の活性化を推進するとともに、来園者の多いシーズンにも対応した維持・運営の徹底
- ▶ ワールドメイプルパークは、指定管理者によるカエデの育成管理だけでなく、地域活性化を推進するため、自然体験等を通じた運営管理
- ▶ 老朽化により更新が必要な公園施設の修繕や長寿命化を計画的に進めるなど、安全・快適に利用できる空間の維持
- ▶ 奈良県と連携して、うだ・アニマルパークへの誘客を図るとともに、動物愛護の精神に基づく「いのちの教育」の展開



キャンプやバーベキューも可能な平成榛原子供のもり公園



来園者が増加している室生山上公園芸術の森



**こんな事業をしています** (事業は2021年度)

- ワールドメイプルパーク指定管理
- 室生山上公園芸術の森管理運営
- 平成榛原子供のもり公園民間活力検討
- 長寿命化計画に基づく公園施設整備

**こんな計画が関連しています**

- 宇陀市都市計画マスタープラン
- 奈良県と宇陀市とのまちづくりに関する基本計画
- 宇陀市公園施設長寿命化計画
- 緑の基本計画
- 宇陀市過疎地域持続的発展計画

※67. Park-PFI: 飲食店、売店等の公園利用者の利便性向上に資する公営対象公園施設の設置・管理運営と、この将来的な収益を活用した公園の広場、園路、駐車場等の整備・改修等を民間事業者が一体的に施工することができる制度のことです。

はじめに  
 宇陀市の紹介  
 中期基本計画の策定にあたって  
 基本構想  
 基本計画  
 健康なまち  
 暮らしやすいまち  
 活力あるまち  
 生涯輝くまち  
 自然豊かなまち  
 地域力を発揮するまち  
 資料編

目指すまちの姿

6

# 地域力を 発揮するまち

基本構想  
施策の  
方向性

- 6-1 市民と行政の協働のまちづくり
- 6-2 健全な行政運営の推進
- 6-3 広域行政の推進
- 6-4 地域力の再生・強化



評価指標	現状値		目標値 (2029年)	指標の考え方
	前期基本計画 策定時	中期基本計画 策定時		
まちづくり 協議会による 取り組み件数	245件 (2017年度)	163件 (2020年度)	300件	市民と行政の協働のまちづくりや地域力の再生・強化を進めることで、まちづくり協議会の主体的な取り組みが増加すると考えます。
市やまちづくり 協議会の SNS の フォロワー数	1,044件 (2017年度)	3,552件 (2020年度)	10,000件	市等が積極的に情報発信や市民との情報共有を行うことによって、SNSのフォロワー数が増加すると考えます。
経常収支比率 <sup>※68</sup>	99.3% (2017年度)	97.0% (2020年度)	95.0%	市民と行政が適切な役割分担のもとでまちづくりを進めることによって、行政の財務負担の軽減につながり、経常収支比率の改善につながると考えます。

SDGs



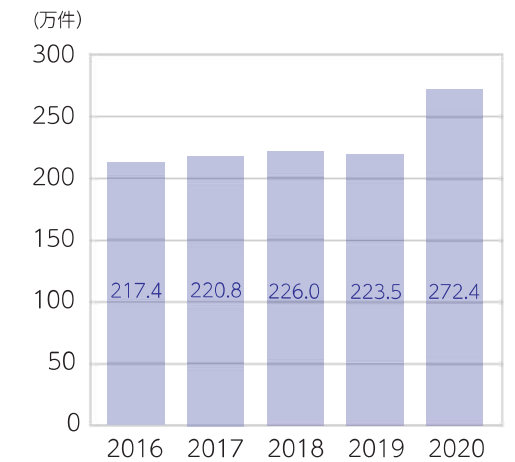
基本構想  
施策の  
方向性

## 6-1 市民と行政の協働のまちづくり

### 現状

- ▶ 議会本会議の状況を生放送するとともに、会議内容をホームページで公開
- ▶ 市民の行政に対するニーズが多様化
- ▶ 情報通信技術の進展によるデジタル化の浸透に伴い、情報を発信する媒体が多様化
- ▶ ホームページやフェイスブック<sup>※69</sup>等を活用し、市内外に向け情報を発信
- ▶ 「自分たちの地域は自分たちでつくる」という考えのもと、市内全地域でまちづくり協議会が活動
- ▶ 審議会等へ参加いただく市民を公募し、様々な意見を市政に反映するとともに、各種計画についてパブリックコメントを実施

市ホームページへのアクセス数の推移

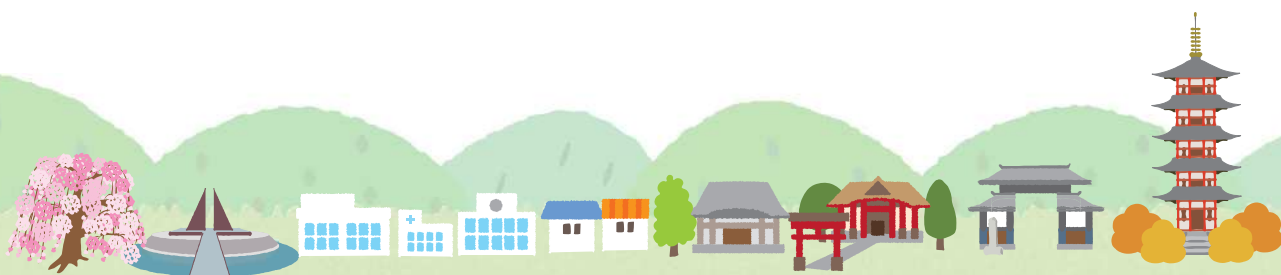


### 課題

- ▶ 市民が必要とする新鮮で魅力ある情報や市民生活に役立つ情報を迅速に発信するとともに、情報を一方的に発信するのではなく、市民の意見の反映
- ▶ 宇陀市の魅力を高めるため、情報通信技術を活かした多様な情報発信
- ▶ 地域の課題解決等に取り組むまちづくり協議会や自治会を担う人材の確保

※68. 経常収支比率：地方公共団体の財政構造の弾力性を表す指標で、人件費、扶助費、公債費等の経常的な経費に、市税、地方交付税、地方譲与税等の経常的な収入がどの程度充当されているかを示すものです。

※69. フェイスブック：インターネット上で人と人を双方向でつなぐ、ソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）の一つで、投稿に対して別の利用者がコメントしたり、他の利用者に向けて転載したりすることで、情報を素早く、より多くの人に伝えられる特徴があります。



施策

① 情報発信の充実を図ります

- ▶ 議会定例会や各種審議会の会議内容をホームページで公表するなど情報の共有
- ▶ 各施策・各事業等の説明責任を果たすため、最新の情報を市ホームページや広報うだ、自主放送「うだチャンネル11」、フェイスブックなど様々な情報発信手段の活用
- ▶ 宇陀市の農林畜産物や自然環境、歴史文化資源等の地域資源を「大和高原宇陀ブランド」として広く情報発信するため、YouTube等の活用
- ▶ 観光情報や各種イベントについての効果的な情報発信
- ▶ 市民や民間事業者が利活用できるオープンデータ<sup>※70</sup>の提供に取り組み、データの二次利用の促進

② 市民協働のまちづくりを推進します

- ▶ 市民や自治会・まちづくり協議会等の団体と協働して、地域ごとの課題解決に向けた体制の強化や自治会・まちづくり協議会の活動・運営の支援
- ▶ 市内の隅々から声の届く市民参加型の行政を目指し、事業所や各種団体と市長が直接、意見交換を行うなど開かれた市政の実現
- ▶ 審議会等への積極的な市民参加を推進し、市民の意見を反映できる体制の強化



様々な意見が出た総合計画審議会



こんな事業をしています

(事業は2021年度)

- 広報うだの発行
- ホームページ運用
- 「うだチャンネル」自主放送
- 市長とまちかどトーク
- まちづくり協議会支援

こんな計画が関連しています

- 宇陀市過疎地域持続的発展計画

SDGs



基本構想

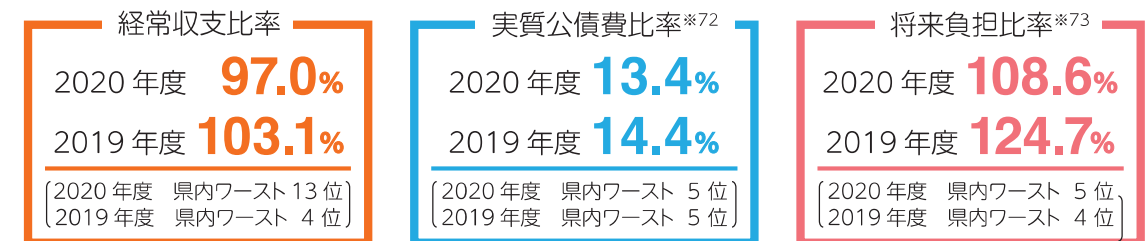
施策の方向性

6-2 健全な行政運営の推進

現状

- ▶ 国において、「書面、押印、対面」の見直しやデジタル化が加速
- ▶ 国において、各自治体が独自に構築しているシステムを標準化する動き
- ▶ 申請方法の周知や窓口の拡充により積極的にマイナンバーカードを普及
- ▶ 市税等のコンビニ収納や窓口手数料等のキャッシュレス決済を導入
- ▶ 市税をはじめとする自主財源の確保に努めているものの、地方交付税への依存度が高い状況
- ▶ 2019・2020年度決算をもとに奈良県から財政重症警報が発令され、財政健全化に向けた取り組みを推進
- ▶ 公共施設の維持管理経費が類似団体<sup>※71</sup>に比べて高く、公共施設やインフラ資産の老朽化が進み、更新の時期を迎える施設等が増加

宇陀市の財政状況



課題

- ▶ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、世の中の考え方・働き方の変化に見合った新たな行政サービスの展開と提供
- ▶ 限られた職員数と財源で行政サービスを維持し、多様な行政需要に対応するために、行政手続きのオンライン化を推進するなどデジタル技術等を活用した業務の効率化
- ▶ マイナンバーカードの利活用による市民の利便性の向上
- ▶ 行政組織としての機能を十分に発揮できる組織改革と職員一人ひとりの意識改革と資質の向上
- ▶ 市民が安心して住み続けられる行政経営を行っていくために、財源の確保と経費の縮減
- ▶ 公共施設について、施設の統合（複合化、機能集約）・廃止・長寿命化の検討
- ▶ 市が保有する土地について、特に未利用資産の売却や貸付に向けた取り組み

※70. オープンデータ：公共データを営利・非営利を問わず誰もが自由に再利用を可能な形で公開することです。

※71. 類似団体：市町村の態様を決定する要素のうち最もその度合いが強く、しかも容易かつ客観的に把握できる「人口」と「産業構造」により設定された類型のことで、大都市、特別区、中核市、特例市、都市、町村ごとに分別されています。

※72. 実質公債費比率：地方公共団体の借入金（地方債）の返済額（公債費）の大きさを、その地方公共団体の財政規模に対する割合で表したものです。

※73. 将来負担比率：地方公共団体の借入金（地方債）など現在抱えている負債の大きさを、その地方公共団体の財政規模に対する割合で表したものです。

施策

① わかりやすく丁寧な行政サービスを提供します

- ▶市役所において個人情報の保護などセキュリティ対策を徹底した上でデジタル技術の活用を進め、行政の効率化や迅速かつ正確な事務処理を行うなど、DX<sup>\*74</sup>の推進によるサービスの向上と業務の改善
- ▶国が進めるマイナンバー制度の活用拡大に合わせ、全ての人のマイナンバーカード取得を目指し、各種申請のオンライン化等の利活用を促進
- ▶庁内の情報連携を図り、手続きや相談のワンストップ化
- ▶窓口での証明書発行手数料や公共施設利用料など、キャッシュレス決済の拡充



マイナンバーカード

② 新たな時代に対応できる行政運営を確立します

- ▶多様なニーズや新たな時代に対応した行政サービスを提供するため、人材の確保や市民から信頼される職員の育成
- ▶新たな時代に対応した組織体制の構築や職員の適正配置を行うとともに、業務上発生しうるリスクに対する組織的な管理の徹底や情報セキュリティ対策の強化
- ▶行政事務のデジタル化、ペーパーレスの実現に向けた文書の電子化を進め、事務処理の効率化
- ▶AI（人工知能）やRPA<sup>\*75</sup>など情報通信技術を活用したスマート宇陀による業務改革を推進し、持続可能な行政サービスの提供
- ▶新型コロナウイルス感染症など感染症対策を徹底するとともに、災害時においても業務が継続できる体制の整備

③ 持続可能な財政運営を確立します

- ▶2025年度までの間を重点施策への戦略的投資期間と位置付け、将来を見据えた事業の推進
- ▶将来にわたって安定的な財政運営を行うため、歳入の見直しと市税の徴収率の向上
- ▶ふるさと納税や企業版ふるさと納税<sup>\*76</sup>制度を活用した財源の確保
- ▶財政調整基金の確保に努め、将来世代に過度な負担を残さないよう、適正な市債の発行
- ▶公共施設やインフラ資産を適切に管理し、安全の確保と長寿命化を図り、必要に応じた民間ノウハウの有効活用
- ▶公共施設の機能集約を進め、施設保有量の最適化
- ▶市が保有する低未利用の土地について、必要に応じた環境整備と売却



こんな事業をしています

(事業は2021年度)

- マイナンバーカードを利用したコンビニ交付
- 職員研修
- 総合案内業務
- 市税徴収対策

こんな計画が関連しています

- 宇陀市行政改革大綱
- 宇陀市立地適正化計画
- 宇陀市公共施設等総合管理計画
- 宇陀市過疎地域持続的発展計画

※74. DX: Digital Transformation(デジタルトランスフォーメーション)のことで、デジタル技術とデータの活用が進むことによって、社会・産業・生活のあり方が根本から革命的に変わること。また、その革命に向けて産業・組織・個人が大転換を図ることです。

※75. RPA: [Robotic Process Automation]の略で、これまで人間が行ってきた定型的なパソコン操作をソフトウェアのロボットにより自動化するものです。

※76. 企業版ふるさと納税: 企業が地方公共団体の地方創生の取り組みに対して寄附を行った場合に、法人関係税を税額控除するものです。

SDGs

実施手段



基本構想



6-3 広域行政の推進

現状

- ▶県内37市町村で構成する一部事務組合<sup>\*77</sup>により、消防・救急業務を実施
- ▶桜井宇陀広域連合では圏域内の地域活性化に関する業務や介護保険認定審査会等の業務を実施
- ▶近隣市村と構成する一部事務組合により、ごみ処理やし尿処理業務を実施
- ▶上水道は(仮称)奈良県広域水道企業団の設立を踏まえて、計画的に事業を実施

課題

- ▶多様化するニーズ等に対応し、より効果的に行政サービスを提供するため、広域での自治体間連携の強化
- ▶行政事務の効率化やコスト削減を図るため、行政事務の広域化
- ▶広域での周遊・滞在型観光に向け、周辺市町村との連携を強化するとともに組織の集約化
- ▶自治体間交流の促進

施策

① 広域行政を推進します

- ▶近隣市村や県内関係市町村との間で構成する広域連合<sup>\*78</sup>や一部事務組合において、効率的・効果的な広域行政事務の推進
- ▶大和高原地域や女人高野室生寺等の観光事業について、広域での周遊・滞在型観光を推進するため、関係市町村との連携の強化
- ▶より良い行政サービスの実現や、関係人口の創出による地域活性化に向け、他都市と友好的な交流
- ▶DXを推進するため、奈良県や関係市町村との連携の強化
- ▶経営基盤を強化し、安定的に水を供給するため、(仮称)奈良県広域水道企業団の設立促進



こんな事業をしています

(事業は2021年度の事業)

- 桜井宇陀広域連合負担金
- 自治体交流
- 奈良県広域消防組合など一部事務組合負担金

こんな計画が関連しています

- 水道事業等の統合に関する覚書
- 宇陀市過疎地域持続的発展計画

※77. 一部事務組合: 複数の地方公共団体がその事務の一部を共同処理することを目的として設置する団体で、奈良県広域消防組合や宇陀衛生一部事務組合、東宇陀環境衛生組合等が該当します。

※78. 広域連合: 複数の地方公共団体が広域にわたる総合的な計画を作成して、その実施のために連絡調整を図り、その事務の一部を処理するために設置する団体で、一部事務組合に比べて、国や県から直接に権限等の委任を受けることができます。

SDGs

教育 持続可能な都市 実施手段

4 質の高い教育をみんなに 11 住み続けられるまちづくりを 17 パートナーシップで目標を達成しよう

基本構想

施策の方向性 6-4 地域力の再生・強化

現状

- ▶ 担い手の不足や高齢化等により、自治会やまちづくり協議会の活動力が低下
- ▶ 高齢化の進行、生活スタイルや価値観の多様化等により、地域課題が多様化
- ▶ 地域の個性を活かした活動を行う団体に対して支援

課題

- ▶ 地域の実情や課題を認識した上で、問題の解決
- ▶ 地域のにぎわいの創出や活性化の推進
- ▶ 宇陀市のまちづくりに携わり、応援してくれるサポーターを増やしながら、地域全体が連携したまちづくりの推進

施策

① 市民のまちづくり活動を支援します

- ▶ さらなる地域力向上のため、自治会やまちづくり協議会の健全な育成と円滑な運営の支援
- ▶ 地域の資源や特性を活かした自主的な活動に取り組む団体への支援
- ▶ 市民団体が行う様々なまちづくり活動の支援



こんな事業をしています (事業は2021年度の事業)

- まちづくり活動応援補助金
- 連合自治会支援

こんな計画が関連しています

- 宇陀市過疎地域持続的発展計画



菟田野まちづくり協議会による林業体験



市民団体により行われたスカイランタンフェスティバル

はじめに  
宇陀市の紹介

中期基本計画の  
策定にあたって

基本構想

基本計画

健康なまち

暮らしやすいまち

活力あるまち

生涯輝くまち

自然豊かなまち

地域力を発揮するまち

資料編

資料編



# 資料編



# 1 DATAで見る宇陀市の概況

## (1) 県内各市の人口推移

	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年
宇陀市	39,762	37,183	34,227	31,105	28,121
奈良市	374,944	370,102	366,591	360,310	354,630
大和高田市	73,668	70,800	68,451	64,817	61,744
大和郡山市	94,188	91,672	89,023	87,050	83,285
天理市	72,741	71,152	69,178	67,398	63,889
橿原市	125,005	124,728	125,605	124,111	120,922
桜井市	63,248	61,130	60,146	57,244	54,857
五條市	39,928	37,375	34,460	30,997	27,927
御所市	34,676	32,273	30,287	26,868	24,096
生駒市	112,830	113,686	118,113	118,233	116,675
香芝市	63,487	70,998	75,227	77,561	78,113
葛城市	34,950	34,985	35,859	36,635	36,832

出典（国勢調査）

## (2) 県内市町村の財政指標の比較

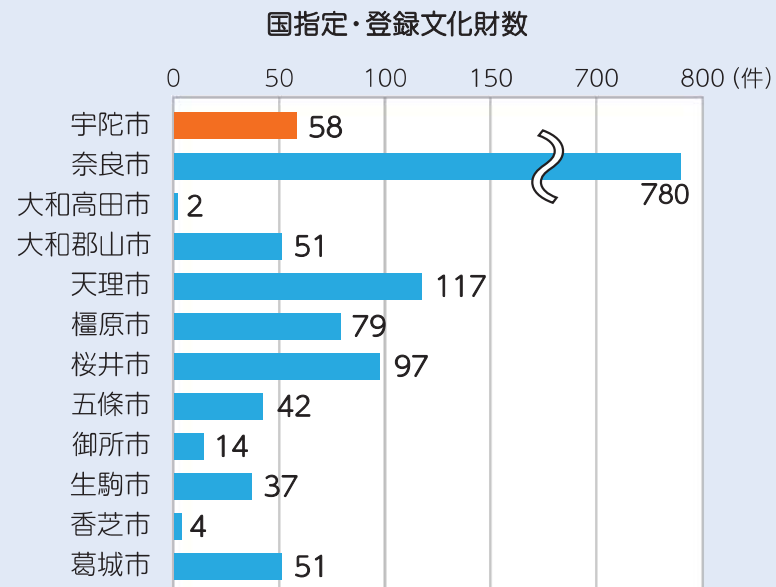
市町村名	経常収支比率 ▲は改善			実質公債費比率 ▲は改善			将来負担比率 ▲は改善		
	2019年度	2020年度	増減	2019年度	2020年度	増減	2019年度	2020年度	増減
宇陀市	103.1	97.0	▲ 6.1	14.4	13.4	▲ 1.0	124.7	108.6	▲ 16.1
奈良市	99.7	97.4	▲ 2.3	11.2	10.3	▲ 0.9	137.3	119.7	▲ 17.6
大和高田市	97.9	100.2	2.3	8.8	8.3	▲ 0.5	43.7	35.5	▲ 8.2
大和郡山市	97.4	97.7	0.3	12.3	11.2	▲ 1.1	42.3	14.5	▲ 27.8
天理市	103.9	101.8	▲ 2.1	10.6	10.7	0.1	64.8	56.2	▲ 8.6
橿原市	97.7	95.5	▲ 2.2	5.3	3.9	▲ 1.4	56.6	53.1	▲ 3.5
桜井市	101.3	99.3	▲ 2.0	7.5	7.4	▲ 0.1	93.8	97.7	3.9
五條市	99.5	95.1	▲ 4.4	15.0	13.4	▲ 1.6	123.2	120.9	▲ 2.3
御所市	104.3	101.1	▲ 3.2	13.2	12.4	▲ 0.8	105.6	92.7	▲ 12.9
生駒市	94.3	89.7	▲ 4.6	4.6	4.6	0.0	▲ 85.4	▲ 96.3	▲ 10.9
香芝市	92.6	90.1	▲ 2.5	15.2	13.5	▲ 1.7	86.5	68.3	▲ 18.2
葛城市	98.2	97.9	▲ 0.3	7.9	8.5	0.6	57.2	47.8	▲ 9.4
山添村	89.8	84.4	▲ 5.4	3.1	3.9	0.8	▲ 23.4	▲ 20.2	3.2
平群町	99.9	95.7	▲ 4.2	16.1	16.7	0.6	241.3	222.8	▲ 18.5
三郷町	89.8	89.0	▲ 0.8	0.4	1.5	1.1	48.2	49.4	1.2
斑鳩町	93.3	93.2	▲ 0.1	7.1	7.0	▲ 0.1	46.1	37.5	▲ 8.6
安堵町	97.2	95.8	▲ 1.4	6.2	6.1	▲ 0.1	33.9	24.0	▲ 9.9
川西町	86.3	85.7	▲ 0.6	8.9	8.0	▲ 0.9	▲ 30.6	▲ 60.2	▲ 29.6
三宅町	88.2	86.1	▲ 2.1	9.9	10.2	0.3	32.6	27.6	▲ 5.0
田原本町	99.6	99.5	▲ 0.1	9.0	9.7	0.7	79.7	56.0	▲ 23.7
曾爾村	84.8	83.8	▲ 1.0	7.3	8.1	0.8	▲ 89.9	▲ 87.3	2.6
御杖村	82.5	78.6	▲ 3.9	3.9	3.8	▲ 0.1	▲ 209.5	▲ 205.8	3.7
高取町	96.0	90.0	▲ 6.0	9.4	9.1	▲ 0.3	110.9	78.0	▲ 32.9
明日香村	97.5	92.0	▲ 5.5	6.0	4.5	▲ 1.5	29.6	20.1	▲ 9.5
上牧町	99.3	98.2	▲ 1.1	13.9	13.9	0.0	115.3	102.2	▲ 13.1
王寺町	97.0	98.0	1.0	4.8	5.8	1.0	▲ 145.6	▲ 162.1	▲ 16.5
広陵町	94.9	94.5	▲ 0.4	8.2	7.8	▲ 0.4	48.2	61.4	13.2
河合町	102.2	93.9	▲ 8.3	20.8	18.4	▲ 2.4	225.3	199.0	▲ 26.3
吉野町	98.5	93.5	▲ 5.0	8.9	8.1	▲ 0.8	108.7	93.6	▲ 15.1
大淀町	96.8	92.5	▲ 4.3	9.4	9.2	▲ 0.2	7.1	7.0	▲ 0.1
下市町	96.0	87.7	▲ 8.3	13.9	13.2	▲ 0.7	73.6	45.2	▲ 28.4
黒滝村	105.8	104.0	▲ 1.8	5.1	5.9	0.8	▲ 24.8	▲ 5.3	19.5
天川村	93.3	92.8	▲ 0.5	10.5	10.7	0.2	▲ 5.4	▲ 28.4	▲ 23.0
野迫川村	99.7	97.8	▲ 1.9	11.8	12.4	0.6	12.1	16.6	4.5
十津川村	97.1	88.2	▲ 8.9	8.0	8.0	0.0	2.7	▲ 2.2	▲ 4.9
下北山村	92.0	89.9	▲ 2.1	6.0	6.1	0.1	▲ 216.3	▲ 167.1	49.2
上北山村	97.9	96.9	▲ 1.0	3.1	3.3	0.2	▲ 168.8	▲ 139.4	29.4
川上村	90.6	83.4	▲ 7.2	6.7	7.1	0.4	▲ 352.8	▲ 308.7	44.1
東吉野村	96.6	91.3	▲ 5.3	9.1	9.2	0.1	9.8	▲ 7.4	▲ 17.2
県平均	98.0	95.6	▲ 2.4						

出典（奈良県 HP）

(3) その他の指標の比較

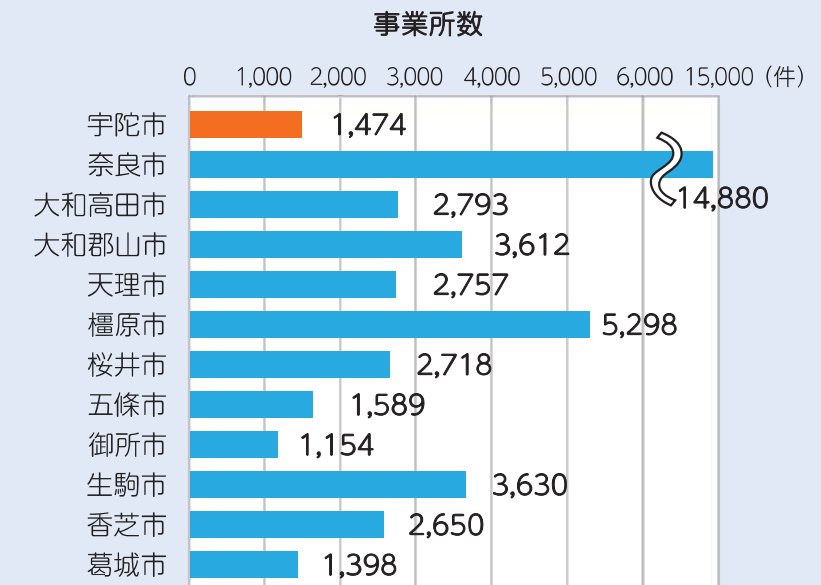
国指定・登録文化財数  
県内市 5 位 (58 件)

(2021 年 4 月 1 日現在)



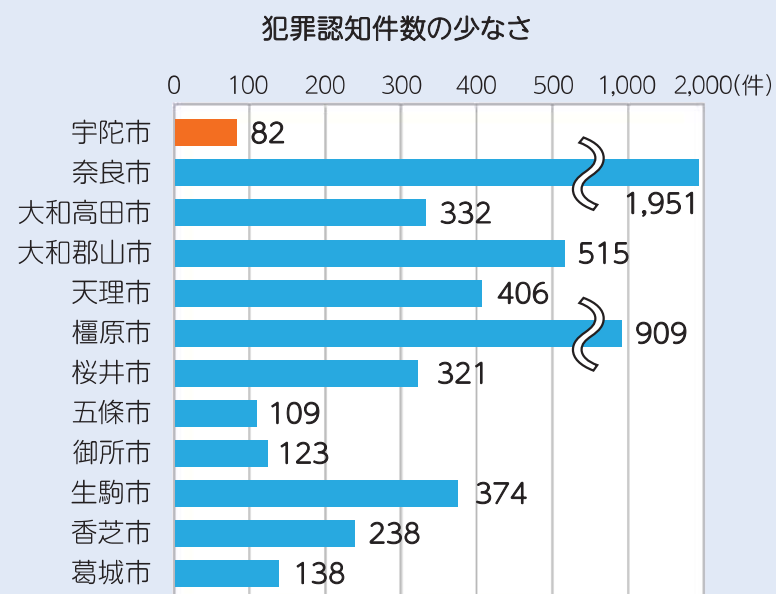
事業所数  
県内市 10 位 (1,474 件)

(2019 年経済センサス基礎調査)



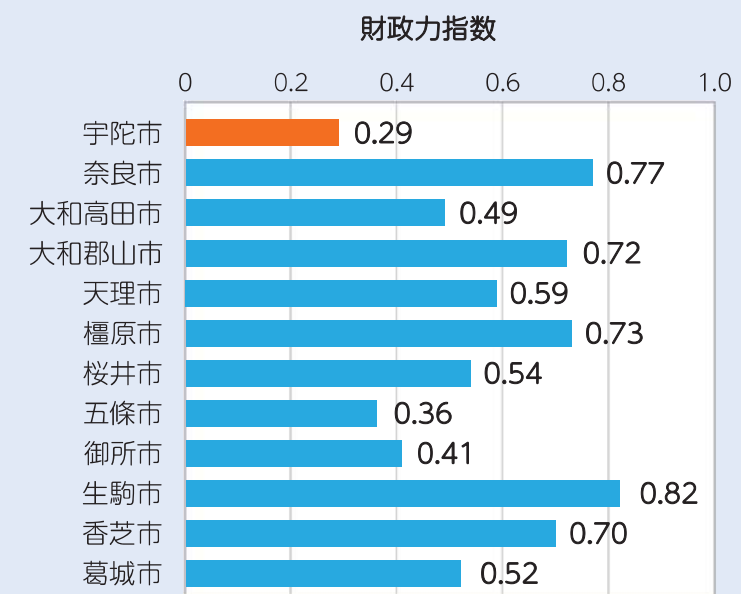
犯罪認知件数の少なさ  
県内市 1 位 (82 件)

(2020 年度近畿都市統計要覧)



財政力指数  
県内市 12 位 (0.29)

(総務省：2020 年度地方公共団体の主要財政指標一覧)



## 2 アンケート調査

### (1) アンケート調査の結果概要

中期基本計画策定にあたり、宇陀市についての印象やこれまでのまちづくりに対する評価、これからのまちづくりに対する意向を把握するため、アンケート調査を実施しました。

結果概要は、以下のとおりです。

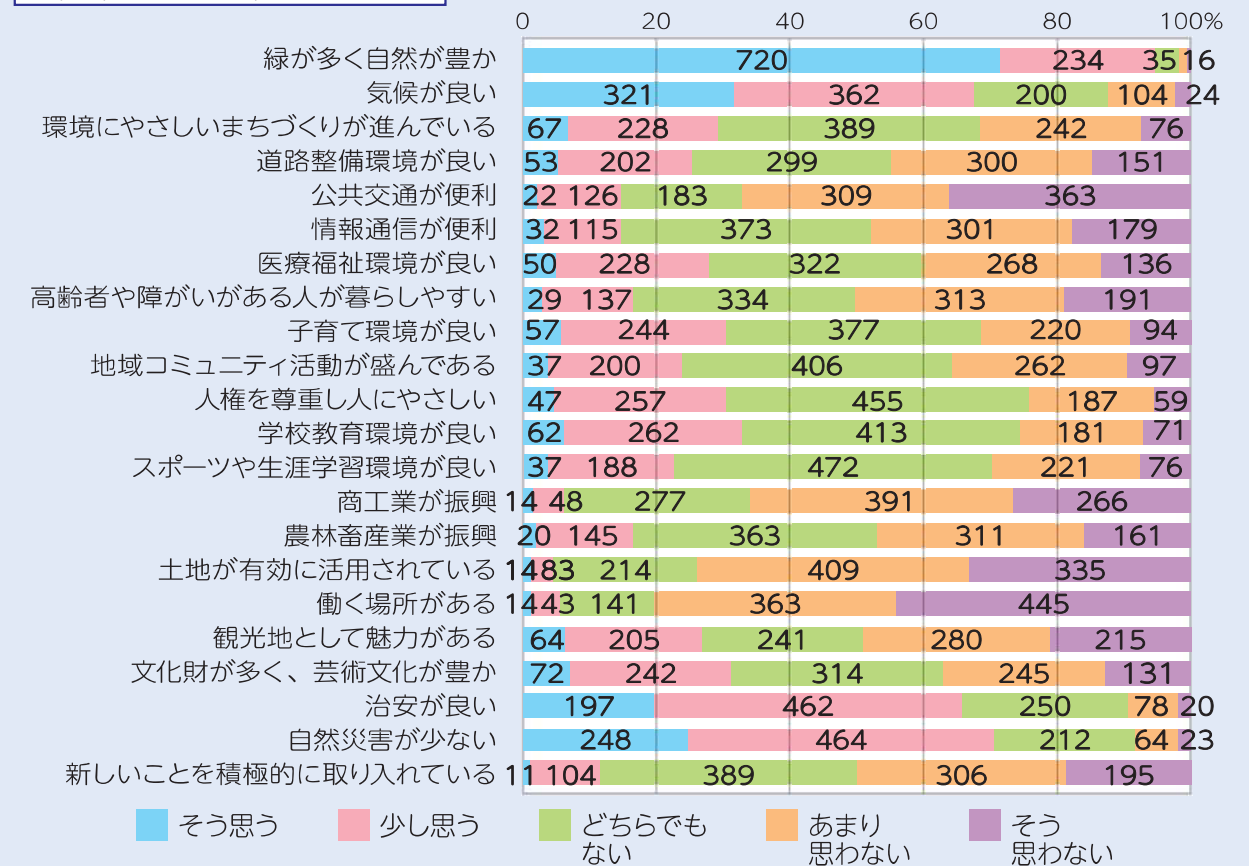
実施期間：2021年7月19日～8月2日

実施方法：配布は郵送、回収は郵送またはインターネット（市職員はインターネットのみ）

調査名	配布数(件)	回答数(件)	回答率
市民アンケート（市内在住 20 歳以上）	2,814	1,064	37.8%
子育て世代アンケート（市内在住 16 歳以上）	413	113	27.4%
中学生アンケート	606	561	92.6%
高校生アンケート	160	158	98.8%
若年世代アンケート（市内在住 16 歳～19 歳）	495	138	27.9%
転入者アンケート	467	109	23.3%
転出者アンケート	380	71	18.7%
事業所アンケート（市内事業者）	377	137	36.3%
市職員アンケート	410	380	92.7%
計	6,122	2,731	44.6%

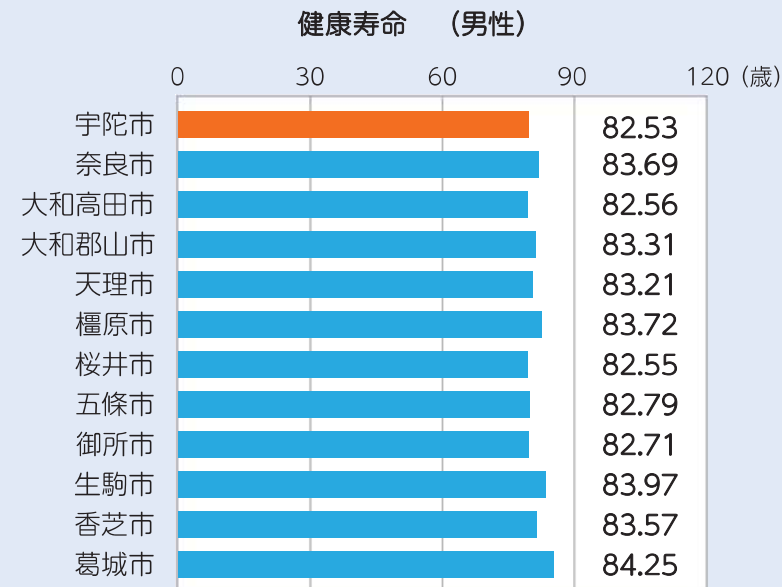
### (2) 市民アンケート調査の結果

#### 宇陀市に対する印象・イメージ



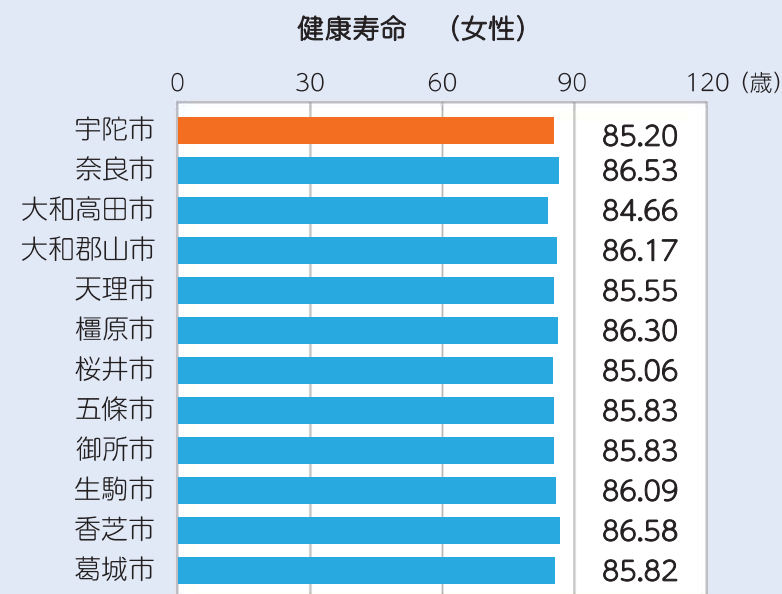
### 健康寿命 県内市 男性 12 位 (82.53 歳)

(奈良県 2017-2019 年 市町村別健康寿命 (65 歳平均自立期間) を基に算出)

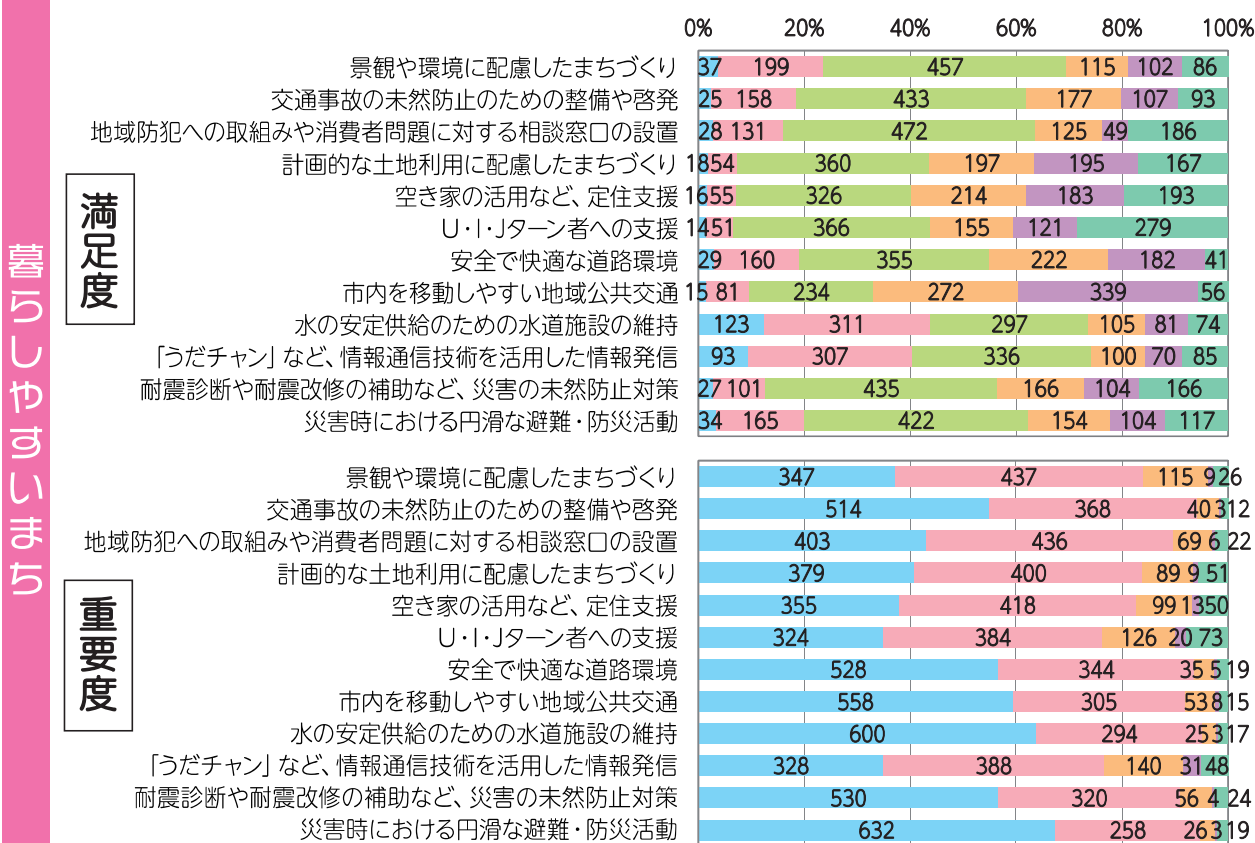
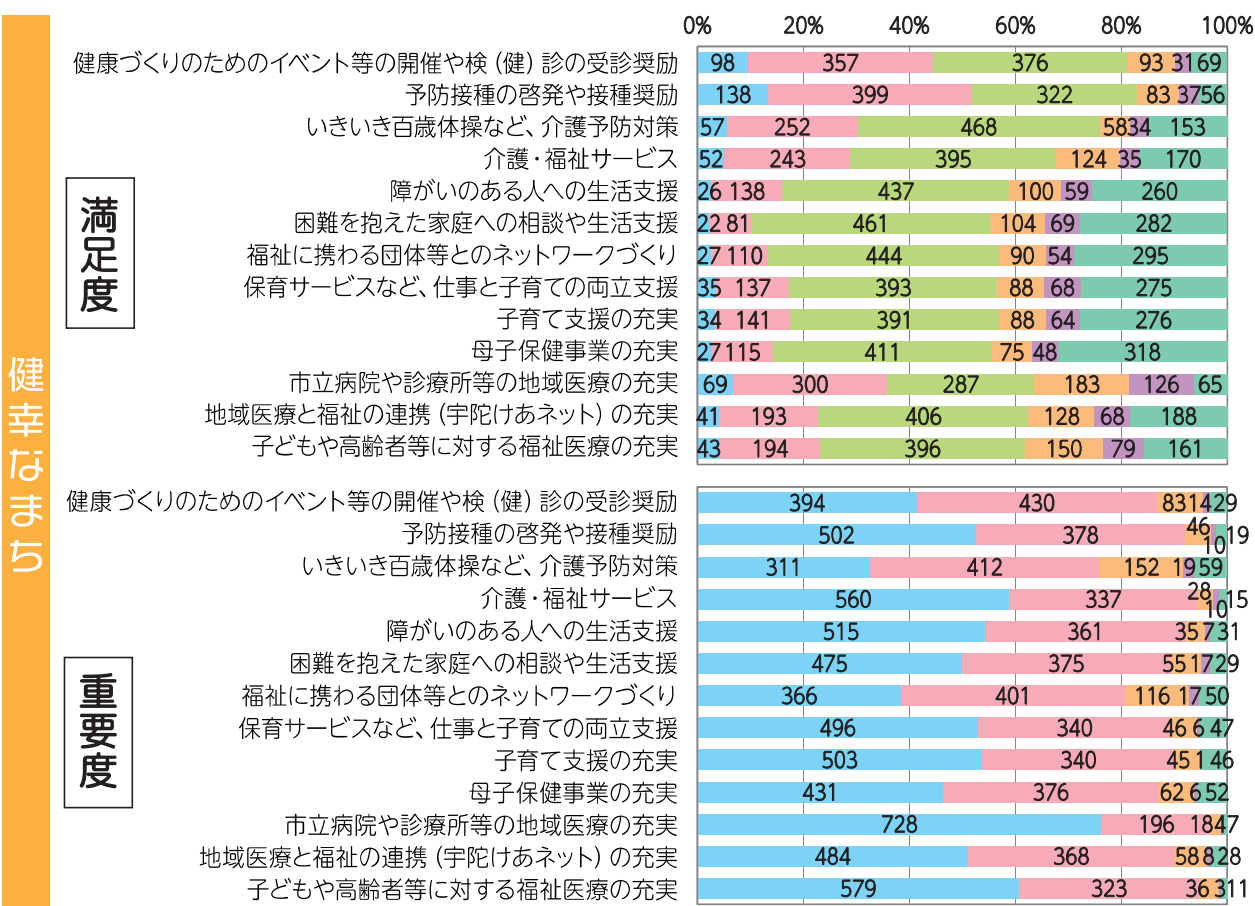


### 健康寿命 県内市 女性 10 位 (85.20 歳)

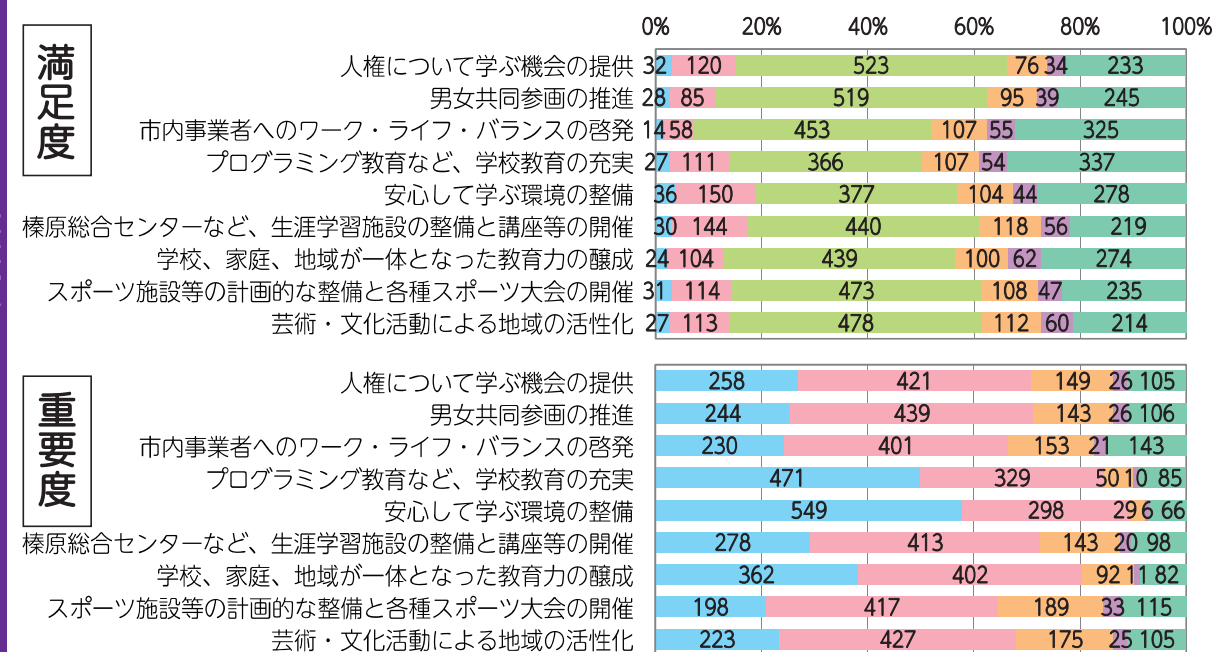
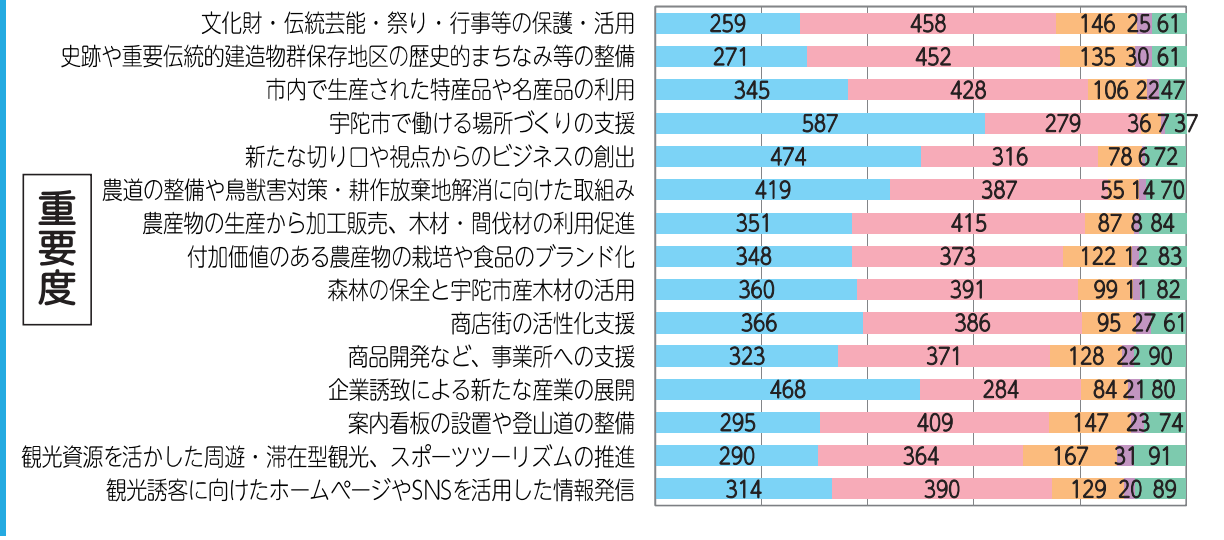
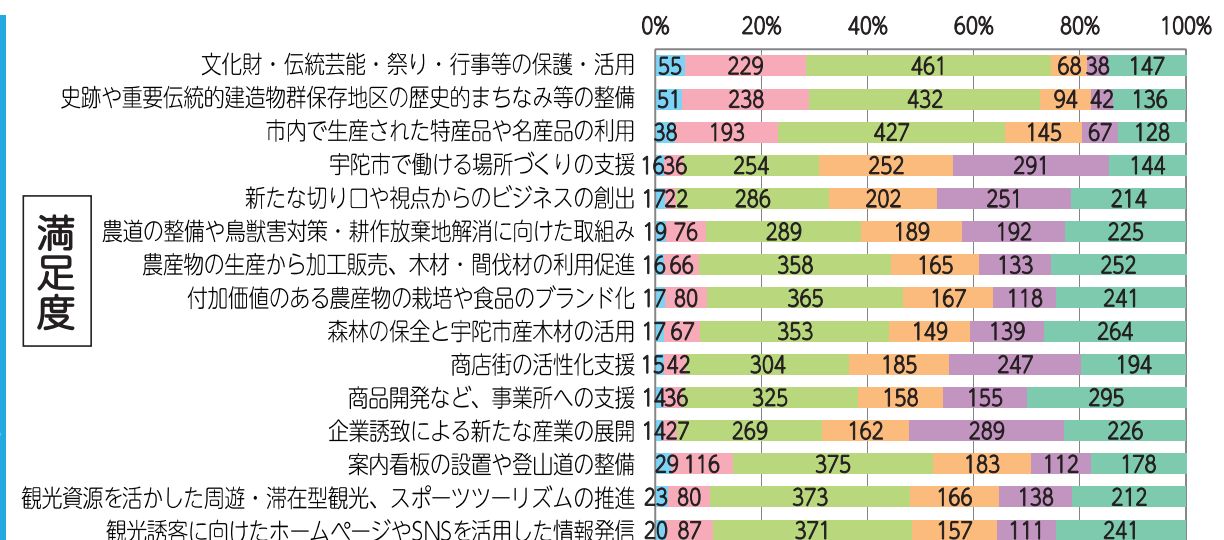
(奈良県 2017-2019 年 市町村別健康寿命 (65 歳平均自立期間) を基に算出)



これまでのまちづくり(前期基本計画の施策)に対する満足度・重要度



満足度: 満足(青), やや満足(赤), どちらともいえない(緑), やや不満(黄), 不満(紫), わからない(白)

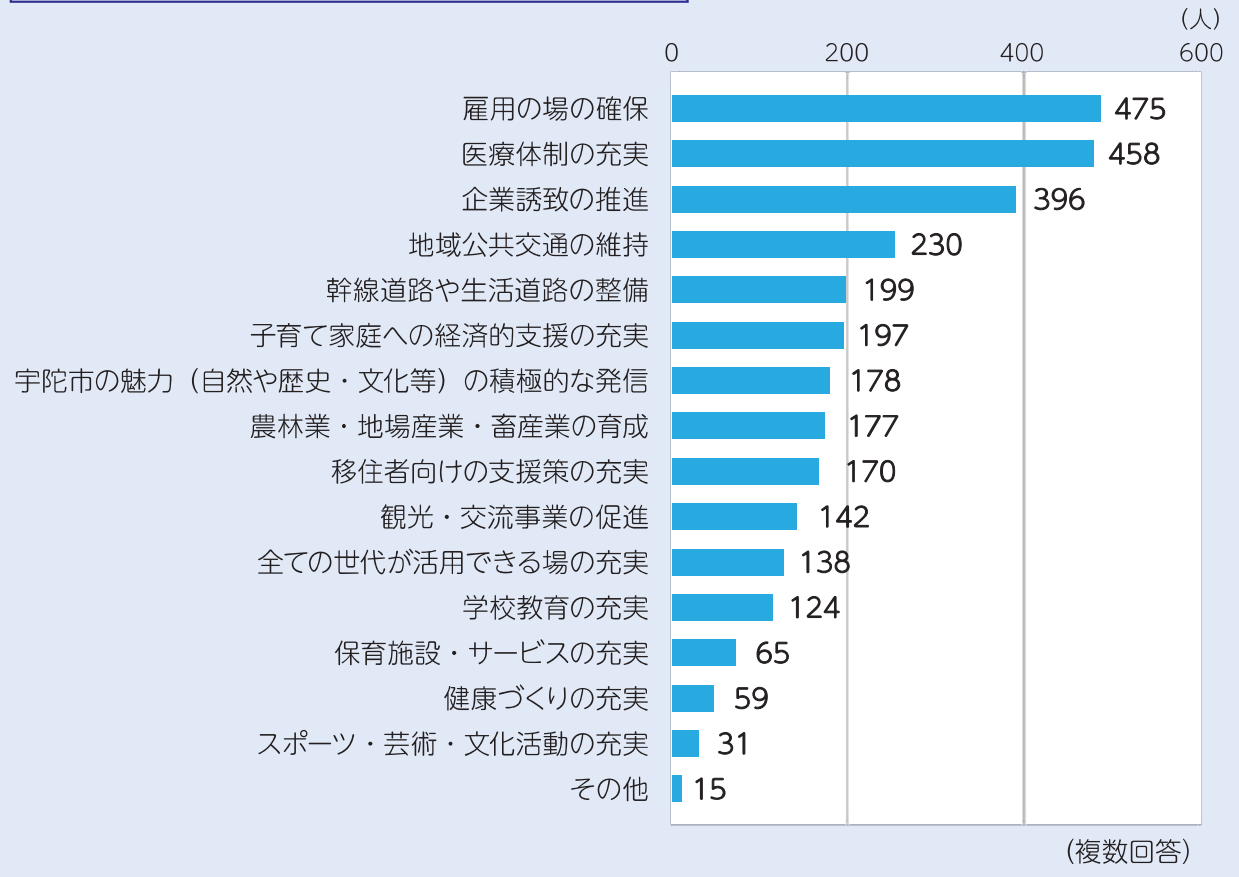


重要度: 重要である(青), やや重要である(赤), あまり重要ではない(黄), 重要ではない(紫), 関心がない(緑)

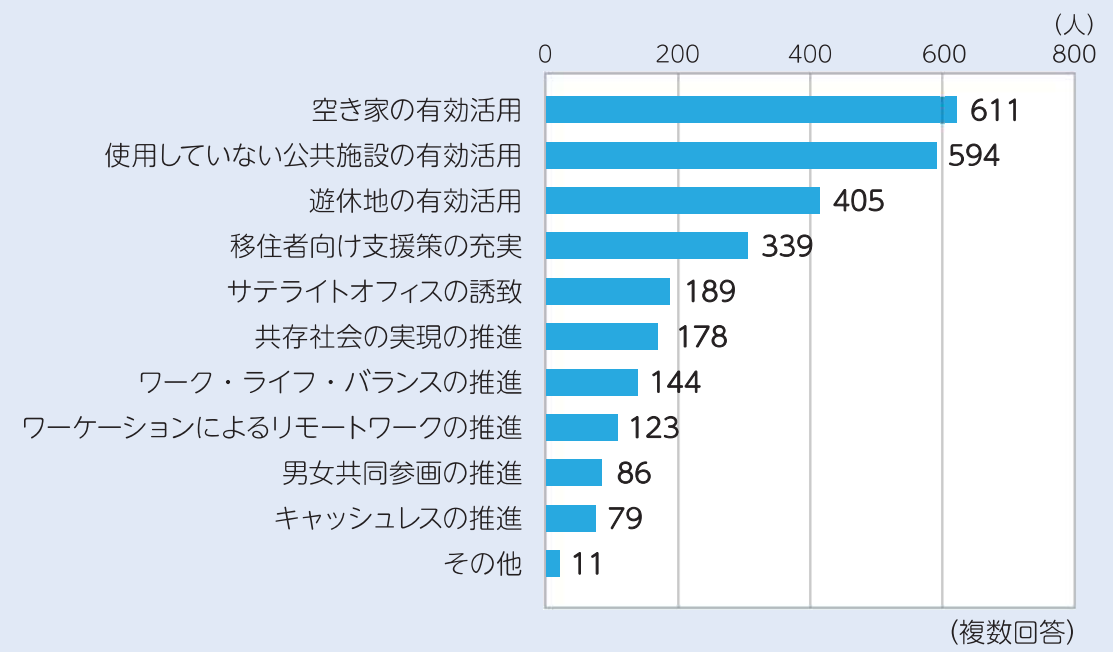
はじめに  
宇陀市の紹介  
中期基本計画の策定にあたって  
基本構想  
基本計画  
健康なまち  
暮らしやすいまち  
活力あるまち  
生涯輝くまち  
自然豊かなまち  
地域力を発揮するまち  
資料編

### 今後のまちづくりに必要な取り組み

#### 人口減少・地域活性化対策として必要な取り組み



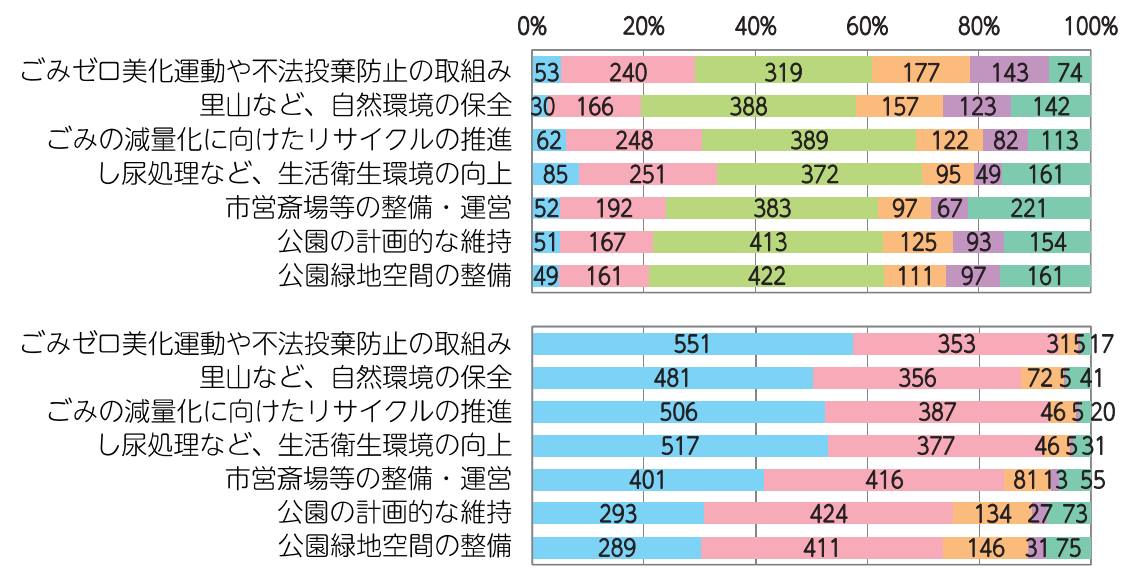
#### ライフスタイルの多様化に対応した取り組みとして重要と思われるもの



### 自然豊かなまち

満足度

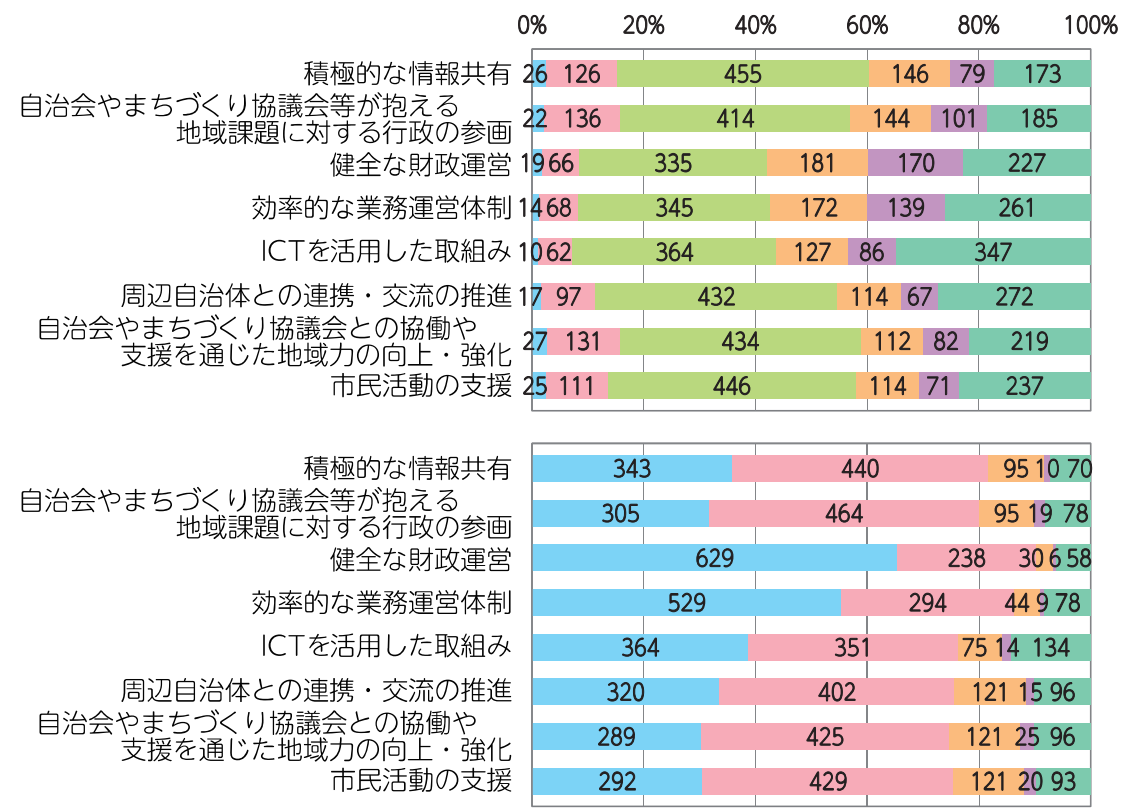
重要度



### 地域力を発揮するまち

満足度

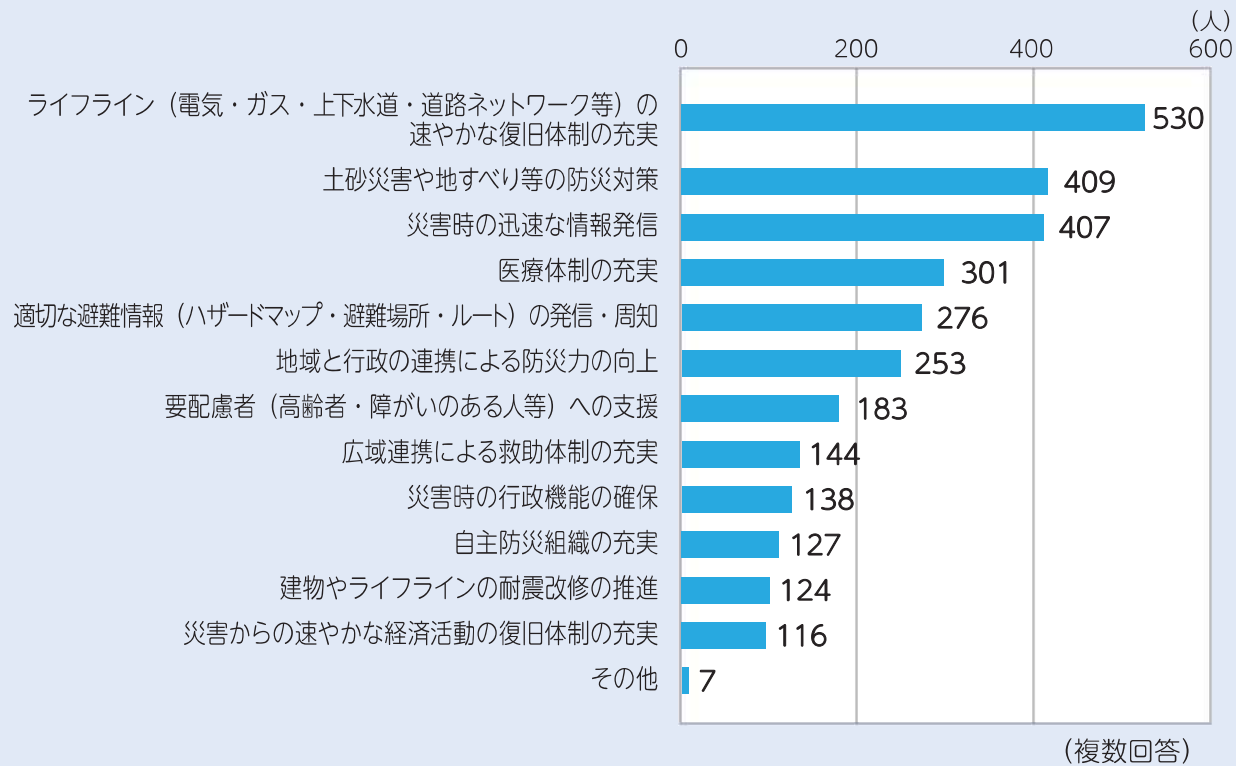
重要度



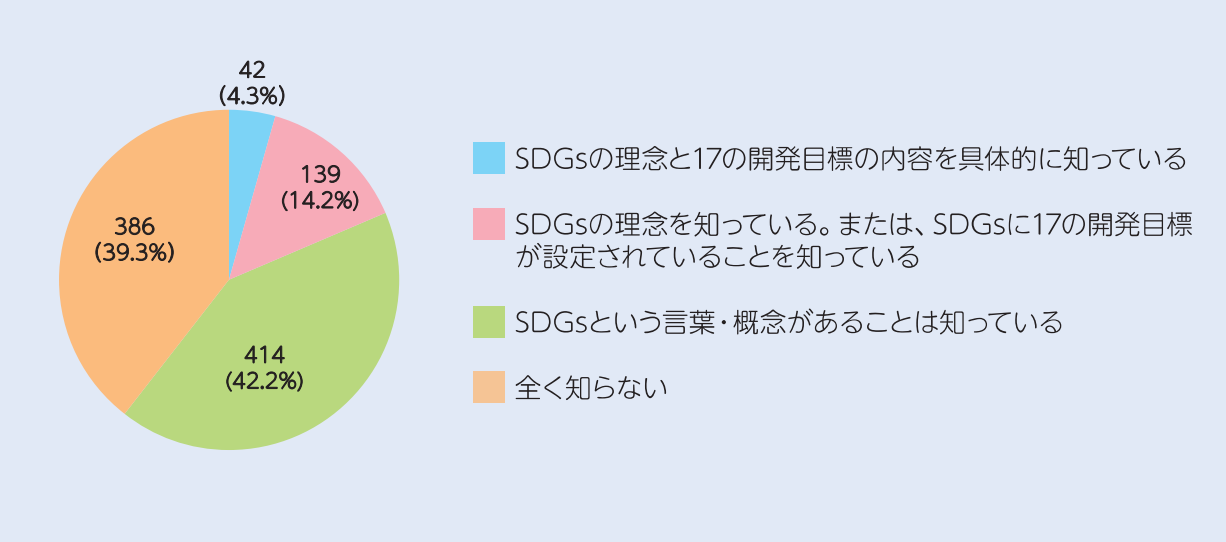
**満足度** ■ 満足 ■ やや満足 ■ どちらともいえない ■ やや不満 ■ 不満 ■ わからない

**重要度** ■ 重要である ■ やや重要である ■ あまり重要ではない ■ 重要ではない ■ 関心がない

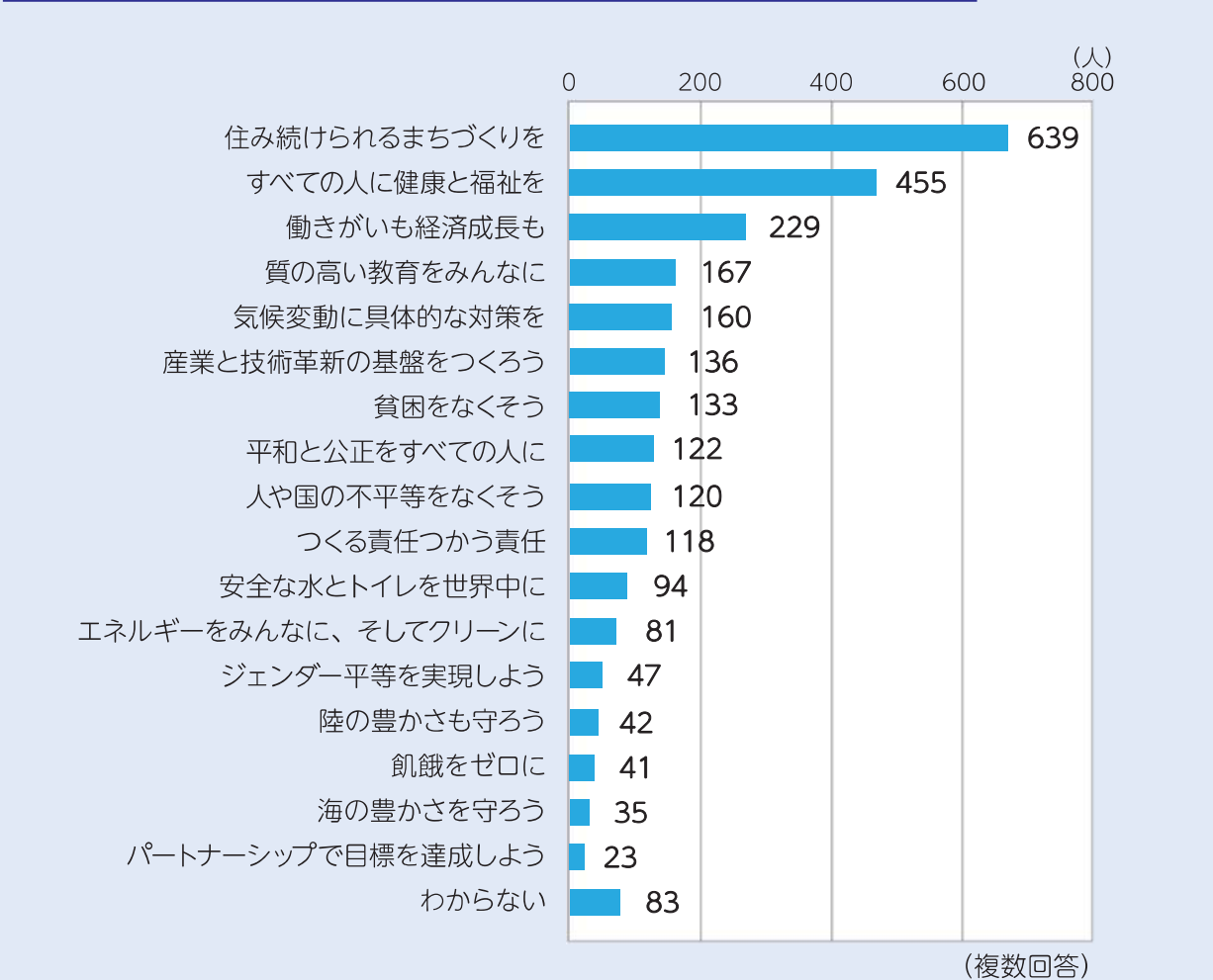
自然災害の発生に備えて重要と思われるもの



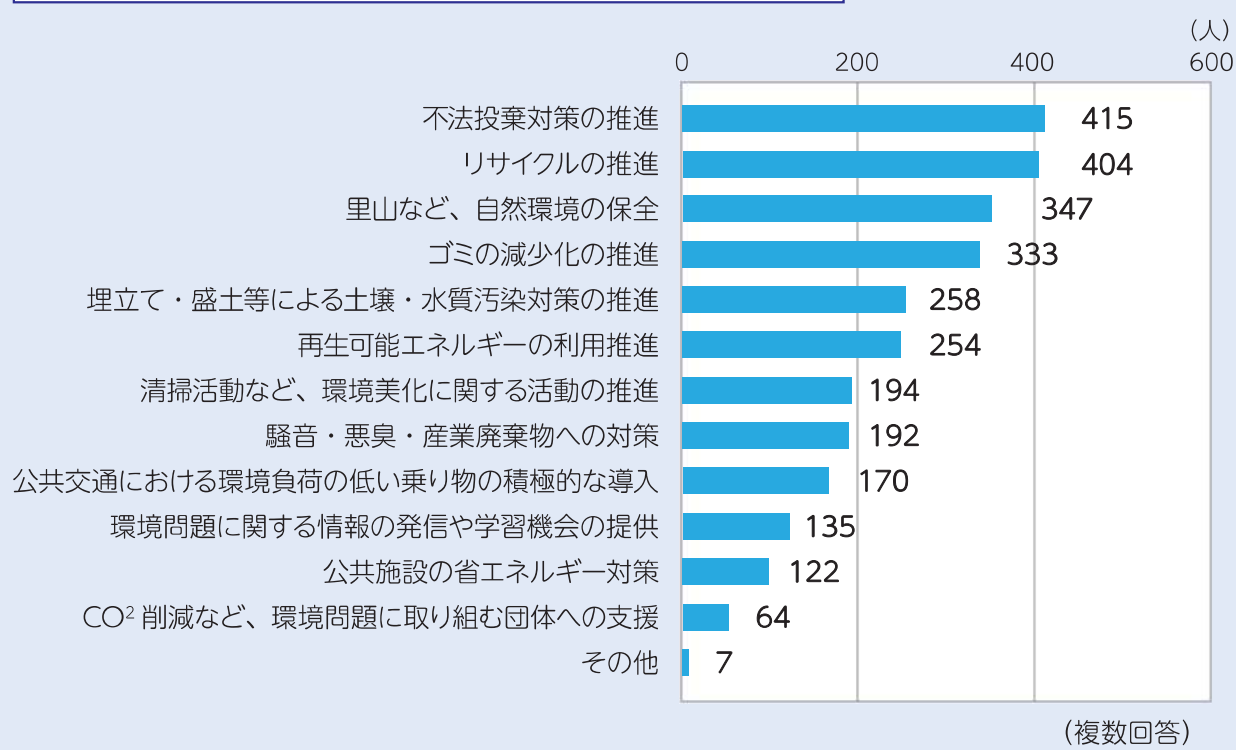
SDGsの認知度



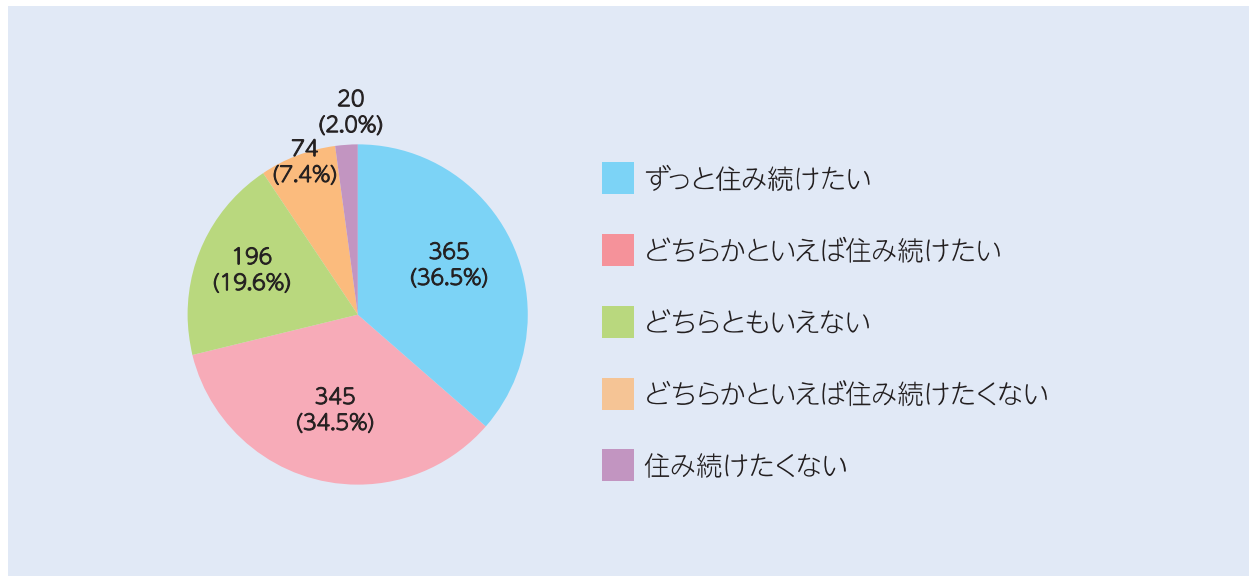
SDGsの17の開発目標のうち、宇陀市が取り組む上で重要だと思うもの



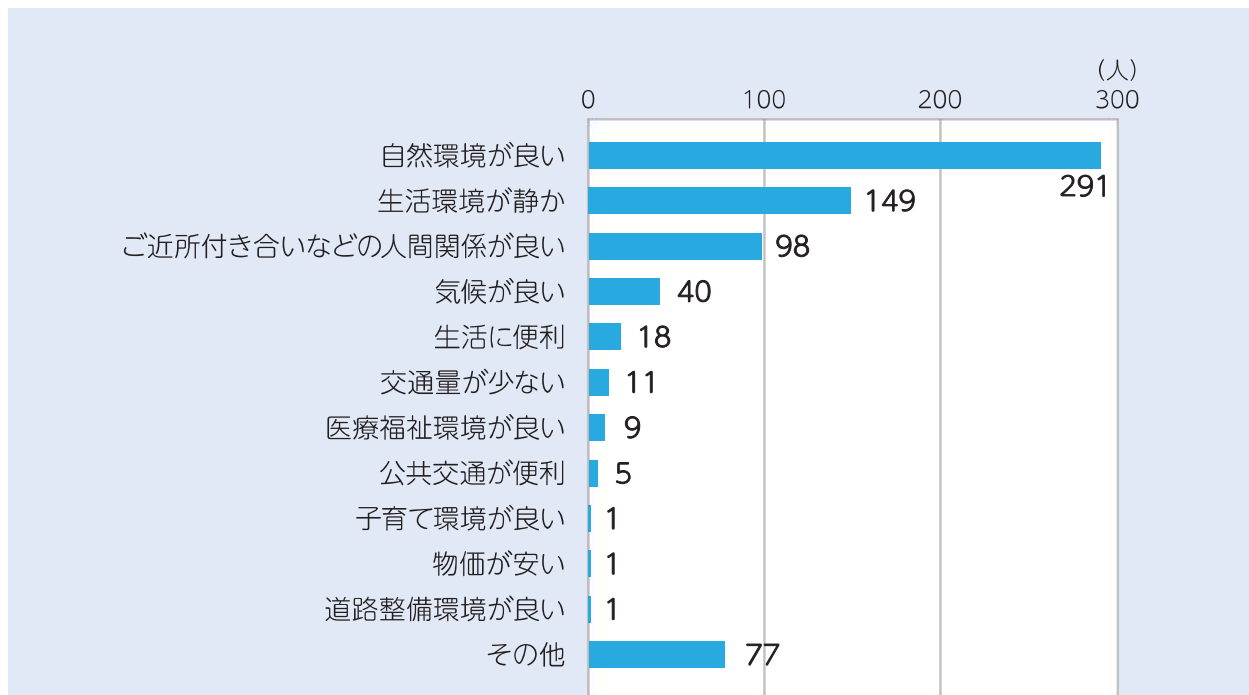
自然環境問題に対応した取り組みとして重要と思われるもの



## 宇陀市での居留意向



## 宇陀市で住み続けたい理由



### 【その他の意見】

- ・多数に当てはまり、宇陀市が好きだから
- ・先祖から引き継いでいるところなど
- ・新天地に一からなじむことが面倒だから
- ・住み慣れているから
- ・生まれ育ったところだから
- ・この年で今更どこにも行けない

## 将来のまちづくりに対する意見

テーマ	意見
自然環境・生活環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空き家や空き地が増加し、荒れている。また、公共施設も空きが目立つので有効活用して欲しい</li> <li>・公共交通の便が悪く、車がないと生活できないので、老後のことが心配になる</li> <li>・高齢者が車を手放した後のフォローをしっかりとって欲しい</li> </ul>
観光・産業振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他府県からの観光客が来ても宿泊するところがない。ビジネス、観光を問わず、宿泊できる場所が必要</li> <li>・宇陀市の歴史・文化といった良さをアピールしきれていない。宇陀市の良さをもっと発信して欲しい</li> <li>・農業を支える若者の育成が重要。先進的な農業に取り組むことが若者の定住にも効果的なはず</li> <li>・人口が減少し、耕作地や山林が荒廃している。森林資源や農産物を活かしつつ、豊かな自然を継承して欲しい</li> <li>・企業誘致を進めて宇陀市の税収の増加を目指して欲しい。人口減少対策にも効果的なはずである</li> <li>・雇用の場が少なく、全年齢層の働く場所が必要</li> </ul>
教育・子育て	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共働きする家庭が増えており、子どもを安心して預けられる場所があると助かる</li> <li>・幼稚園や学校はアットホームで良い感じだが、都市部と比較すると教育水準が低めな印象がある</li> <li>・教育のレベルが上がれば、都会からの若いファミリー層の移住が増えるかもしれない</li> </ul>
インフラ整備等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・榛原駅周辺の道路やまちなみを整えて欲しい</li> <li>・道路整備環境が悪く、ひび割れが目立つ。道路網を整備して欲しい</li> <li>・これからも長く宇陀市で暮らせるように、財政の健全化を目指して欲しい</li> </ul>

# 3 策定の経過

## (1) 宇陀市総合計画条例

平成 29 年 3 月 24 日  
条例第 1 号

(目的)

第 1 条 この条例は、総合計画の基本的事項を明らかにするとともに、総合計画の策定等に関し必要な事項を定めることにより、総合的かつ計画的な市政の運営を図り、もってまちづくりの推進に資することを目的とする。

(定義)

第 2 条 この条例において、次の各号に掲げる用語の意義は、それぞれ当該各号に定めるところによる。  
(1) 総合計画 市の将来の長期的な展望の下に市政のあらゆる分野を対象とした総合的かつ計画的なまちづくりの指針であり、基本構想及び基本計画からなるものをいう。  
(2) 基本構想 市の目指すべき将来像並びにその実現のための基本目標及び施策の大綱を示すものをいう。  
(3) 基本計画 基本構想の施策の大綱に基づき、基本的な施策の方向性を体系的に示すものをいう。

(策定)

第 3 条 市長は、総合的かつ計画的な市政の運営を図るため、総合計画を策定する。

(位置付け)

第 4 条 総合計画は、市の最上位の計画とし、個別の行政分野に関する計画の策定又は変更に当たっては、総合計画との整合を図らなければならない。

(策定方針)

第 5 条 総合計画は、その位置付けを踏まえ、総合的な見地から策定するものとする。  
2 総合計画は、市民の意見を十分に反映させるための必要な措置を講じた上で策定するものとする。  
3 総合計画は、適切な計画期間を設定し、その時々地域の実情、社会経済情勢の変化等を踏まえ、これらに適合するように策定するものとする。  
4 前 3 項の規定は、総合計画の変更について準用する。

(宇陀市総合計画審議会への諮問)

第 6 条 市長は、総合計画を策定し、若しくは変更しようとするとき、又は総合計画に基づく施策の取組状況及び成果の検証をしようとするときは、次条に規定する宇陀市総合計画審議会に諮問するものとする。

(宇陀市総合計画審議会)

第 7 条 前条の規定による市長の諮問に応じ、総合計画の策定若しくは変更に関し必要な事項について調査及び審議し、市長に答申し、又は総合計画に基づく施策の取組状況及び成果を客観的に検証するため、宇陀市総合計画審議会(以下「審議会」という。)を置く。  
2 審議会は、必要に応じ、前項に規定する事項について、市長に建議することができる。

(組織)

第 8 条 審議会は、委員 20 人以内をもって組織する。

(委員)

第 9 条 審議会の委員は、次に掲げる者のうちから市長が委嘱又は任命する。

- (1) 行政委員会の委員
- (2) 公共的団体等の役員
- (3) 学識経験者
- (4) その他市長が必要と認める者

- 2 委員の任期は、4 年とする。ただし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 3 委員は、再任されることができる。

(会長及び副会長)

第 10 条 審議会に会長及び副会長をそれぞれ 1 人置き、委員の互選によりこれを定める。  
2 会長は、会務を総理し審議会を代表する。  
3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第 11 条 審議会の会議は、会長が招集する。  
2 会議の議長は、会長がこれにあたる。  
3 審議会は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開くことができない。  
4 審議会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。  
5 審議会は、必要に応じ、会議に議事に係る関係者又は専門家の出席を求め、その意見若しくは説明を聴き、又は資料の提出を求めることができる。

(庶務)

第 12 条 審議会の庶務は、市長公室総合政策課において処理する。

(議会の議決)

第 13 条 市長は、第 6 条の手続を経て、基本構想を策定し、又は変更するときは、議会の議決を経なければならない。ただし、軽微な変更については、この限りでない。

(公表)

第 14 条 市長は、総合計画を策定し、又は変更したときは、速やかにこれを公表するものとする。

(委任)

第 15 条 この条例に定めるもののほか、この条例の施行に関し必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。

(宇陀市総合計画審議会条例の廃止)

2 宇陀市総合計画審議会条例(平成 18 年宇陀市条例第 222 号)は、廃止する。

(経過措置)

3 この条例の施行の際現に策定されている宇陀市総合計画は、この条例の規定により策定された総合計画とみなす。

附 則(令和 2 年条例第 32 号)

この条例は、令和 3 年 4 月 1 日から施行する。



## (2) 諮問書

宇陀市総合計画審議会  
会長 伊藤 忠通 様

宇総政第36号  
令和3年7月5日

宇陀市長 金剛 一智



宇陀市総合計画について（諮問）

宇陀市総合計画条例第6条の規定に基づき、宇陀市総合計画について貴審議会の意見を求めます。

## (3) 答申書

令和4年3月4日

宇陀市長 金剛 一智 様

宇陀市総合計画審議会  
会長 伊藤 忠通

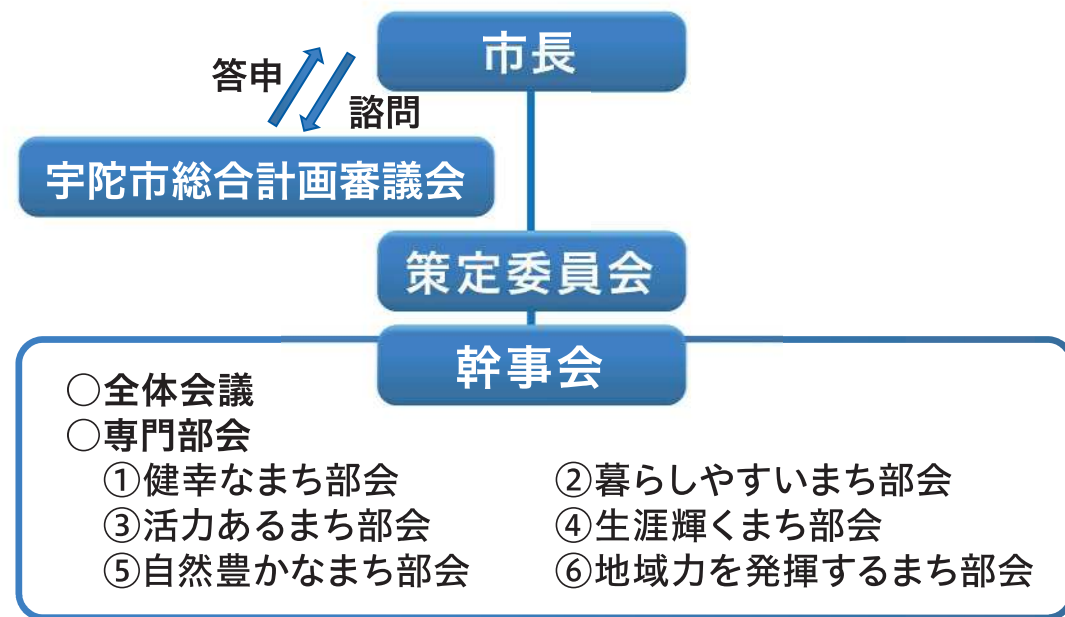


宇陀市総合計画について（答申）

令和3年7月5日付け、宇総政第36号で諮問のあった宇陀市総合計画について、本審議会において慎重に審議した結果、別添のとおり取りまとめましたので答申します。

なお、計画の推進にあたっては、基本構想で定める基本理念や将来像「みんなが生きがいをもって暮らせる魅力ある健幸なまち 宇陀市 ~輝く歴史と豊かな文化の息づくまち~」の実現に向けて、社会情勢の変化に的確に対応しながら、リーディングプロジェクトをはじめとした各施策が着実に推進されることを期待します。

(4) 策定の体制



宇陀市総合計画審議会  
 構成：行政委員会の委員、公共的団体等の役員、学識経験者、その他市長が必要と認める者  
 委員数：20名以内  
 目的：市長の諮問に応じ、総合計画の策定若しくは変更に関し必要な事項について調査及び審議し、市長に答申する。

策定委員会  
 構成：市長、副市長、関係各部の部長級職員  
 目的：基本計画案の策定統括や審議

幹事会（全体会議・専門部会）  
 構成：関係各課の課長級職員  
 目的：総合計策定の基礎となる資料の収集・調査・研究や当該部門の計画試案の作成

(5) 宇陀市総合計画審議会委員名簿

全20名（委員の種別順・所属団体50音順・敬称略）

委員の種別	所属団体	役職	氏名
(1) 行政委員会の委員 (2名)	宇陀市教育委員会	委員	吉川 壽一
	宇陀市農業委員会	会長	下村 雅清
(2) 公共的団体等の役員 (11名)	宇陀市都市計画審議会	会長	梶本 勝裕
	宇陀市連合自治会	会長	藤田 隆啓
	宇陀市民生児童委員連合会	会長	西岡 博文
	宇陀商工会	会長	松塚 幾善
	宇陀市観光協会	会長	井上 源一
	宇陀市老人クラブ連合会	会長	佐々木 恵眞
	宇陀市森林組合	代表理事組合長	三本木 康祐
	宇陀市社会福祉協議会	理事	中野 利一
	宇陀市女性の会	会長	岡崎 典子
	宇陀市人権教育推進協議会	会長	丸岡 伸作
	宇陀市食生活改善推進員協議会	会長	仲浦 美好
(3) 学識経験者 (4名)	奈良県立大学	名誉教授	伊藤 忠通
	奈良テレビ(株)	代表取締役社長	長岡 雅美
	(株)南都銀行榛原支店	支店長	松石 悦司
	大和信用金庫榛原支店	支店長	片岡 正治
(4) その他市長が必要と認める者 (3名)	市民委員		水野 知代子
	市民委員		福山 智子
	市民委員		奥田 真由

年月日	
2021年6月23日	第1回宇陀市総合計画策定委員会 ・中期基本計画策定の背景及び策定方針について ・市民ニーズの把握方法について ・今後の進め方について
2021年7月5日	第1回宇陀市総合計画審議会 ・市長から審議会に諮問 ・中期基本計画策定の背景及び策定方針について ・市民ニーズの把握方法について ・今後の進め方について
	各種アンケート調査の実施 市民アンケート、子育て世代アンケート、中学生アンケート、 高校生アンケート、若年層アンケート、転入者アンケート、 転出者アンケート、事業所アンケート、職員アンケート
2021年8月6日	宇陀市議会（全員協議会）へ中期基本計画の進捗を報告
2021年8月17日 ～19日	第1回宇陀市総合計画策定委員会専門部会 ・中期基本計画の策定方針について ・市民アンケート等の結果について ・2020年度施策に対する事業PDCA評価について ・今後の策定について
2021年8月27日	第2回宇陀市総合計画策定委員会 ・市民アンケート等の結果について ・2020年度施策に対する検証結果について ・今後の策定について 市長マニフェストの反映について SDGsの取組みについて ・ワークショップについて
2021年8月31日	第2回宇陀市総合計画審議会 ・市民アンケート等の結果について ・2020年度施策に対する検証結果について ・今後の策定について ・ワークショップについて
2021年10月11日 ・12日・14日	第2回宇陀市総合計画策定委員会専門部会 ・中期基本計画における施策の構成について ・中期基本計画期間中における事業の再確認について
2021年10月20日	市長との意見交換会（奈良県中小企業家同友会宇陀ブロック）
2021年10月25日	ワークショップ（市役所若手職員）・市長との座談会 ・20年後の宇陀市に向けて
2021年10月27日	市長との座談会（社会福祉法人心境荘苑）

2021年10月29日	市長との座談会（榛生昇陽高校自転車競技部）
2021年11月4日 ・8日	第3回宇陀市総合計画策定委員会専門部会 ・中期基本計画における施策の構成について ・中期基本計画（案）について
2021年11月5日	ワークショップ（子育て中の市民）・市長との座談会 ・20年後の宇陀市に向けて 市長との座談会（宇陀市スポーツ推進委員）
2021年11月12日	市長との座談会（宇陀商工会青年部）
2021年11月19日	第3回宇陀市総合計画策定委員会 ・中期基本計画における施策構成について ・中期基本計画（案）について
2021年11月26日	第3回宇陀市総合計画審議会 ・中期基本計画における施策構成について ・中期基本計画（案）について
2021年11月28日	市長との座談会（宇陀市仕事づくり推進隊、近畿大学）
2021年12月7日	宇陀市議会（全員協議会）へ中期基本計画の進捗を報告
2022年1月20日	第4回宇陀市総合計画策定委員会 ・中期基本計画（案）について 人口目標について リーディングプロジェクトについて 施策の方向性について
2022年1月28日	第4回宇陀市総合計画審議会 ・中期基本計画（案）について 人口目標について リーディングプロジェクトについて 施策の方向性について
2022年2月9日 ～18日	中期基本計画（案）パブリックコメント
2022年2月14日	総合計画策定委員会全体会議
2022年2月16日	第5回宇陀市総合計画策定委員会 ・中期基本計画（案）の確認について
2022年2月25日	第5回宇陀市総合計画審議会 ・中期基本計画（案）の確認について ・パブリックコメントについて
2022年3月4日	審議会から市長に答申



第2次宇陀市総合計画  
中期基本計画

発行月 2022年3月

発行/編集 奈良県宇陀市市長公室総合政策課

〒633-0292 奈良県宇陀市榛原下井足17番地の3

電話 0745-82-1362

FAX 0745-82-3900

<https://www.city.uda.nara.jp/>